

2. 4 地域での活動について

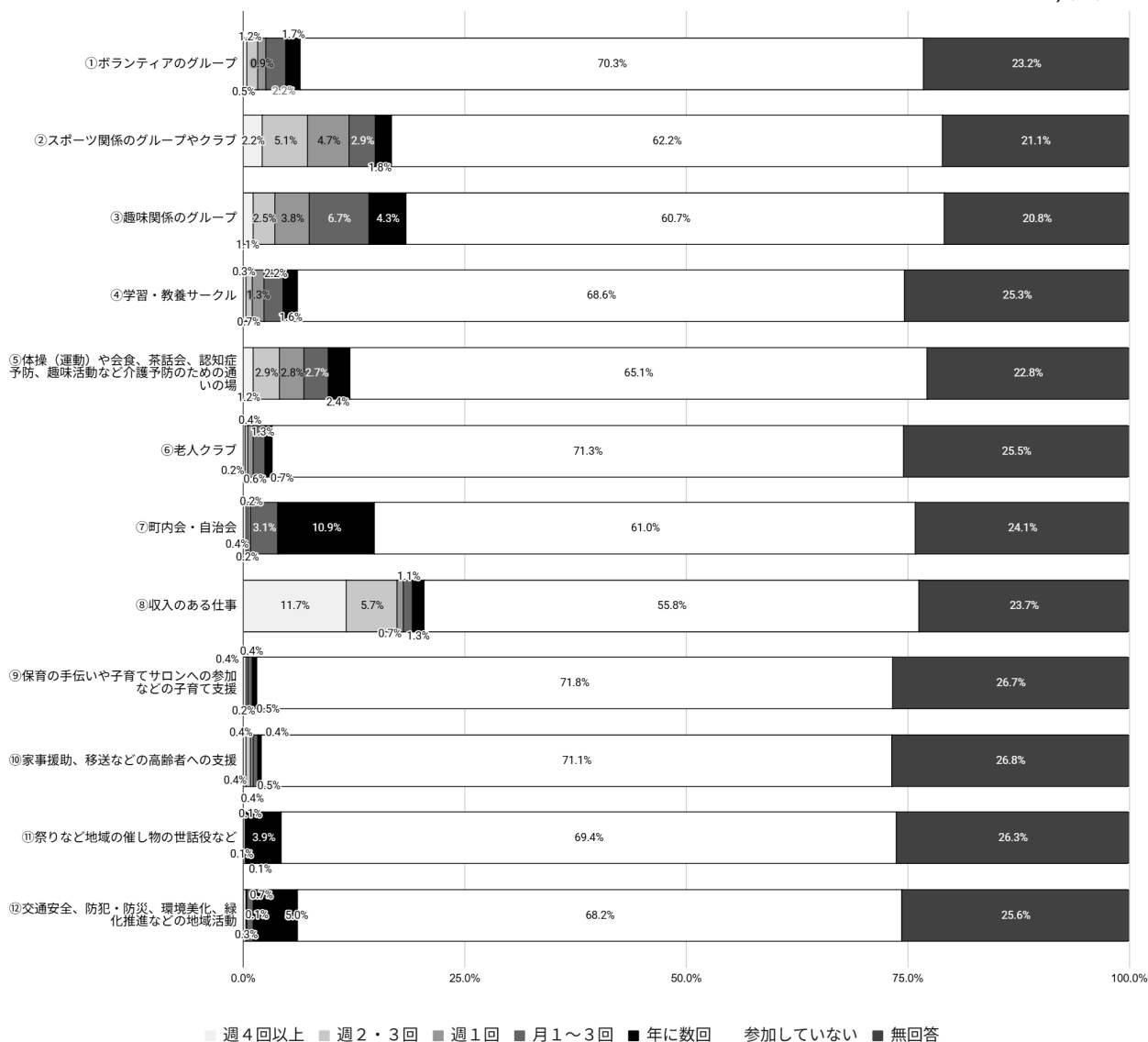
問4-1 活動への参加頻度【65歳以上】

以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。①～⑫のそれぞれ当てはまるもの1つずつに○をつけてください。

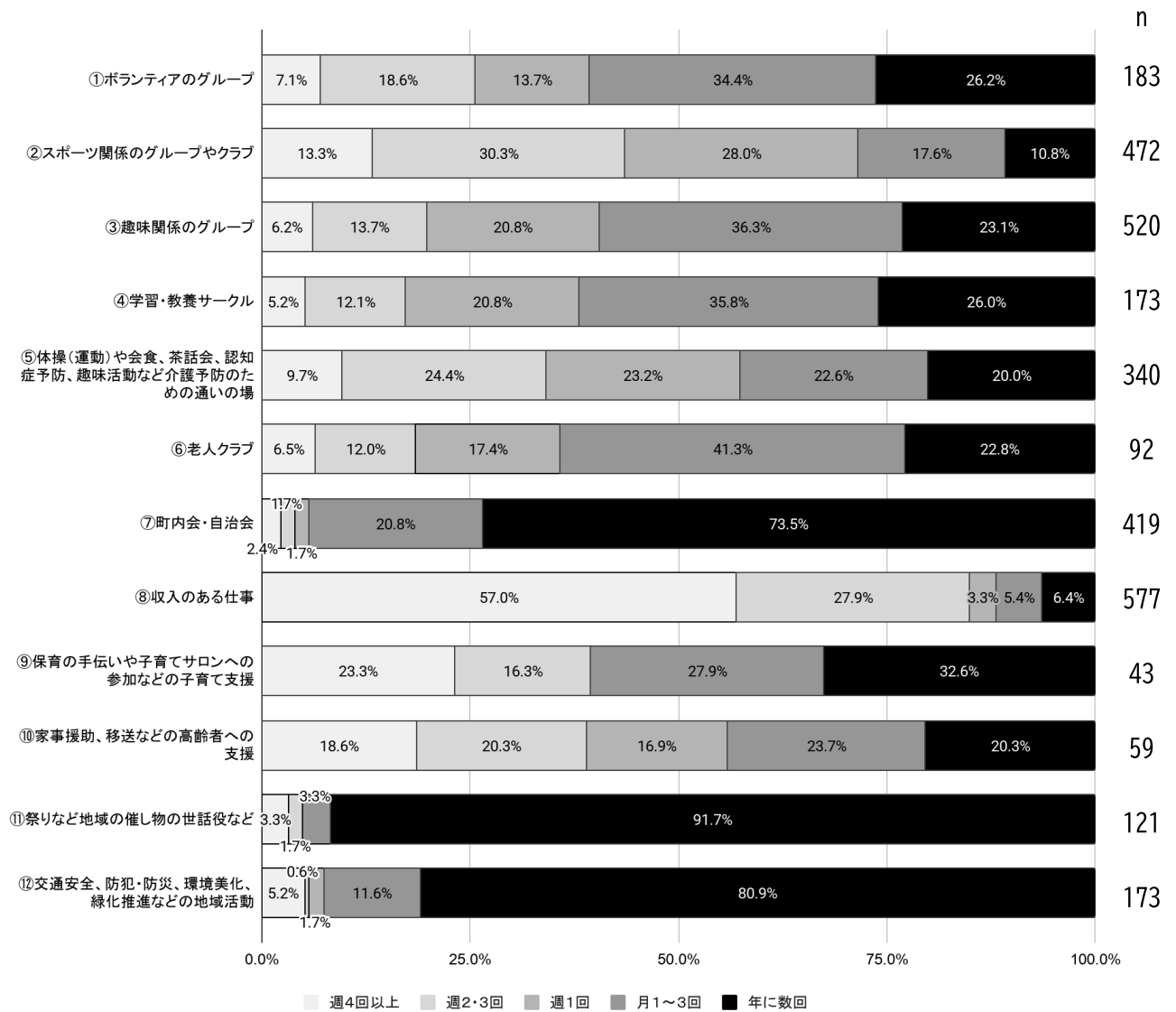
地域活動参加の頻度について尋ねたところ、すべての会・グループにおいて「参加していない」が50.0%を超える結果となった。

問4-1 活動への参加頻度【65歳以上】

n=2,818



「参加していない」「無回答」を除いた地域活動参加の頻度については、以下のとおりとなっている。

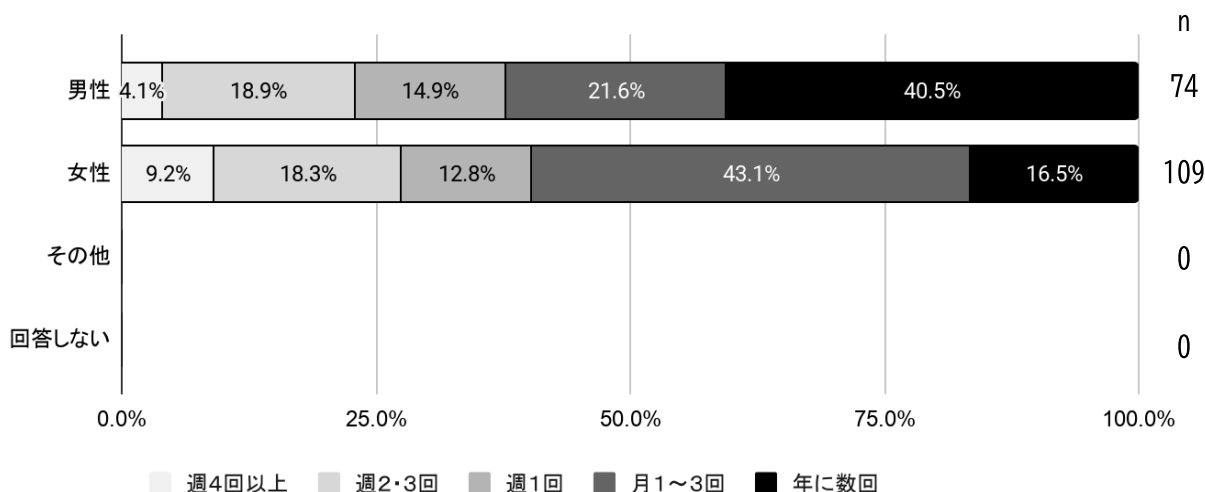


① ボランティアのグループ

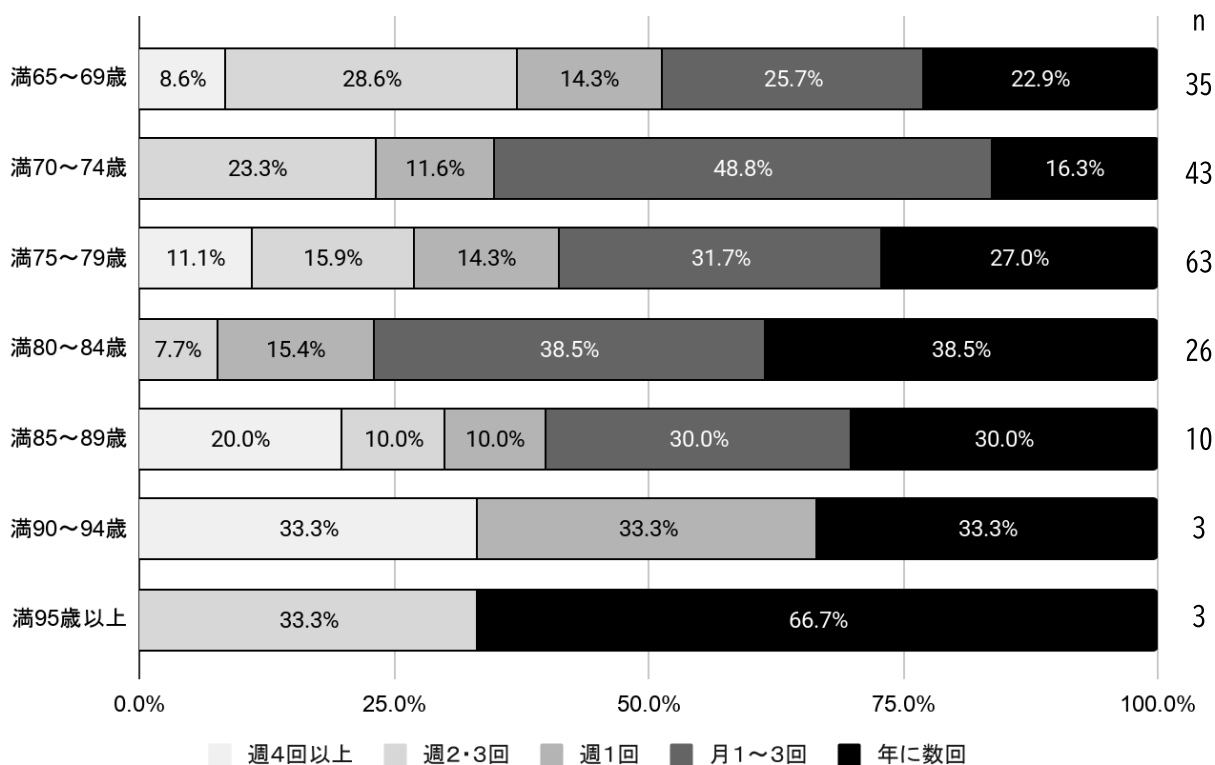
性別ごとにみると、男性では「年に数回」とする割合が40.5%、女性では「月1～3回」とする割合が43.1%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、「満70～74歳」から「満85～89歳」までのそれぞれの年代で「月1～3回」とする割合が高くなっている。

問4-1 活動への参加頻度「①ボランティアのグループ」 × 問1-3 性別



問4-1 活動への参加頻度「①ボランティアのグループ」 × 問1-4 年齢



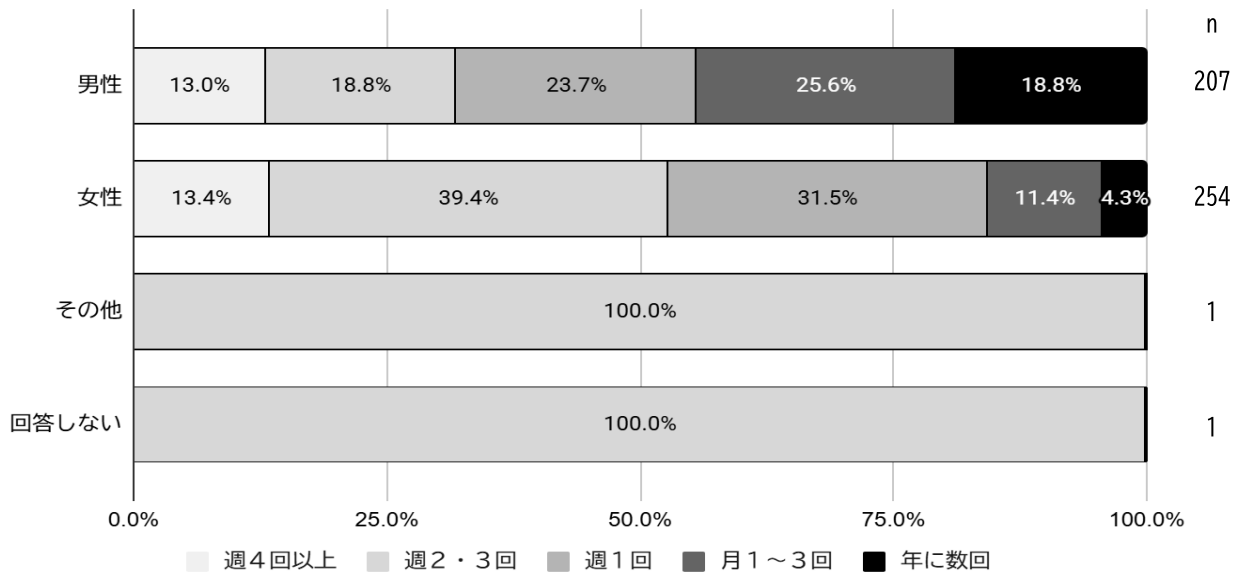
※「参加していない」（n=1,981）、「無回答」（n=654）を除いて集計している。

② スポーツ関係のグループやクラブ

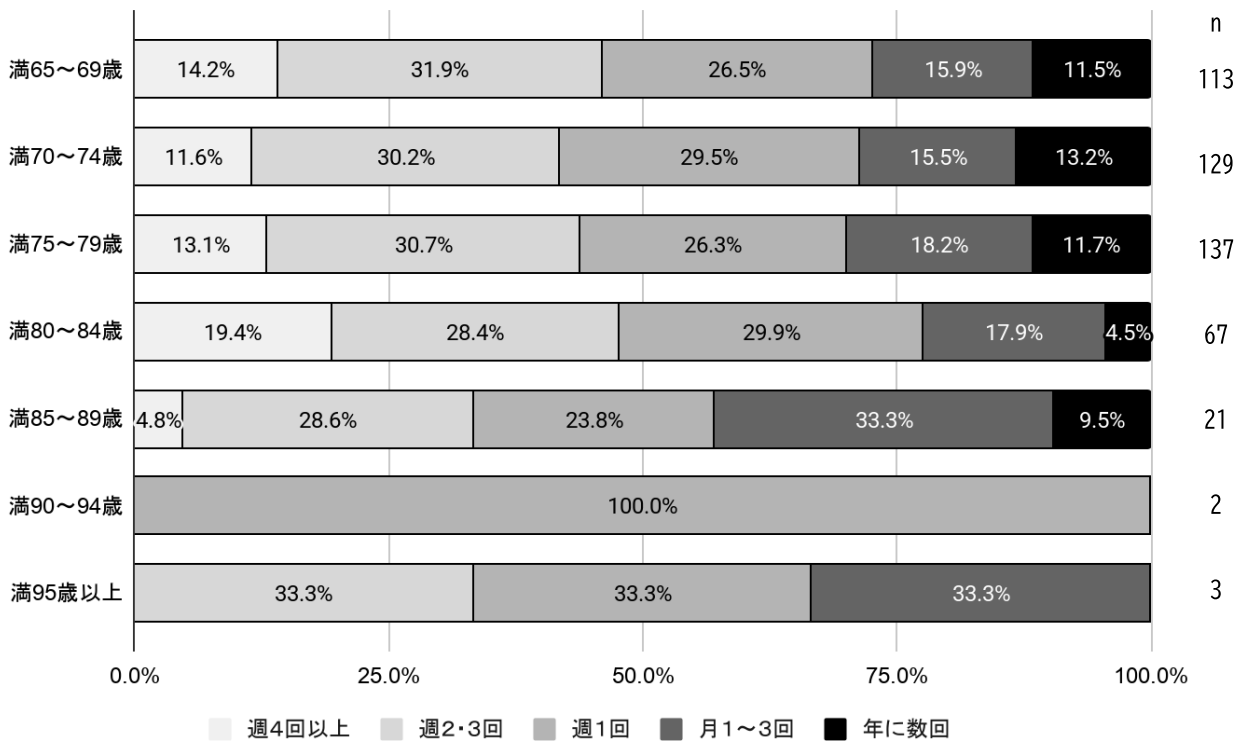
性別ごとにみると、男性では、「月1～3回」とする割合が25.6%、女性では「週2・3回」とする割合が39.4%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、「満65～69歳」から「満75～79歳」までのそれぞれの年代で「週2・3回」とする割合が多くなっている。

問4-1 活動への参加頻度「②スポーツ関係のグループやクラブ」 × 問1-3 性別



問4-1 活動への参加頻度「②スポーツ関係のグループやクラブ」 × 問1-4 年齢



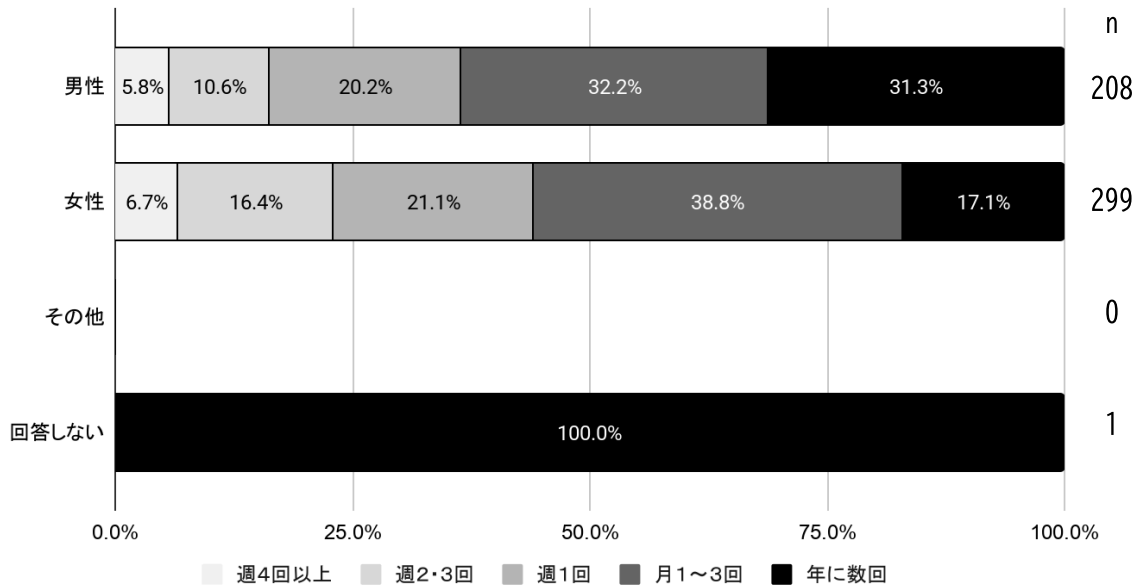
※「参加していない」（n=1,752）、「無回答」（n=594）を除いて集計している。

③趣味関係のグループ

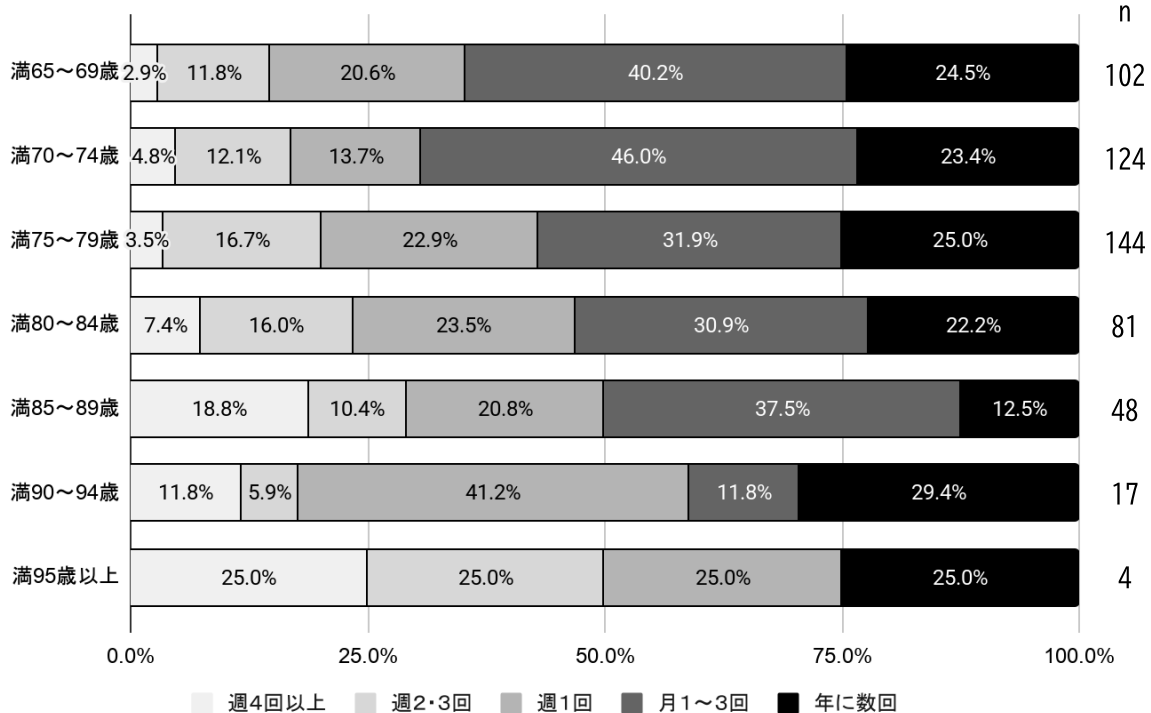
性別ごとにみると、「月1～3回」とする割合が男性では32.2%、女性では38.8%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、「満65～69歳」から「満85～89歳」までのそれぞれの年代で「月1～3回」とする割合が多くなっている。

問4-1 活動への参加頻度「③趣味関係のグループ」 × 問1-3 性別



問4-1 活動への参加頻度「③趣味関係のグループ」 × 問1-4 年齢



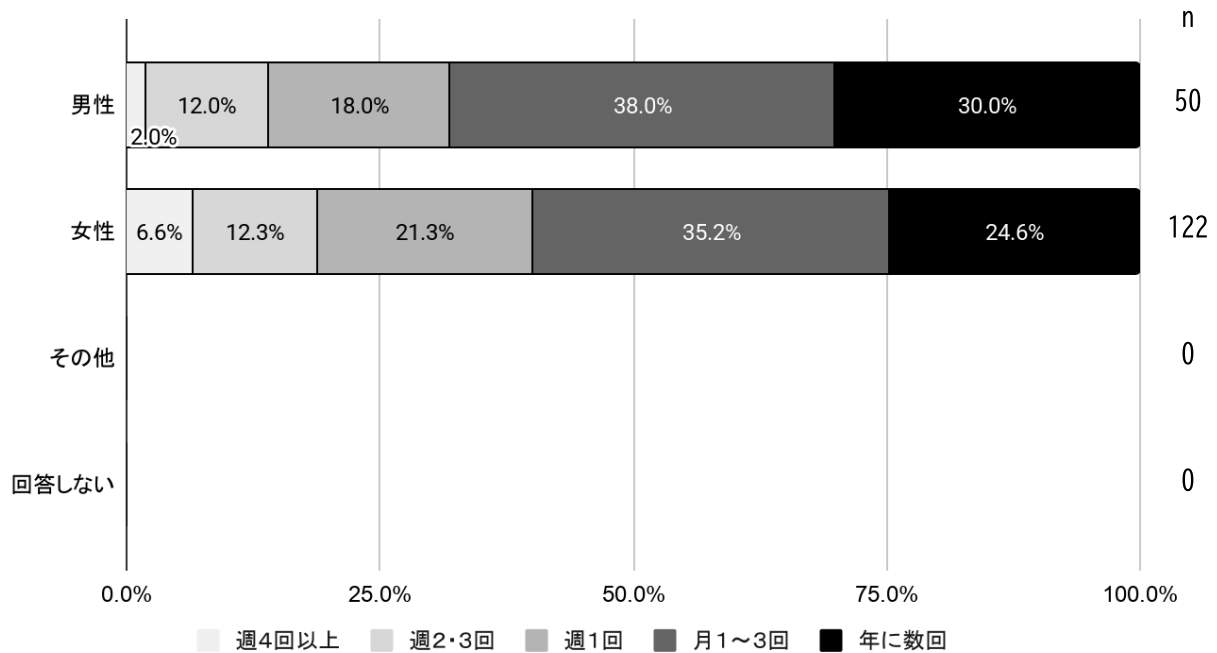
※「参加していない」（n=1,711）、「無回答」（n=587）を除いて集計している。

④学習・教養サークル

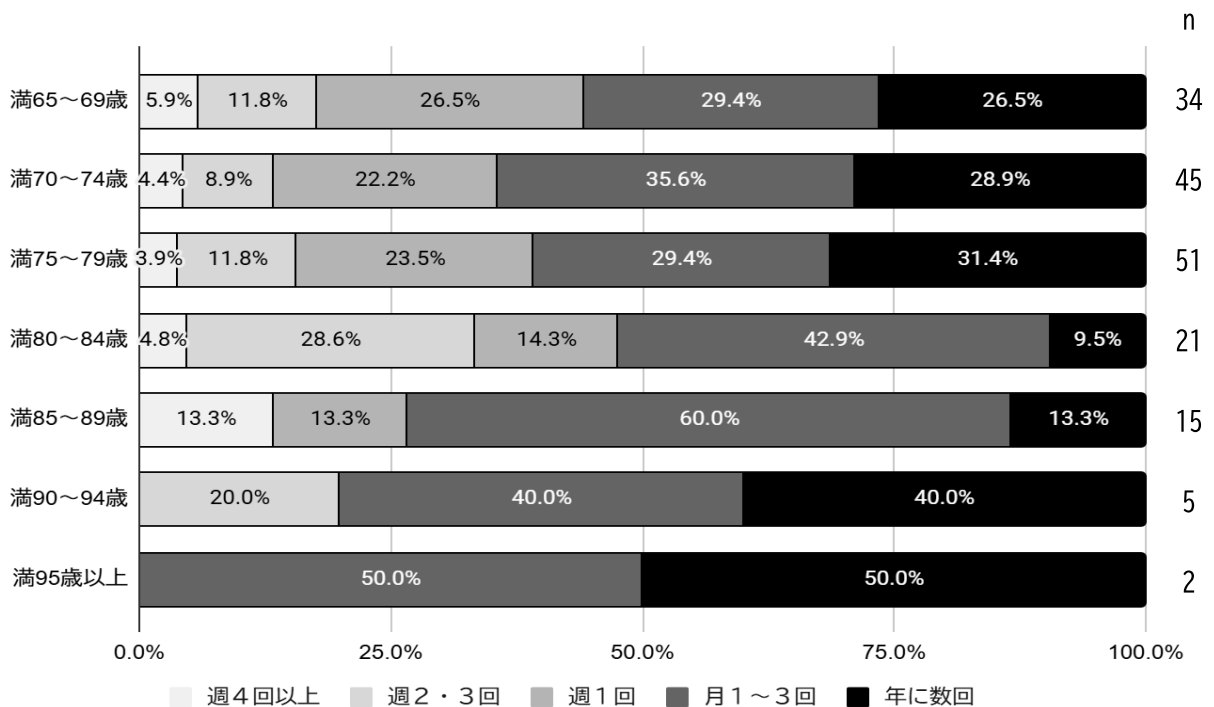
性別ごとにみると、「月1～3回」とする割合が男性では38.0%、女性では35.2%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、「満75～79歳」を除くすべての年代で「月1～3回」とする割合が多くなっている。

問4-1 活動への参加頻度「④学習・教養サークル」 × 問1-3 性別



問4-1 活動への参加頻度「④学習・教養サークル」 × 問1-4 年齢



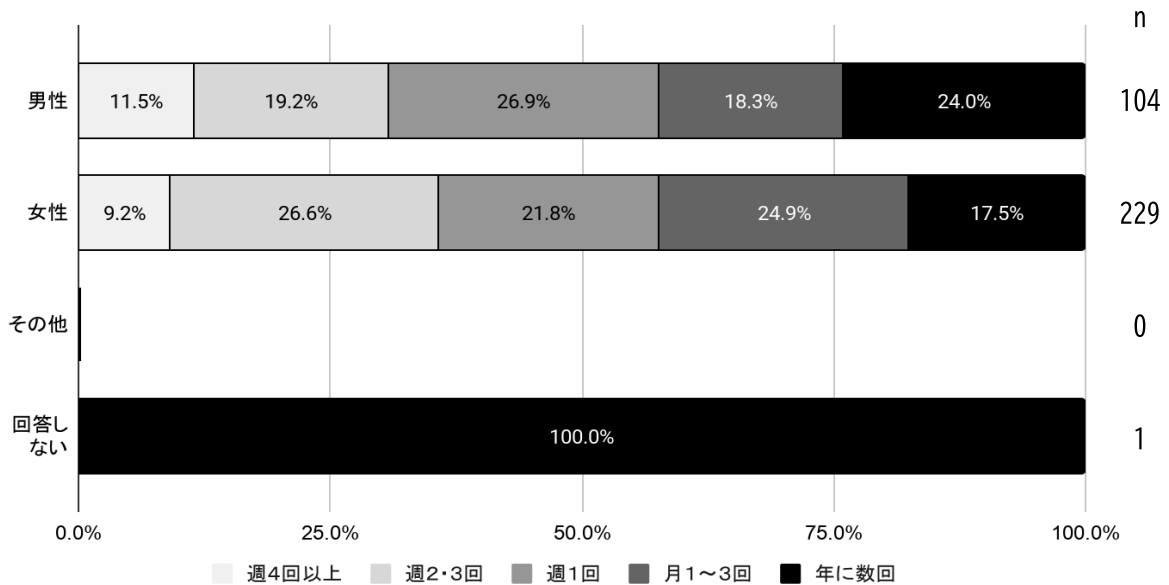
※「参加していない」（n=1,932）、「無回答」（n=713）を除いて集計している。

⑤体操（運動）や会食、茶話会、認知症予防、趣味活動など介護予防のための通いの場

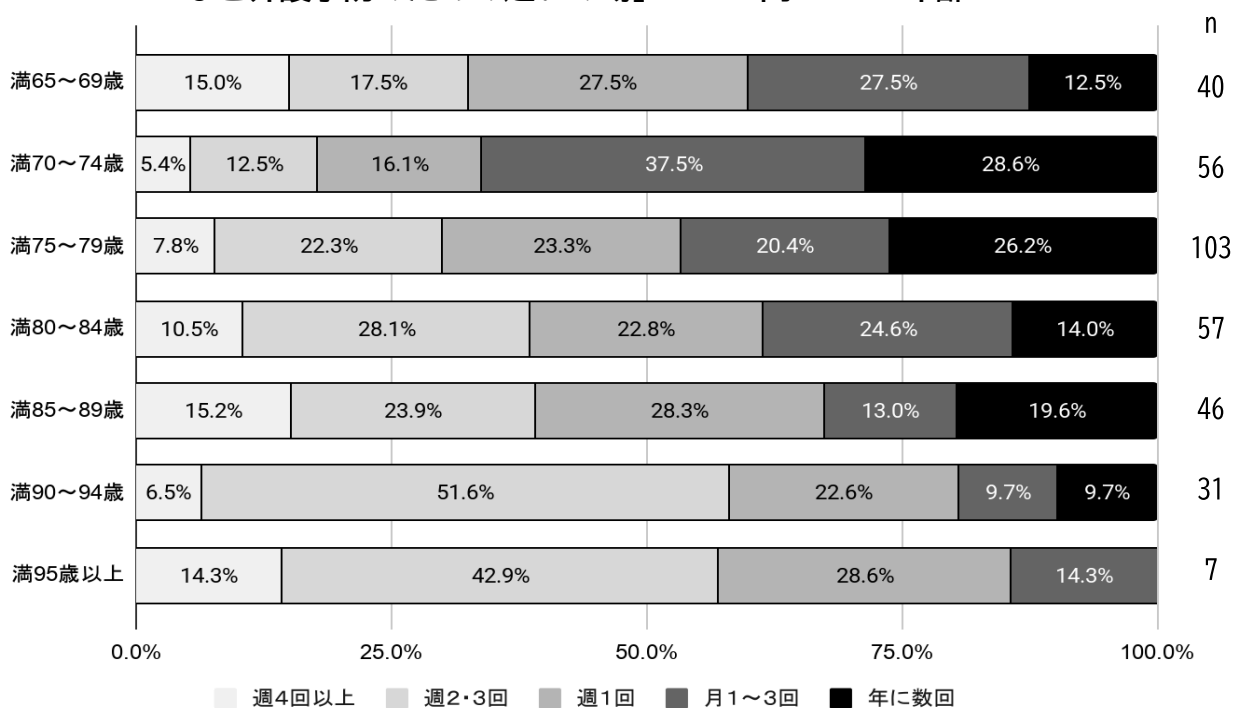
性別ごとにみると、「週1回」とする割合が男性では26.9%、女性では「週2・3回」が26.6%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、「満70～74歳」において「月1～3回」とする割合が多くなっている。一方、「満80～84歳」「満90～94歳」「満95歳以上」では「週2・3回」とする割合が多くなっている。

問4-1 活動への参加頻度「⑤体操（運動）や会食、茶話会、認知症予防、趣味活動など介護予防のための通いの場」 × 問1-3 性別



問4-1 活動への参加頻度「⑤体操（運動）や会食、茶話会、認知症予防、趣味活動など介護予防のための通いの場」 × 問1-4 年齢



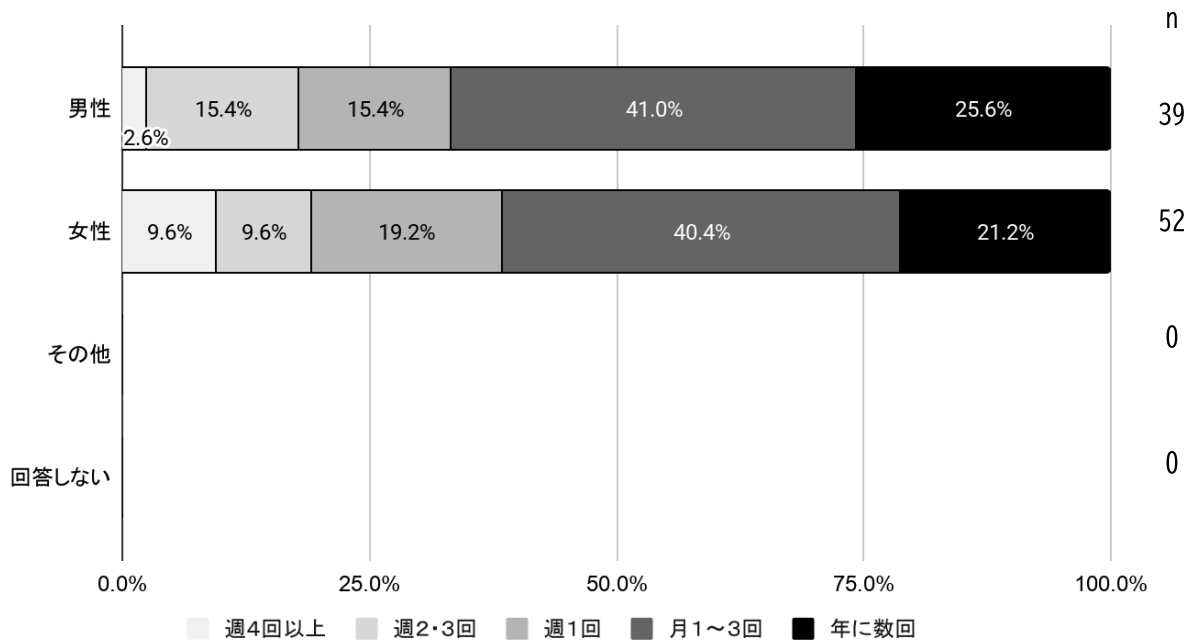
※「参加していない」（n=1,835）、「無回答」（n=643）を除いて集計している。

⑥老人クラブ

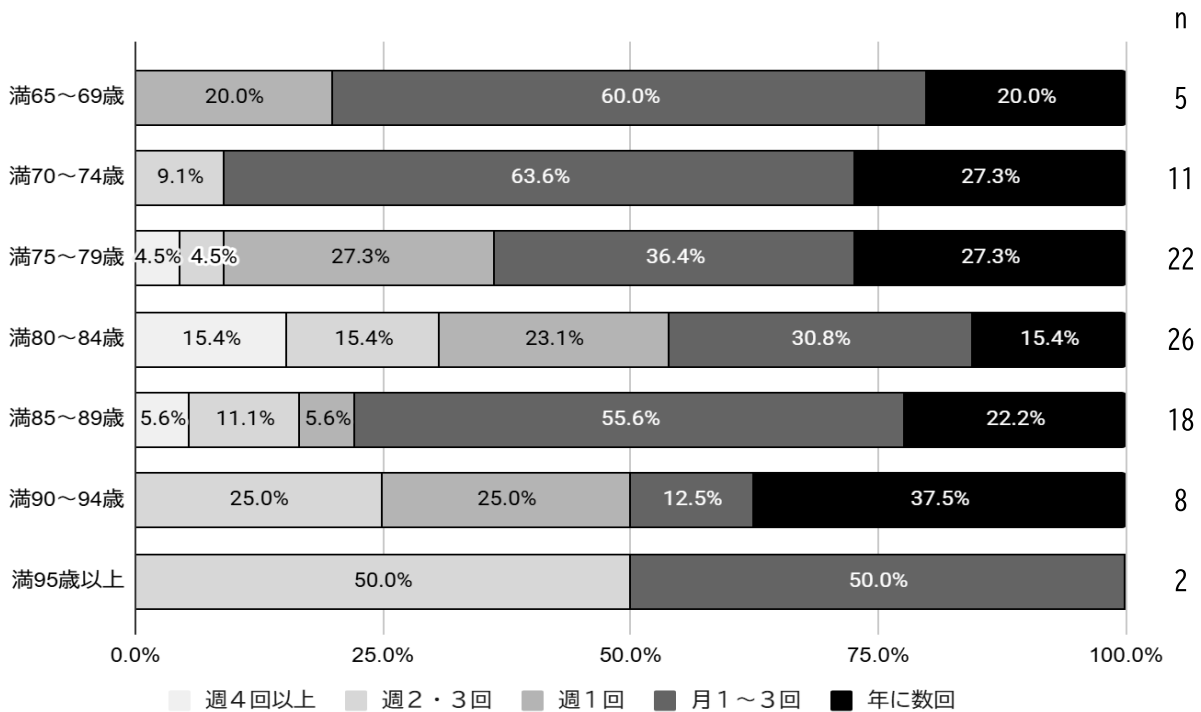
性別ごとにみると、「月1～3回」とする割合が男性では41.0%、女性では40.4%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、「満90～94歳」「満95歳以上」を除くすべての年代において「月1～3回」とする割合が最も多くなっている。

問4-1 活動への参加頻度「⑥老人クラブ」 × 問1-3 性別



問4-1 活動への参加頻度「⑥老人クラブ」 × 問1-4 年齢



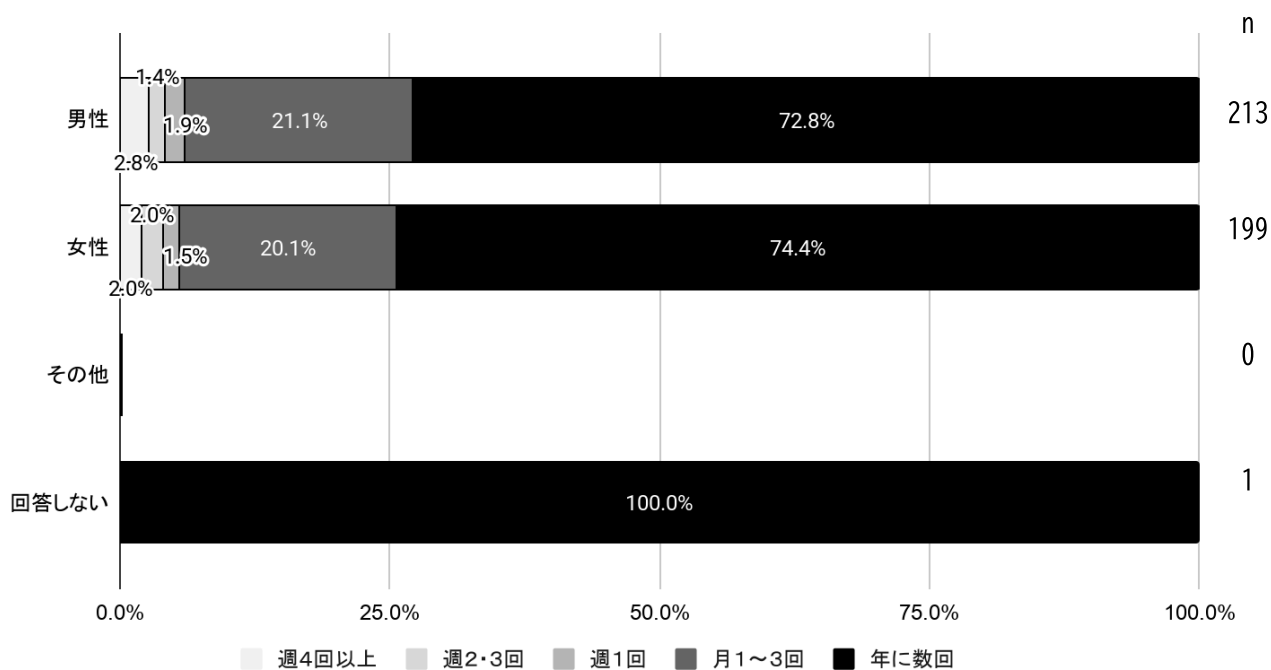
※「参加していない」（n=2,008）、「無回答」（n=718）を除いて集計している。

⑦町内会・自治会

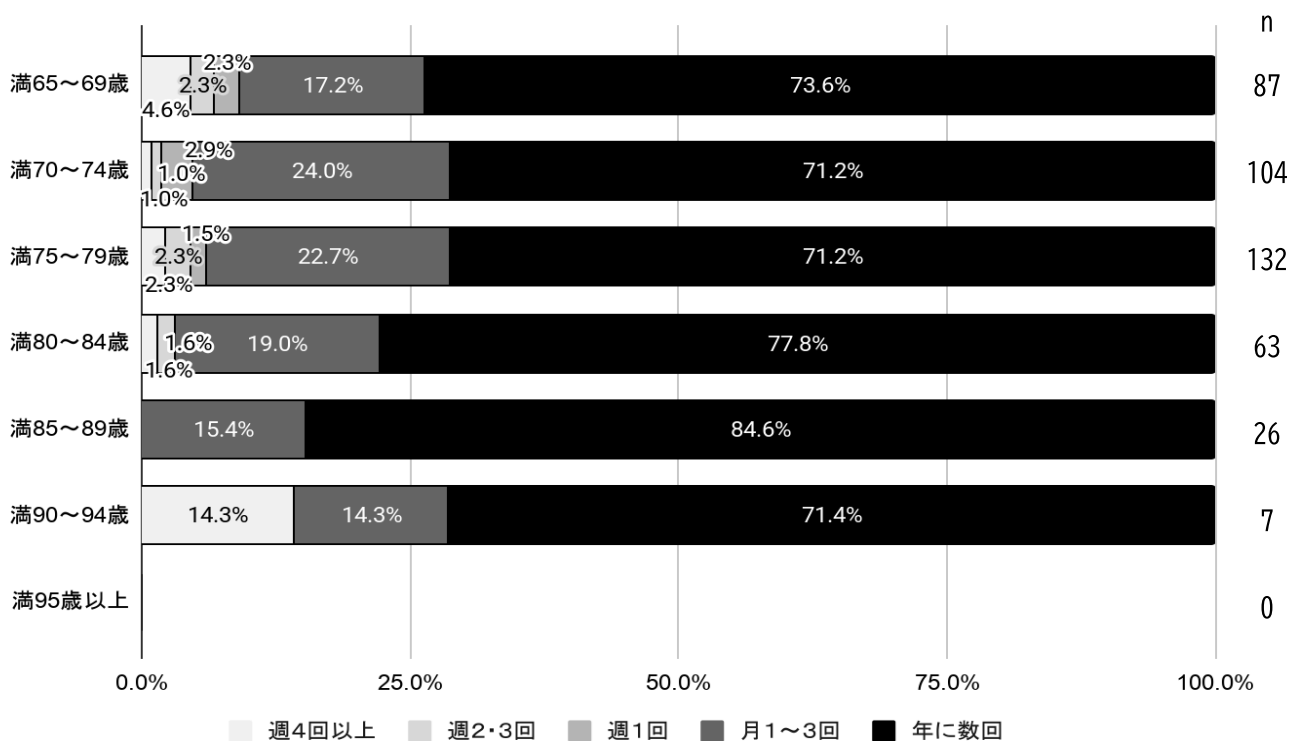
性別ごとにみると、「年に数回」とする割合が男性では72.8%、女性では74.4%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、すべての年代で「年に数回」とする割合が最も多くなっている。

問4-1 活動への参加頻度「⑦町内会・自治会」 × 問1-3 性別



問4-1 活動への参加頻度「⑦町内会・自治会」 × 問1-4 年齢



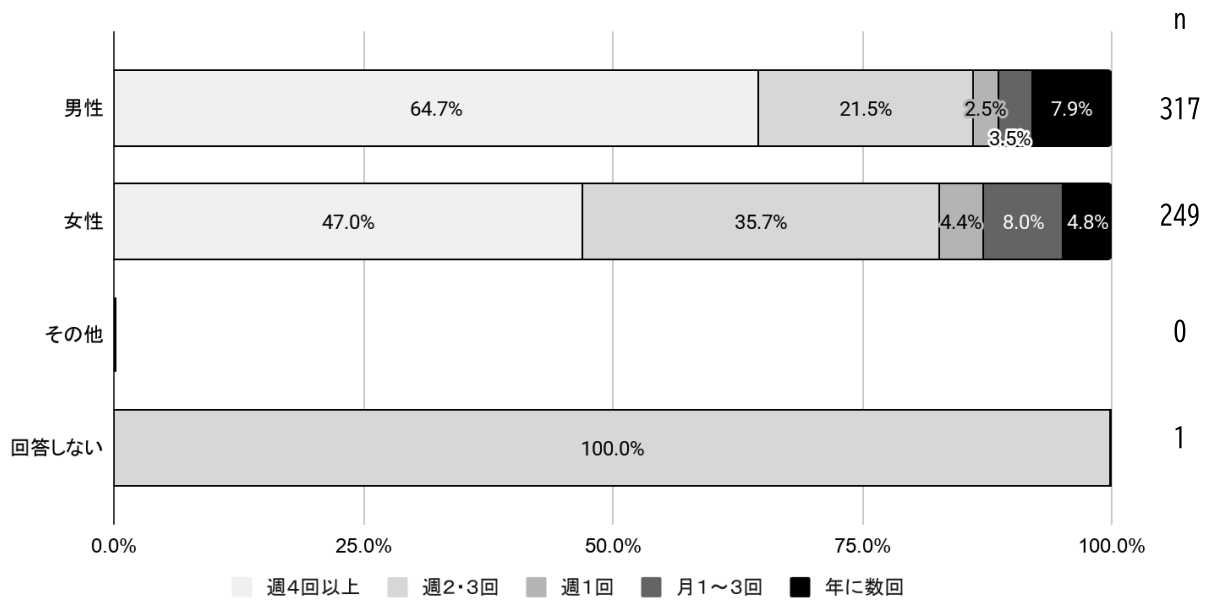
※「参加していない」（n=1,720）、「無回答」（n=679）を除いて集計している。

⑧収入のある仕事

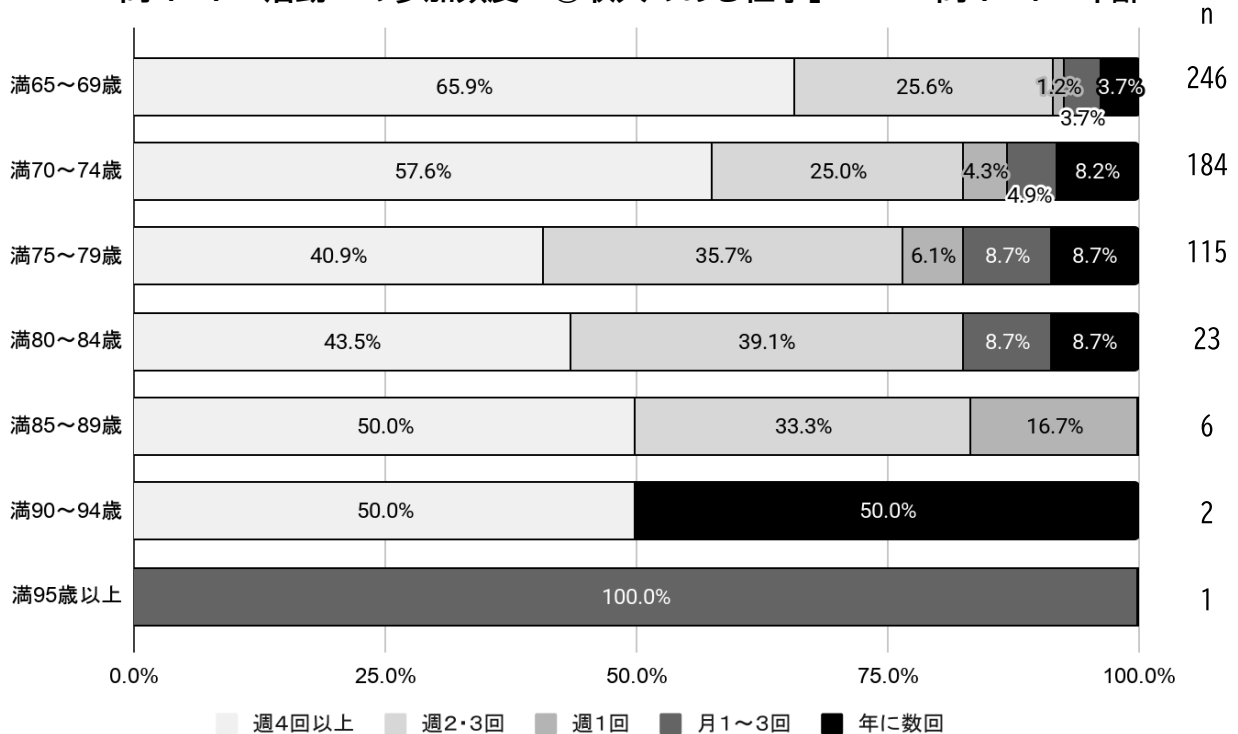
性別ごとにみると、「週4回以上」とする割合が男性では64.7%、女性では47.0%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、「満90～94歳」「満95歳以上」を除くすべての年代で「週4回以上」とする割合が最も多くなっている。

問4-1 活動への参加頻度「⑧収入のある仕事」 × 問1-3 性別



問4-1 活動への参加頻度「⑧収入のある仕事」 × 問1-4 年齢



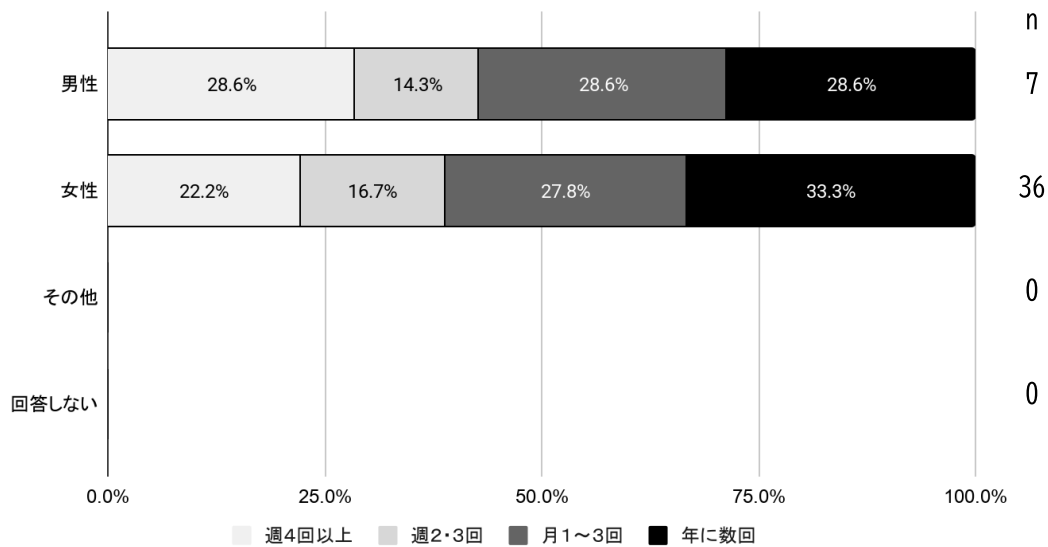
※「参加していない」（n=1,572）、「無回答」（n=669）を除いて集計している。

⑨保育の手伝いや子育てサロンへの参加などの子育て支援

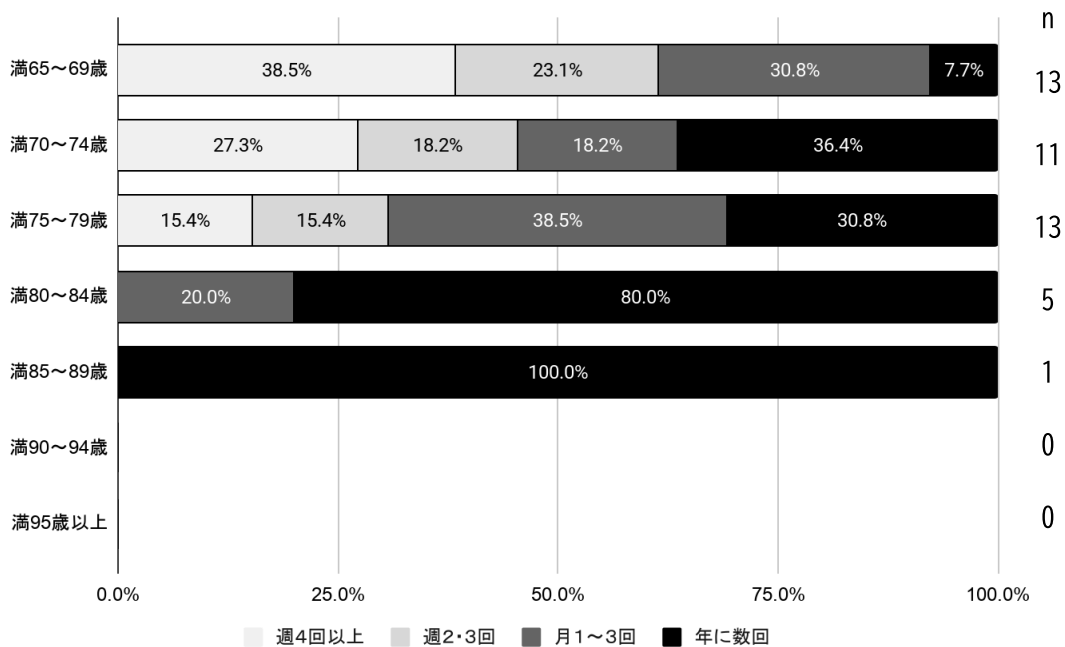
性別ごとにみると、「週4回以上」「月1～3回」「年に数回」とする割合が男性では28.6%、女性では「年に数回」とする割合が33.3%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、「満70～74歳」「満80～84歳」「満85～89歳」において「年に数回」とする割合が最も多くなっている。

問4-1 活動への参加頻度「⑨保育の手伝いや子育てサロンへの参加などの子育て支援」
× 問1-3 性別



問4-1 活動への参加頻度「⑨保育の手伝いや子育てサロンへの参加などの子育て支援」
× 問1-4 年齢



※「参加していない」（n=2,022）、「無回答」（n=753）を除いて集計している。

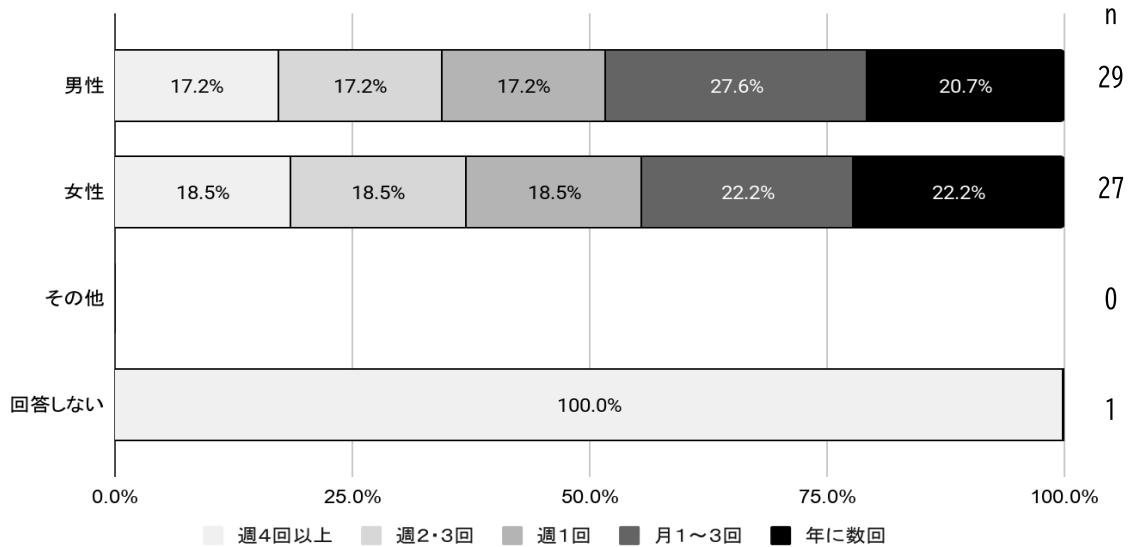
※「週1回」の回答はなかった。

⑩家事援助、移送などの高齢者への支援

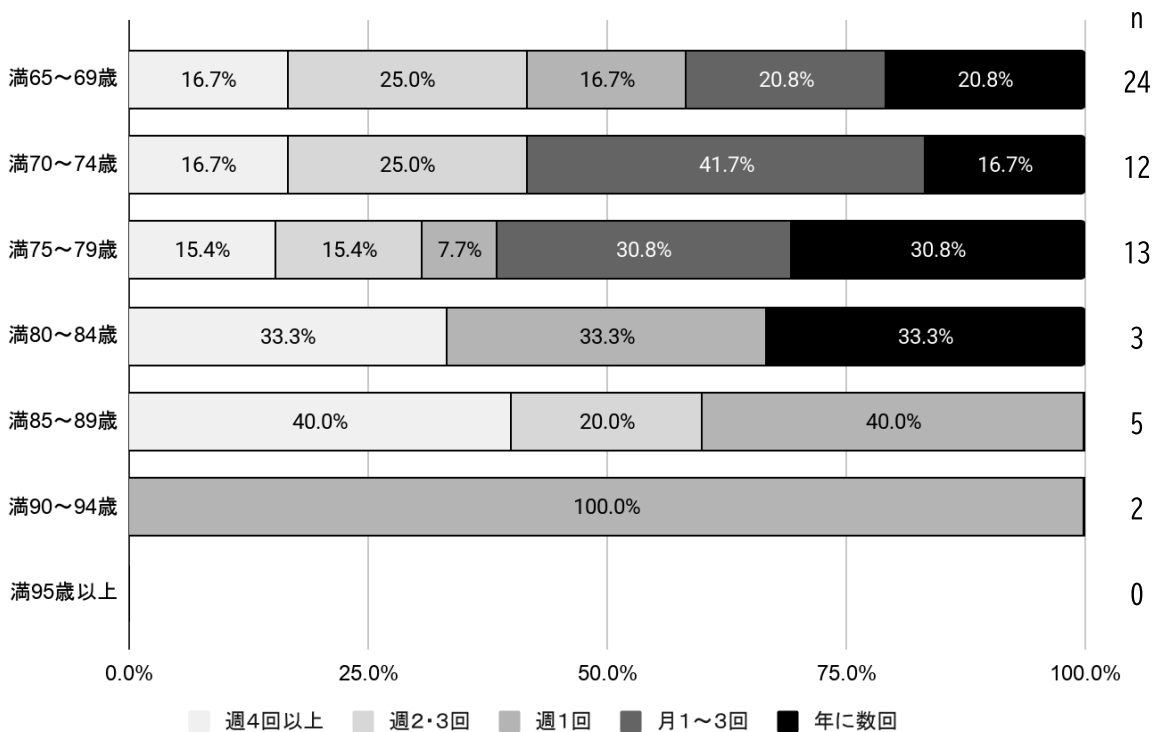
性別ごとにみると、男性では「月1～3回」とする割合が27.6%、女性では「月1～3回」「年に数回」とする割合が22.2%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、「満65～69歳」では「週2・3回」が、「満70～74歳」では「月1～3回」が多い割合となっている。

問4-1 活動への参加頻度「⑩家事援助、移送など高齢者への支援」
× 問1-3 性別



問4-1 活動への参加頻度「⑩家事援助、移送など高齢者への支援」
× 問1-4 年齢



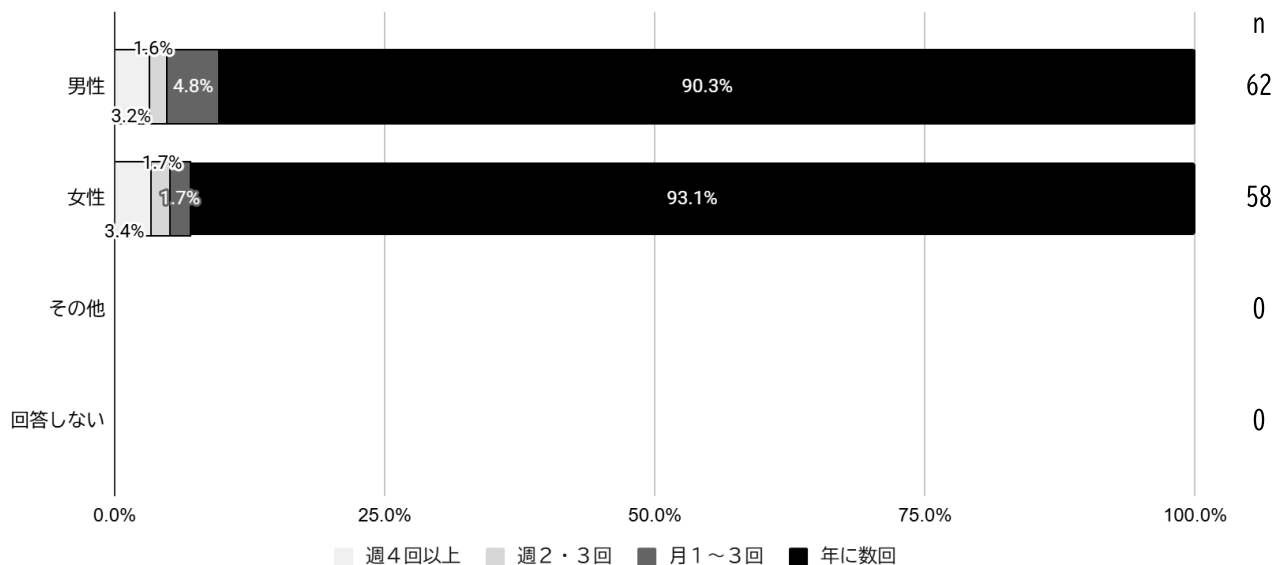
※「参加していない」（n=2,004）、「無回答」（n=755）を除いて集計している。

⑪祭りなど地域の催し物の世話役など

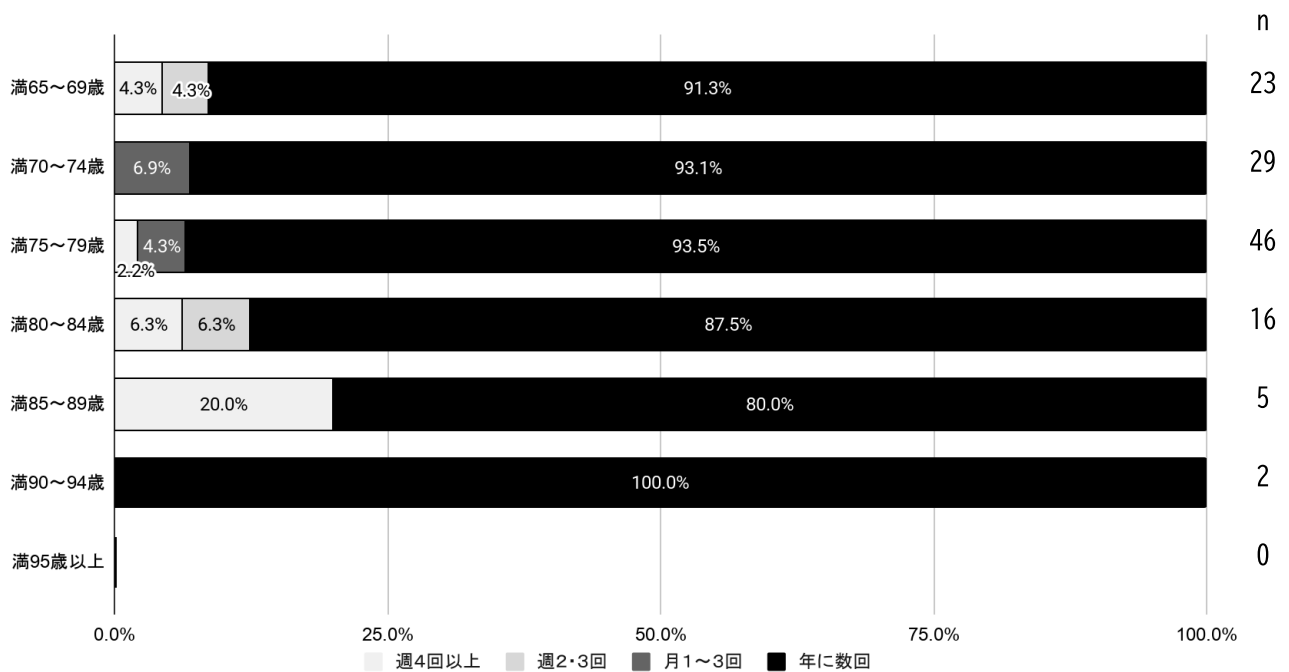
性別ごとにみると、「年に数回」とする割合が男性では90.3%、女性では93.1%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみても、「満95歳以上」を除く全ての年代で「年に数回」とする割合が最も多くなっている。

問4-1 活動への参加頻度「⑪祭りなど地域の催し物の世話役など」
× 問1-3 性別



問4-1 活動への参加頻度「⑪祭りなど地域の催し物の世話役など」
× 問1-4 年齢



※「参加していない」（n=1,957）、「無回答」（n=740）を除いて集計している。

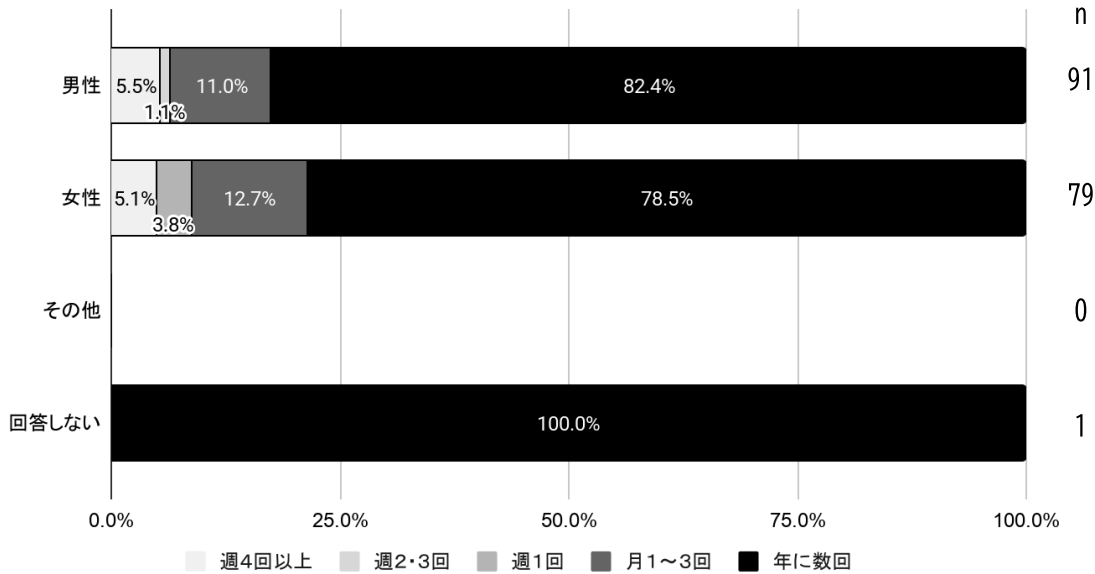
※「週1回」の回答はなかった。

⑫交通安全、防犯・防災、環境美化、緑化推進などの地域活動

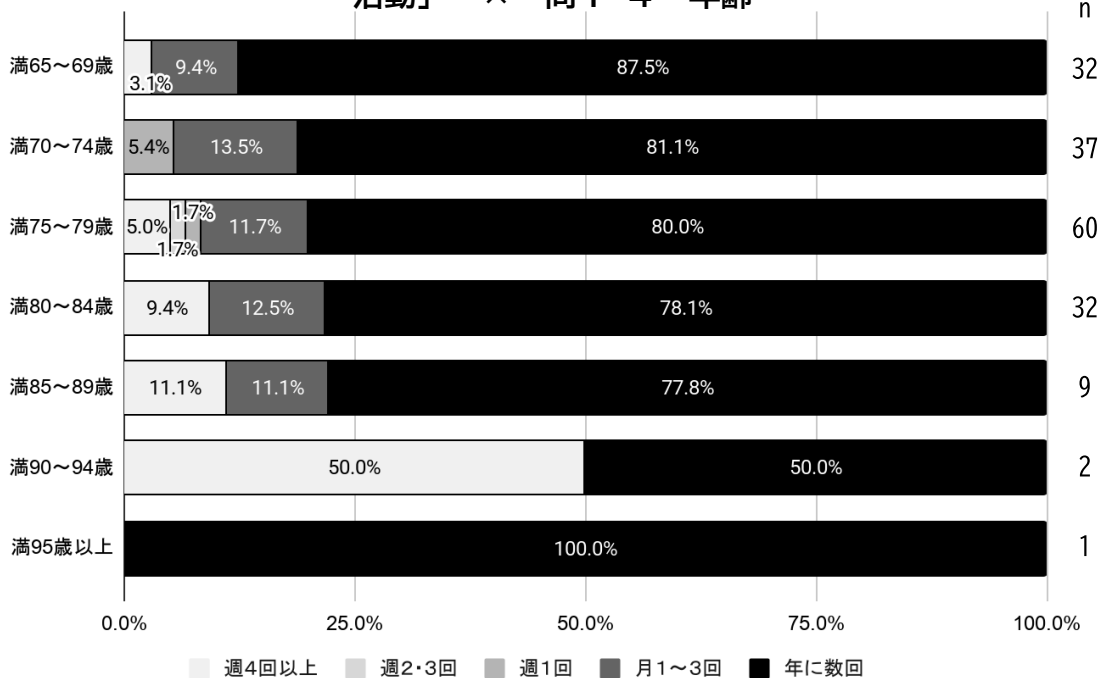
性別ごとにみると、「年に数回」とする割合が男性では82.4%、女性では78.5%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみても、「満90～94歳」を除くすべての年代で「年に数回」とする割合が多くなっている。

問4-1 活動への参加頻度「⑫交通安全、防犯・防災、環境美化、緑化推進などの地域活動」 × 問1-3 性別



問4-1 活動への参加頻度「⑫交通安全、防犯・防災、環境美化、緑化推進などの地域活動」 × 問1-4 年齢



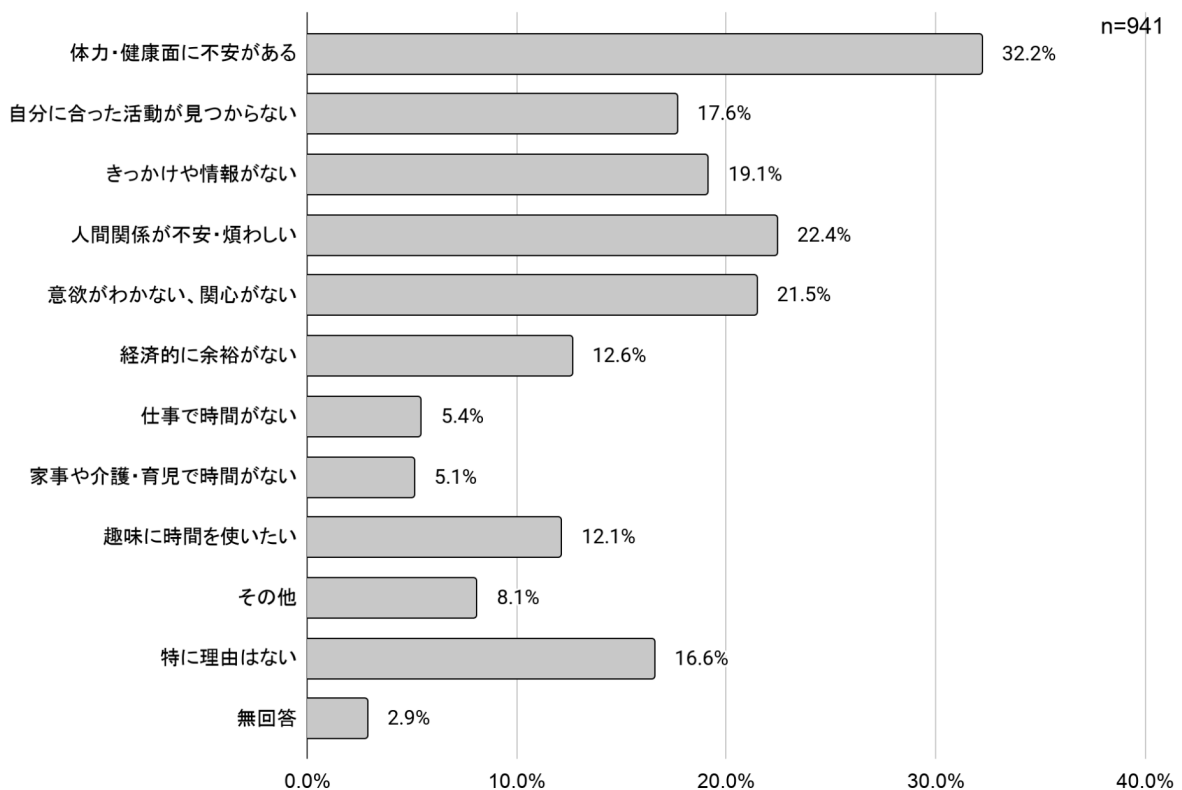
※「参加していない」（n=1,923）、「無回答」（n=722）を除いて集計している。

問4-2 不参加の理由【65歳以上】（複数回答）

【問4-1で①～⑫のすべてに「参加していない」と回答した方にお聞きします】
参加していない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

地域活動に参加していない方にその理由について尋ねたところ、「体力・健康面に不安がある」（32.2%）が最も多く、次いで、「人間関係が不安・煩わしい」（22.4%）、「意欲がわからない、関心がない」（21.5%）となっている。

問4-2 不参加の理由【65歳以上】（複数回答）

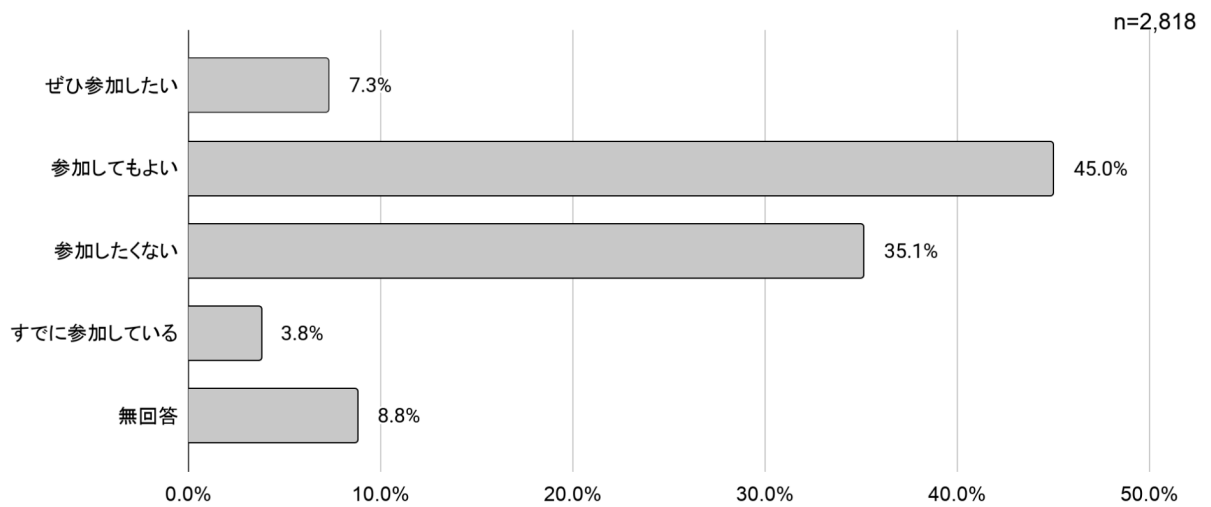


問4-3 参加意欲【65歳以上】

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行い、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に**参加者として**参加してみたいと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

65歳以上の方を対象に、地域づくり活動に参加者として参加したいかについて尋ねたところ、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」を合わせた割合は52.3%となっている。一方、「参加したくない」は35.1%となっている。

問4-3 参加意欲【65歳以上】



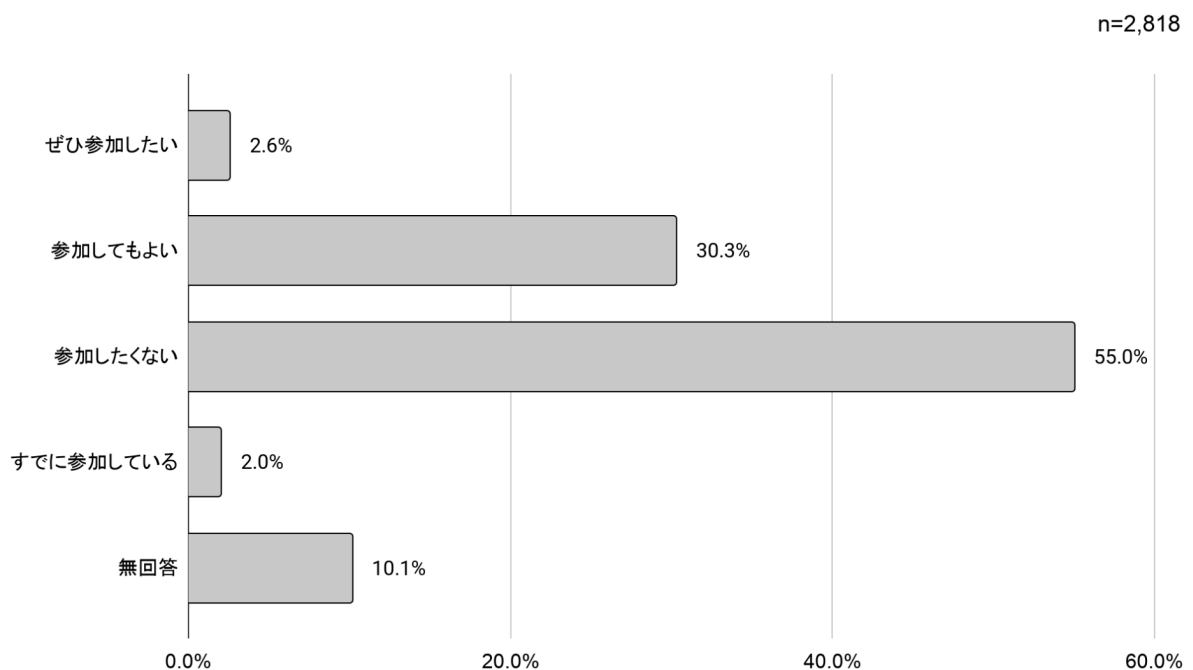
問4-4 企画・運営意欲【65歳以上】

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に**企画・運営(お世話役)**として参加してみたいと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

地域づくり活動に企画・運営として参加したいかについて尋ねたところ、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」を合わせた割合は32.9%となっている。

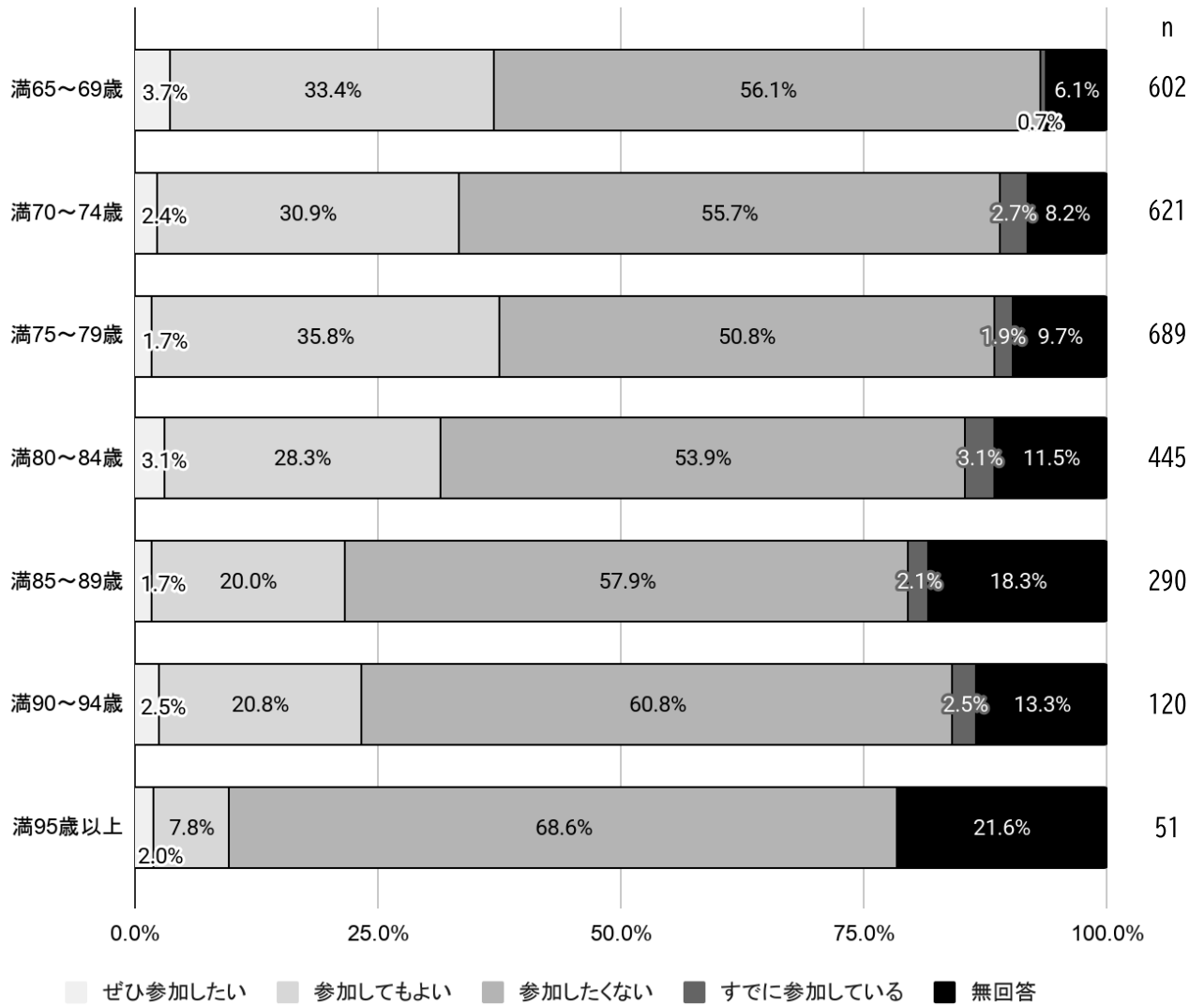
一方、「参加したくない」は55.0%となっている。

問4-4 企画・運営意欲【65歳以上】



年齢別にみると、「参加してもよい」の割合は、「満65～69歳」で33.4%である一方、「満95歳以上」では7.8%となっており、年齢を重ねるにつれて企画・運営意欲が低下する傾向がみられる。

問4-4 企画・運営意欲【65歳以上】 × 問1-4 年齢



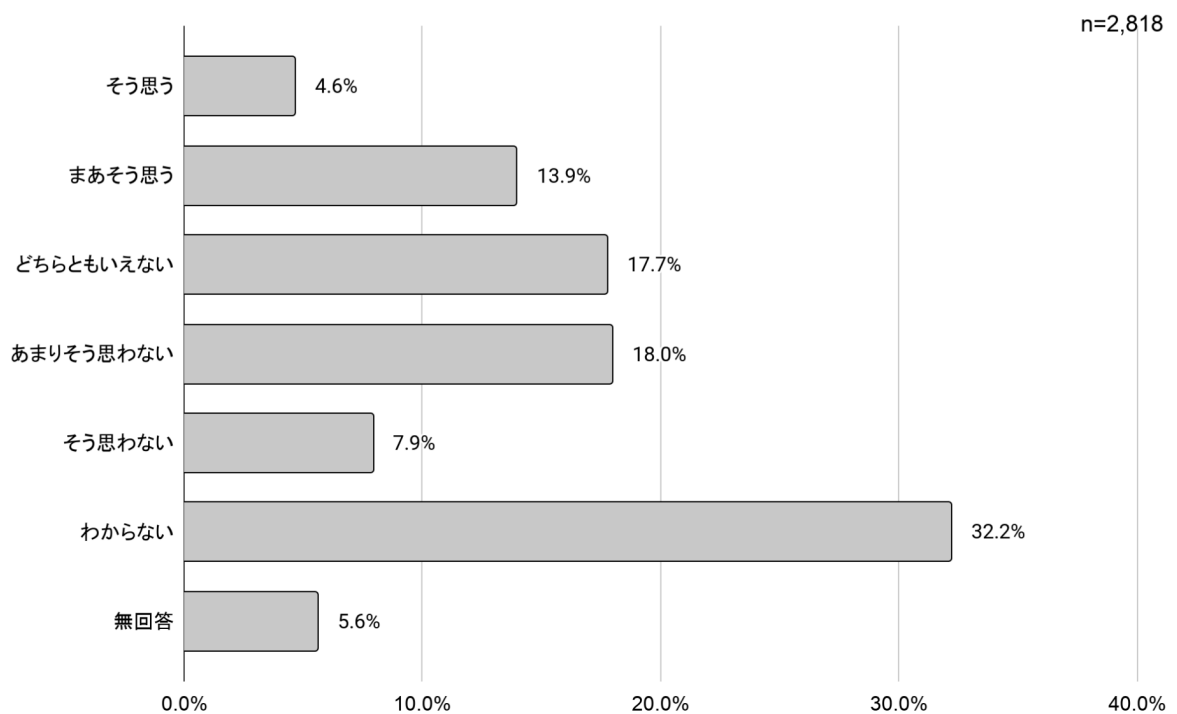
問4-5 社会参加の機会【65歳以上】

札幌市では、高齢者が積極的に社会参加できる機会が十分にあると思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

札幌市では、高齢者が積極的に社会参加できる機会が十分にあると思うかを尋ねたところ、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が18.5%となっている。

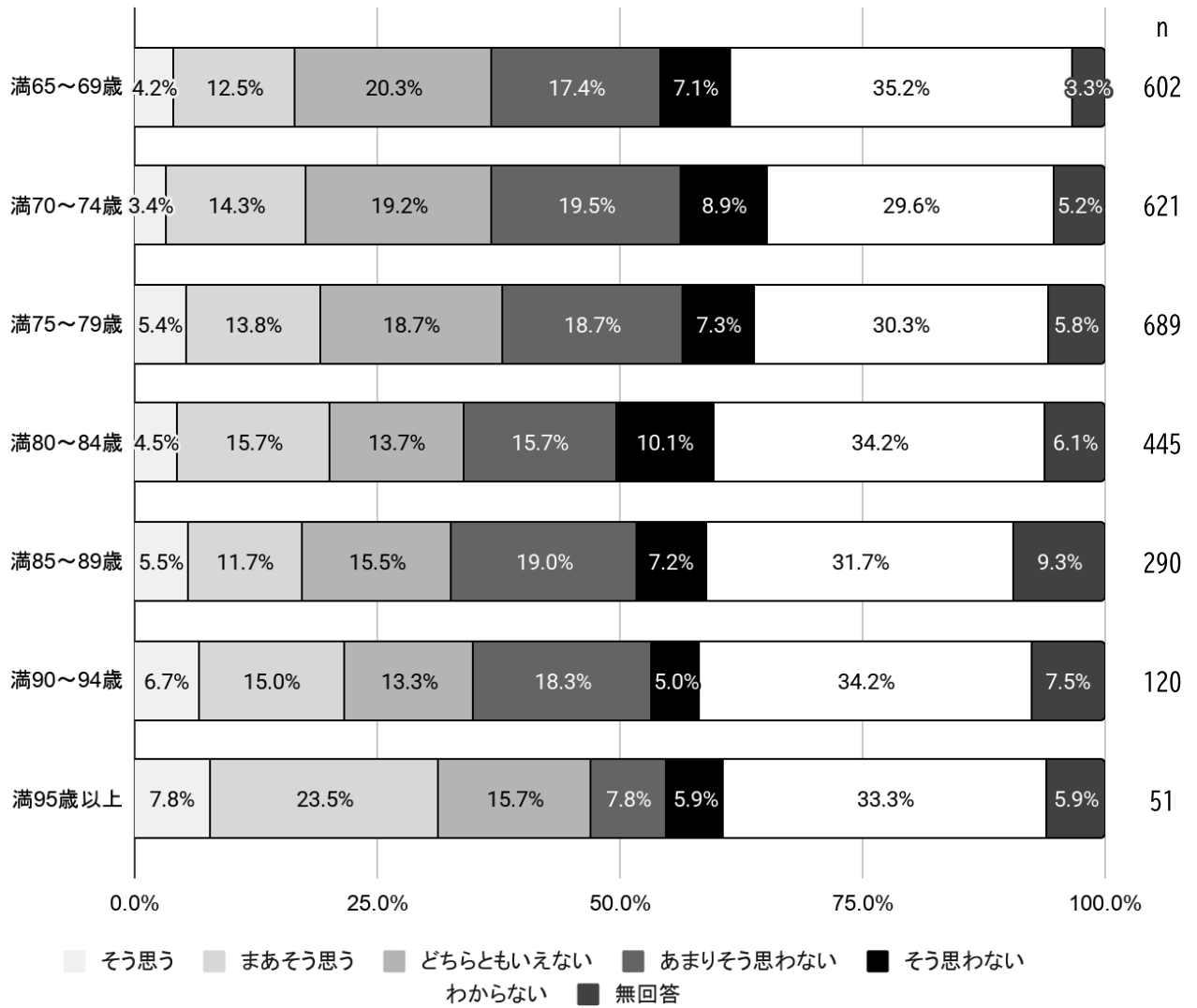
一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は25.9%となっている。

問4-5 社会参加の機会【65歳以上】



年齢別にみると、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合は、「満95歳以上」が最も多く、31.3%となっている。

問4-5 社会参加の機会【65歳以上】 × 問1-4 年齢



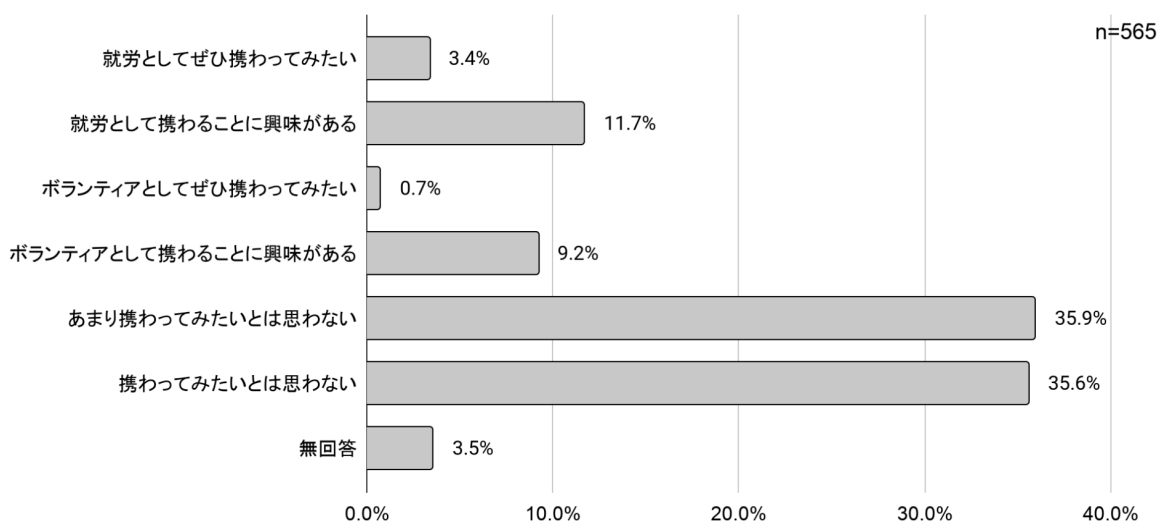
問4-6 介護の仕事への就労意欲

少子高齢化に伴い、「介護のおしごと」の需要が高まっていますが、あなたは携わってみたいと思いますか(介護福祉士などの介護職や、特別な資格のいない介護助手としての就労のほか、ボランティアとしてのお手伝いも含みます)。当てはまるもの1つに○をつけてください。

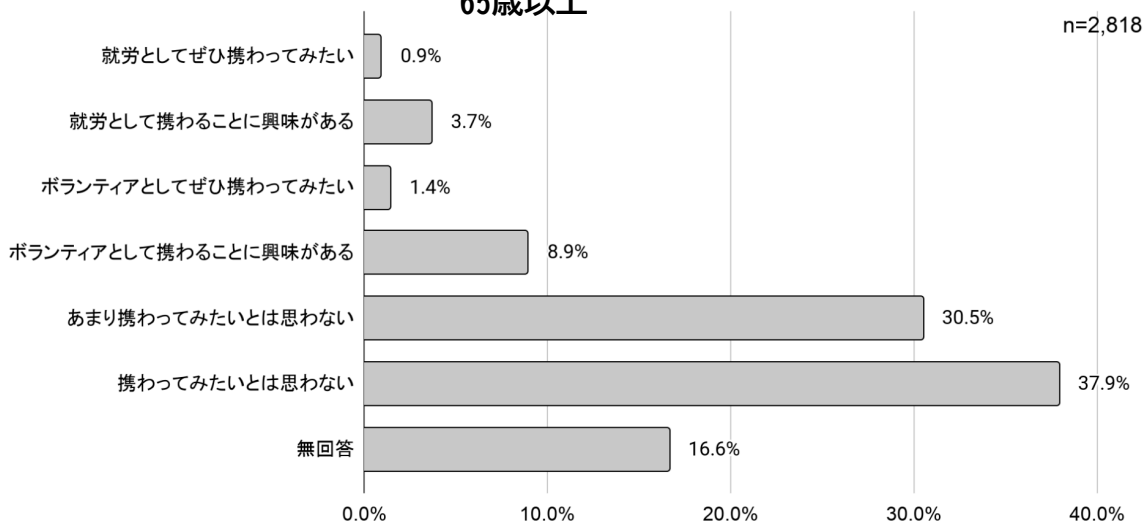
「介護のおしごと」に携わってみたいかについて、「就労としてぜひ携わってみたい」「就労として携わることに興味がある」を合わせた割合は、64歳以下が15.1%、65歳以上が4.6%となっており、「ボランティアとしてぜひ携わってみたい」「ボランティアとして携わることに興味がある」を合わせた割合は64歳以下が9.9%、65歳以上が10.3%となっている。

一方、「あまり携わってみたいとは思わない」「携わってみたいとは思わない」を合わせた割合は64歳以下が71.5%、65歳以上が68.4%となっている。

問4-6 介護の仕事への就労意欲 40歳以上64歳以下



65歳以上

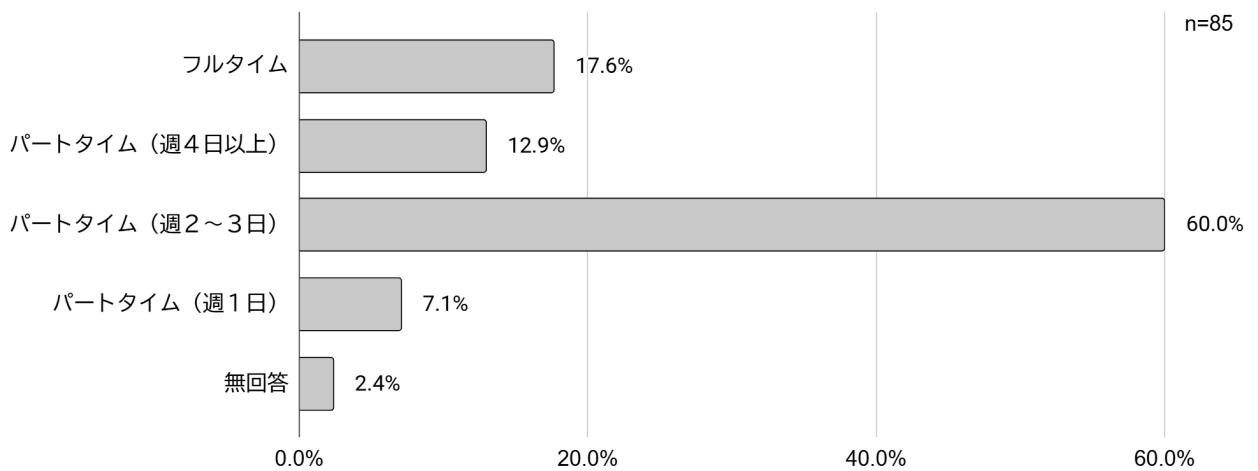


問4-7 勤務形態（頻度）の希望

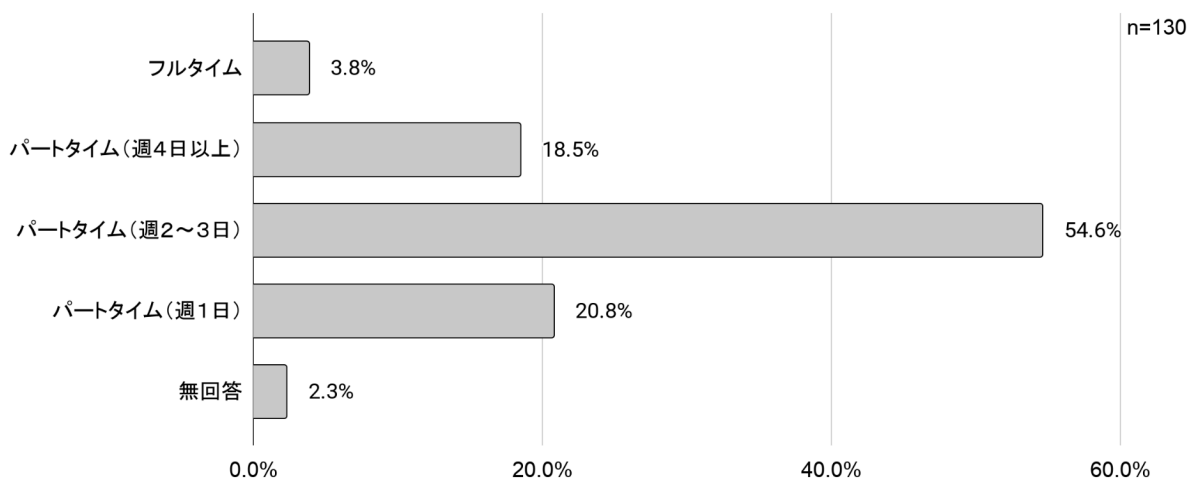
【問4-6で「就労としてぜひ携わってみたい」、「就労として携わることに興味がある」のいずれかを回答した方にお聞きします】
 どのような勤務形態（頻度）で働きたいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

どのような勤務形態（頻度）で働きたいかを尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「パートタイム（週2～3日）」の割合が最も多く、64歳以下は60.0%、65歳以上は54.6%となっている。

問4-7 勤務形態（頻度）の希望
40歳以上64歳以下



65歳以上



2. 5 心身の状況について

問5-1 身長・体重【65歳以上】

身長・体重を教えてください。下表の□の中に回答を記入してください（小数点第1位まで）。

身長と体重を尋ねたところ、65歳以上の男性の身長の平均は166.2cm、体重は64.3kgとなっており、女性は身長が152.7cm、体重が51.7kgとなっている。

一方、令和5年の国民健康・栄養調査における身長・体重平均値は、男性の身長が165.1cm、体重は64.3kgとなっており、女性は身長が151.1cm、体重が52.0kgとなっている。

問5-1 身長・体重【65歳以上】

		身長（cm）		体重（kg）	
		人数	平均値	人数	平均値
男性	全体	1,157	166.2	1,149	64.3
	満65～69歳	264	168.6	263	68.3
	満70～74歳	273	167.8	272	65.8
	満75～79歳	299	165.6	297	63.8
	満80～84歳	175	164.0	173	62.3
	満85～89歳	97	163.7	96	59.1
	満90～94歳	34	160.5	33	56.2
	満95歳以上	15	160.0	15	54.2
女性	全体	1,400	152.7	1,394	51.7
	満65～69歳	291	156.3	287	54.6
	満70～74歳	292	154.0	292	53.4
	満75～79歳	354	152.7	352	51.9
	満80～84歳	222	150.4	223	49.9
	満85～89歳	151	149.5	150	48.4
	満90～94歳	65	148.2	66	47.0
	満95歳以上	25	146.0	24	43.6

【参考】厚生労働省「令和5年国民健康・栄養調査」身長・体重平均値

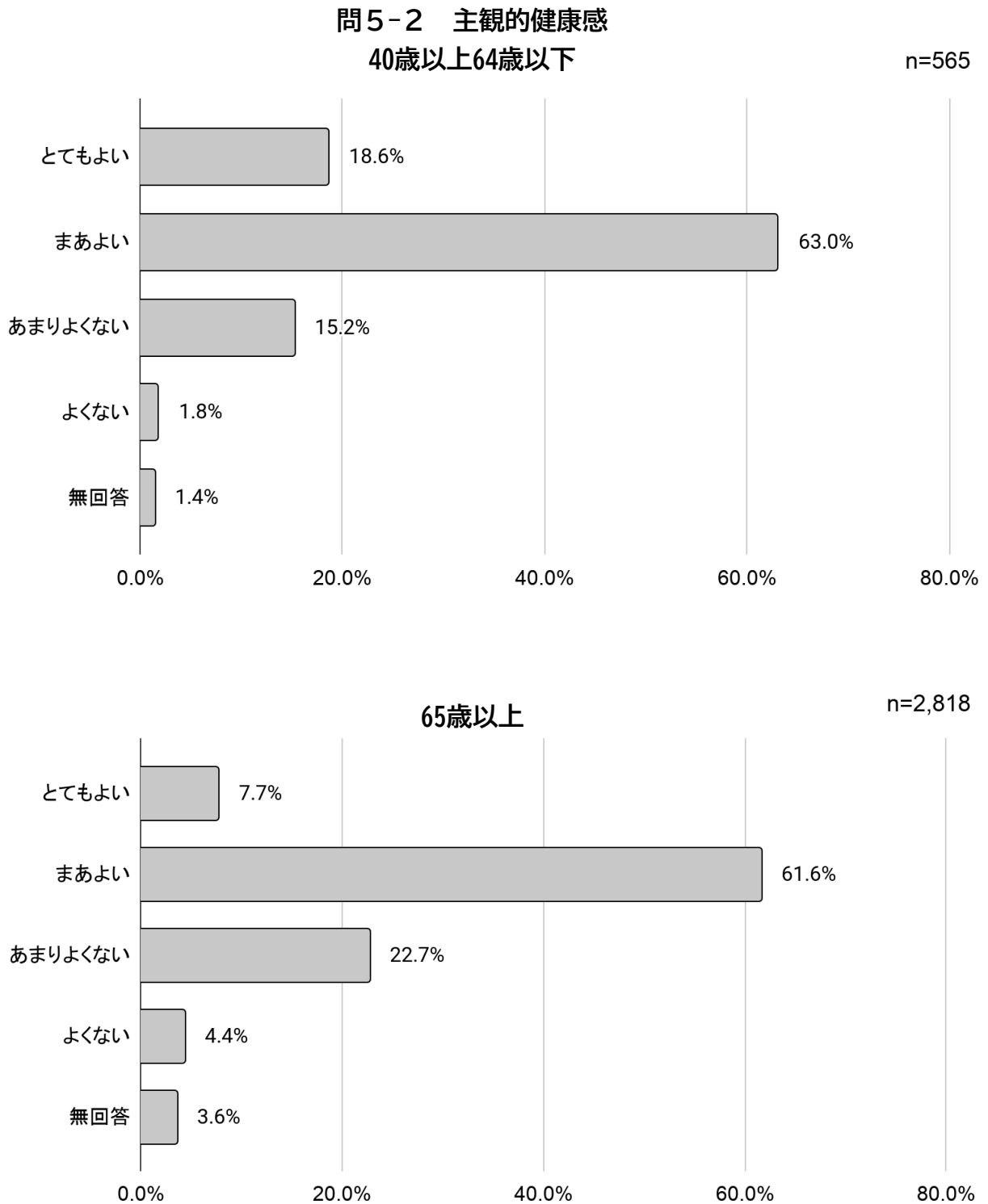
		身長 (cm)		体重 (kg)	
		人数	平均値	人数	平均値
男性	全体	826	165.1	824	64.3
	満65～69歳	206	168.1	205	68.0
	満70～74歳	218	166.6	218	66.8
	満75～79歳	179	164.5	178	64.0
	満80歳以上	223	161.0	223	58.5
女性	全体	941	151.1	942	52.0
	満65～69歳	222	154.3	221	54.8
	満70～74歳	252	152.4	250	52.5
	満75～79歳	186	150.1	187	51.5
	満80歳以上	281	147.6	284	49.3

問5-2 主観的健康感

現在のあなたの健康状態はいかがですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

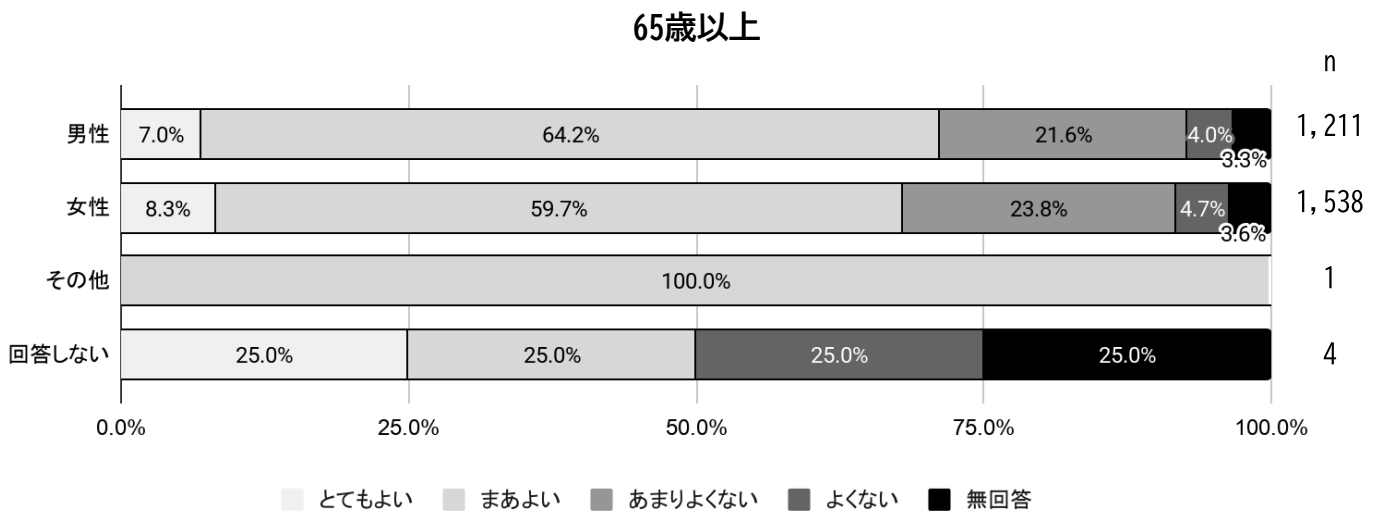
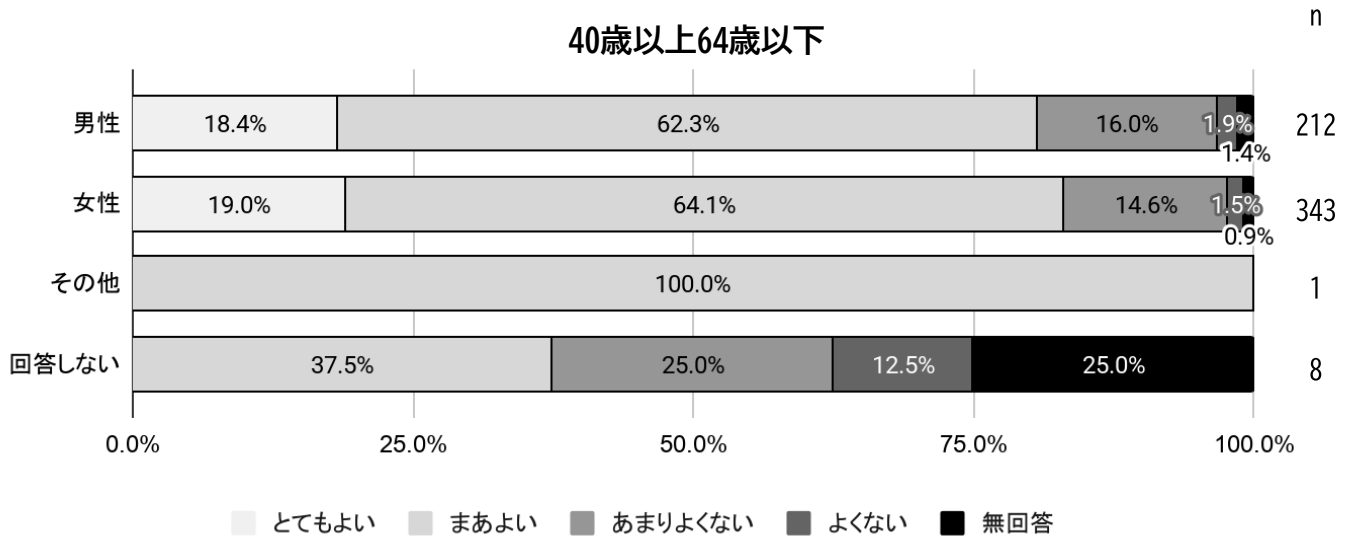
健康状態について尋ねたところ、「とてもよい」「まあよい」を合わせた割合が、64歳以下は81.6%、65歳以上は69.3%と、ともに50.0%を超えている。

一方、「あまりよくない」「よくない」を合わせた割合は、64歳以下は17.0%、65歳以上は27.1%となっている。



性別ごとにみると、「とてもよい」「まあよい」を合わせた割合は、64歳以下は、男性は80.7%、女性は83.1%となっており、65歳以上は、男性は71.2%、女性は68.0%となっている。

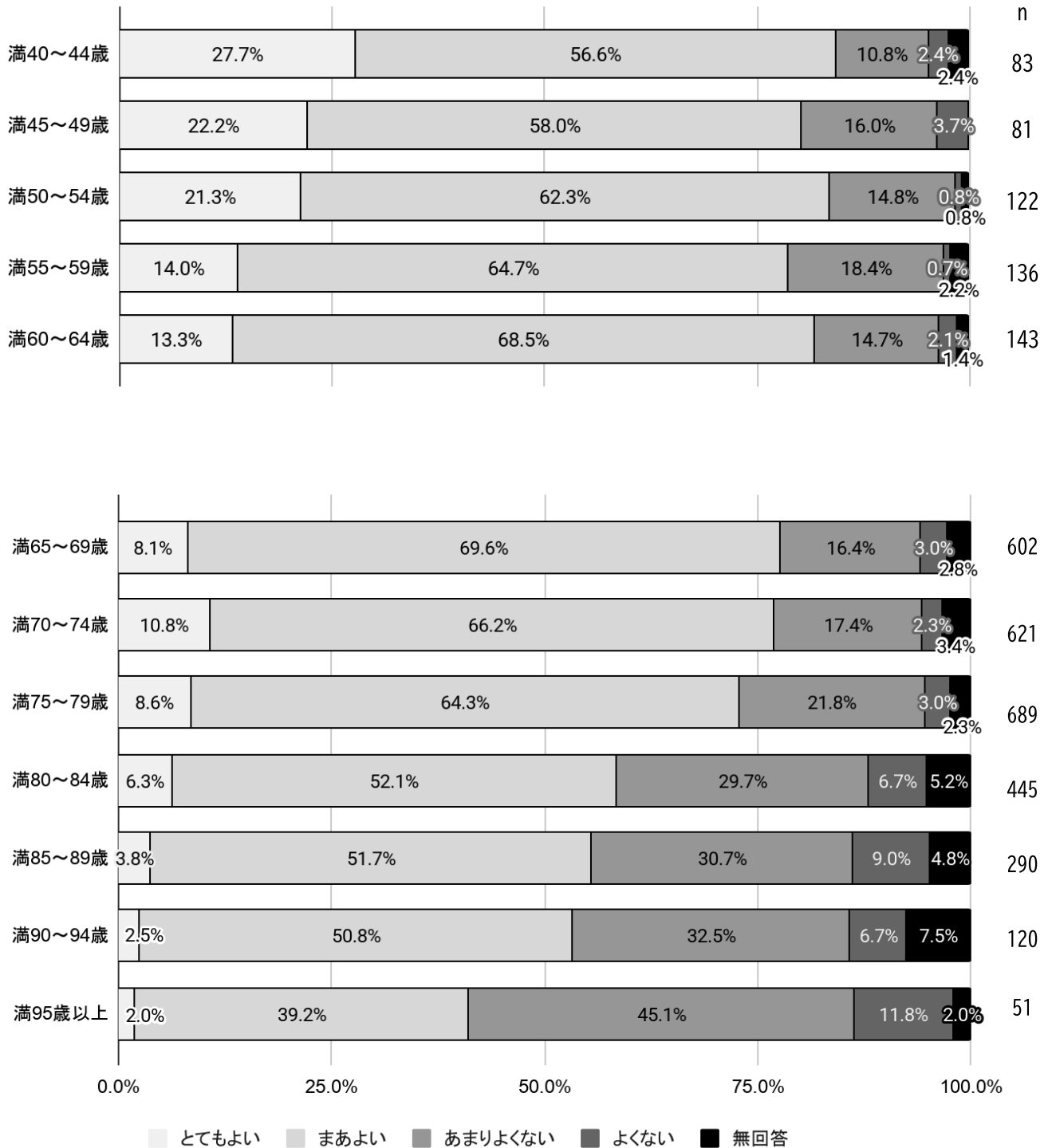
問5-2 主観的健康感 × 問1-3 性別



2 調査結果（心身の状況について）

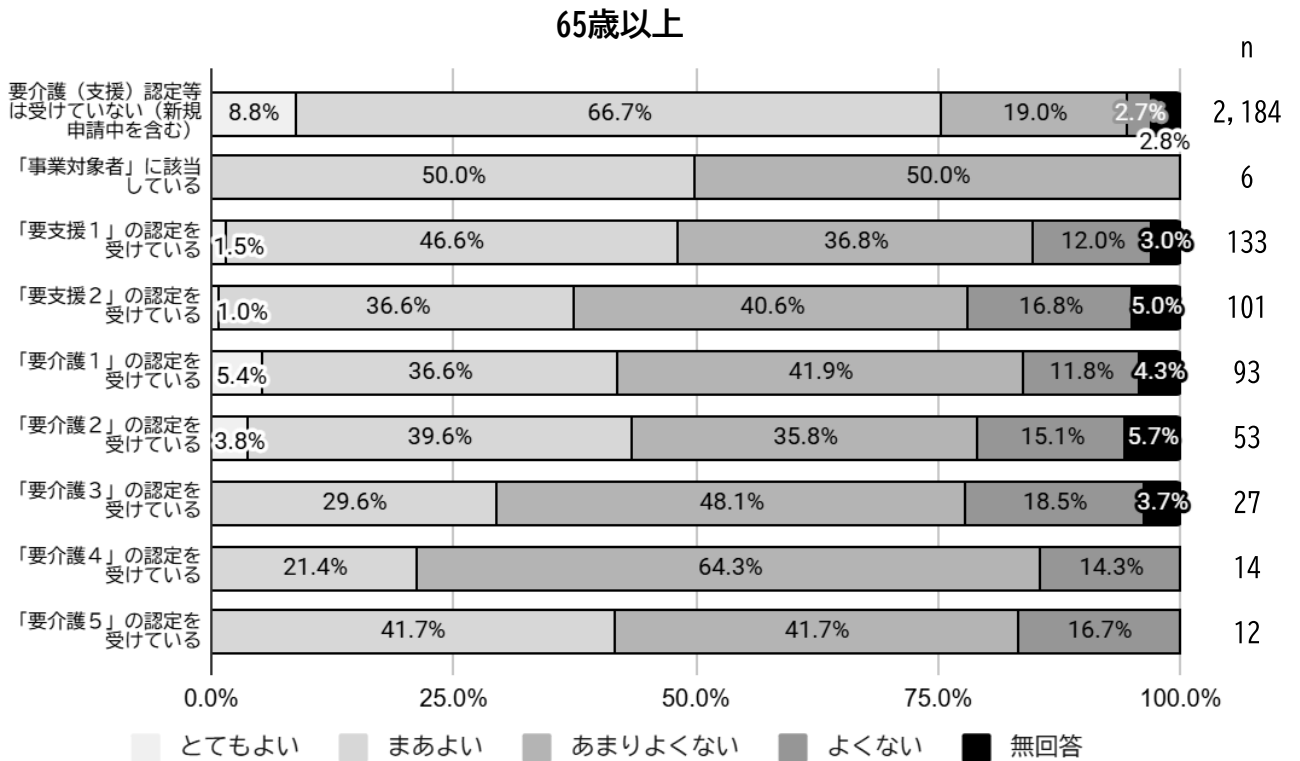
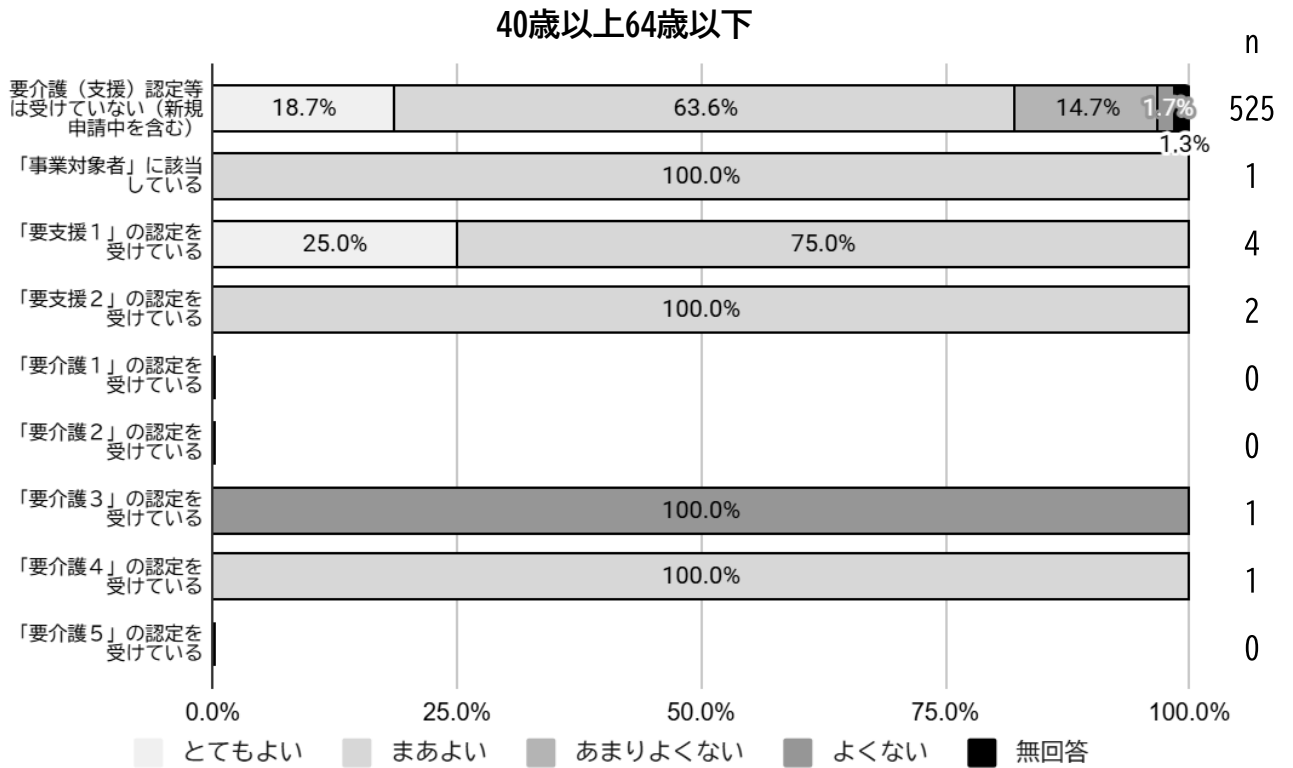
年齢別にみると64歳以下では、「とてもよい」「まあよい」を合わせた割合は全年齢で50.0%を超えている。65歳以上では年齢が上がるにつれて減少傾向ではあるものの、「とてもよい」「まあよい」を合わせた割合が「満95歳以上」を除いて50.0%を超えている。

問5-2 主観的健康感 × 問1-4 年齢



要介護等認定状況別にみると、65歳以上で要介護（支援）認定を受けていると回答した方は、「『要支援1』の認定を受けている」と回答した方を除き、「あまりよくない」「よくない」を合わせた割合が50.0%を超えている。

問5-2 主観的健康感 × 問5-20 要介護等認定状況

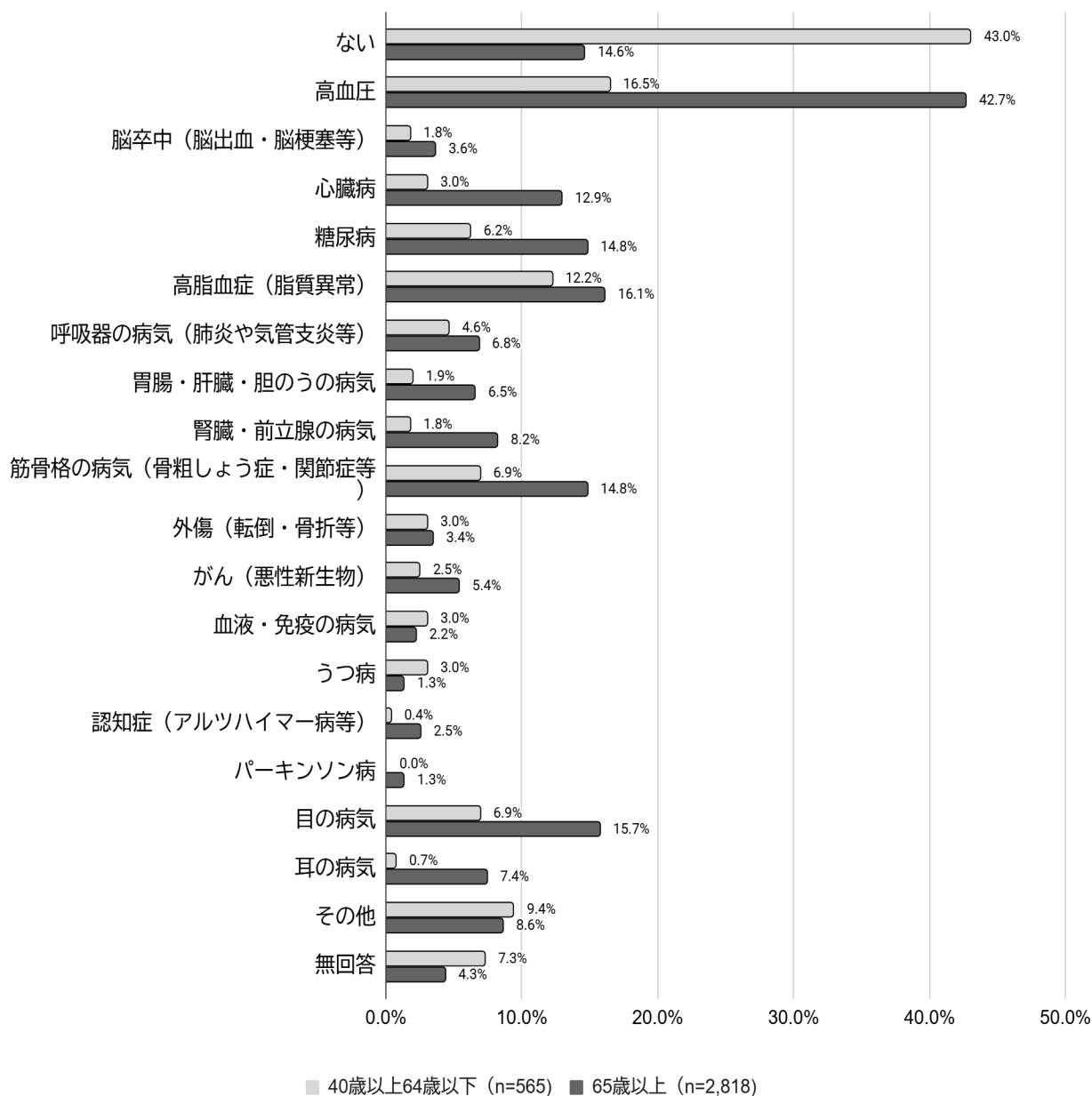


問5-3 リ患中の疾病、後遺症（複数回答）

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

現在、治療中、または後遺症のある病気を尋ねたところ、64歳以下は「ない」（43.0%）が最も多く、次いで「高血圧」（16.5%）、「高脂血症（脂質異常）」（12.2%）となっており、65歳以上は「高血圧」（42.7%）が最も多く、次いで「高脂血症（脂質異常）」（16.1%）、「目の病気」（15.7%）となっている。

問5-3 リ患中の疾病、後遺症（複数回答）

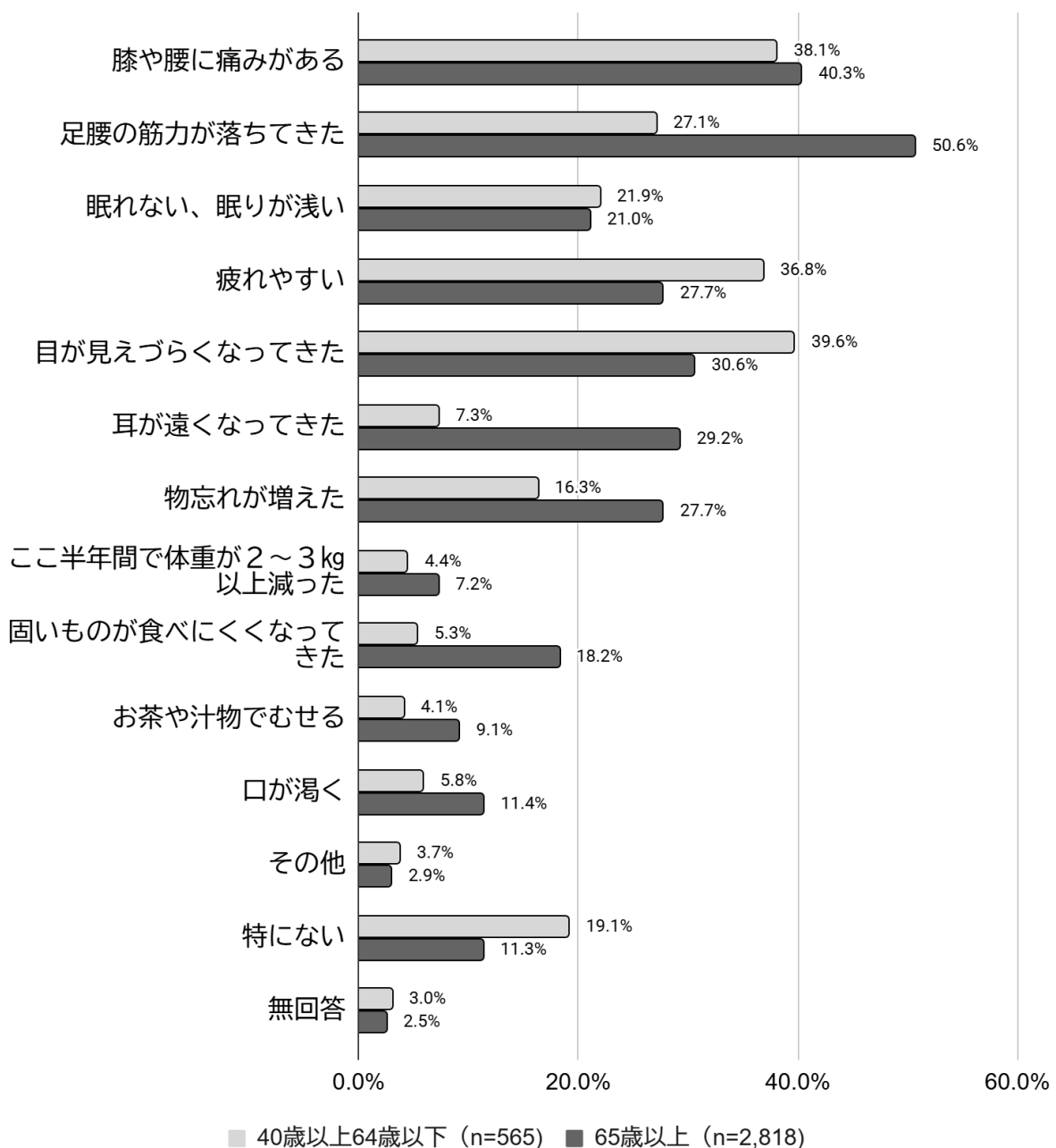


問5-4 健康状態で気になっていること（複数回答）

最近、ご自身の健康状態について気になっていることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

最近の自身の健康状態について気になっていることを尋ねたところ、64歳以下は「目が見えづらくなってきた」（39.6%）が最も多く、次いで、「膝や腰に痛みがある」（38.1%）、「疲れやすい」（36.8%）となっており、65歳以上は「足腰の筋力が落ちてきた」（50.6%）が最も多く、次いで、「膝や腰に痛みがある」（40.3%）、「目が見えづらくなってきた」（30.6%）となっている。

問5-4 健康状態で気になっていること（複数回答）



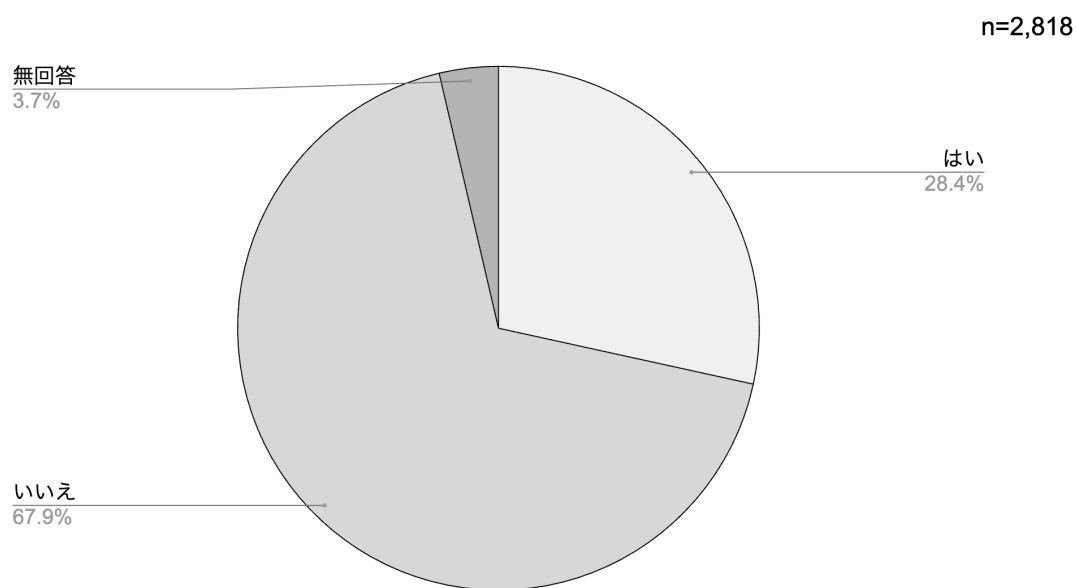
2 調査結果（心身の状況について）

問5-5 咀嚼【65歳以上】

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

半年前と比較して固いものの食べにくさがあるかを尋ねたところ、「いいえ」が67.9%、「はい」が28.4%となっている。

問5-5 咀嚼【65歳以上】

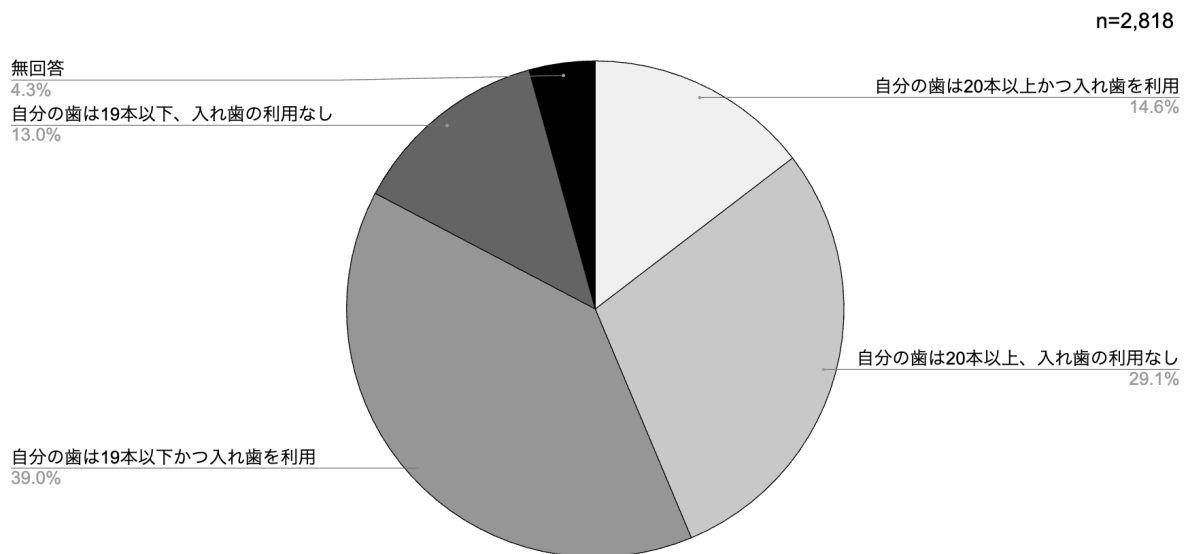


問5-6 歯数【65歳以上】

歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。当てはまるもの1つに○をつけてください。

歯の数と入れ歯の利用状況について尋ねたところ、「自分の歯は19本以下かつ入れ歯を利用」（39.0%）が最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」（29.1%）、「自分の歯は20本以上かつ入れ歯を利用」（14.6%）となっている。

問5-6 歯数【65歳以上】

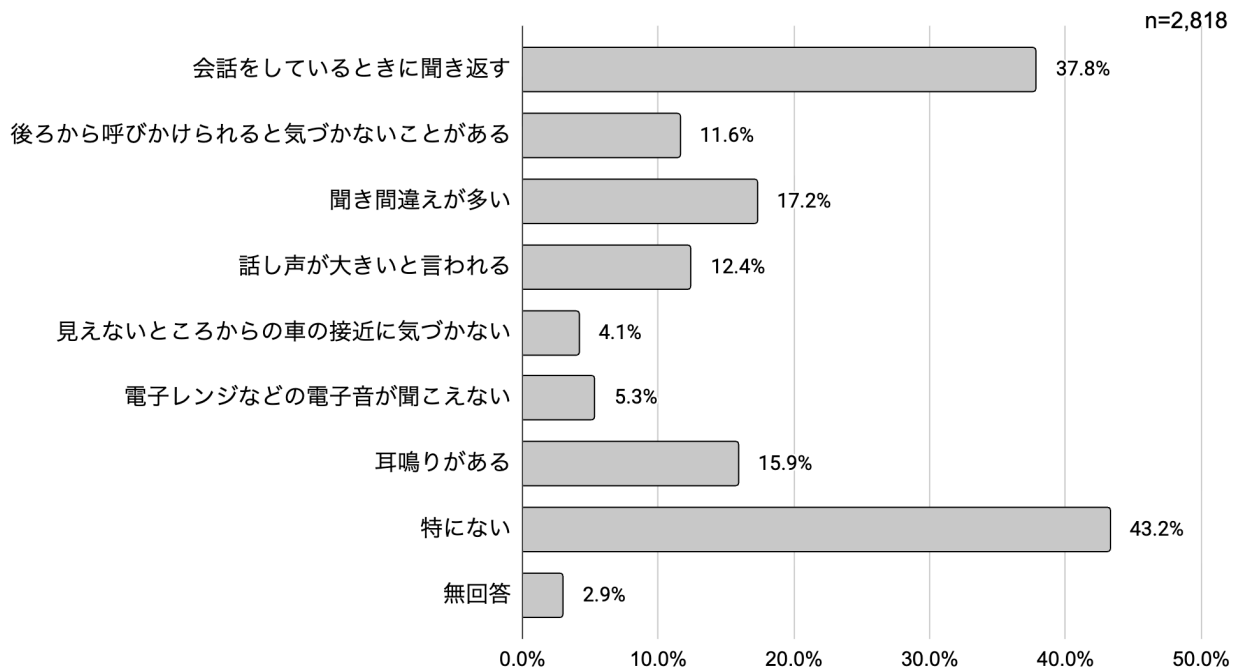


問5-7 聞こえ【65歳以上】（複数回答）

最近、ご自身の聞こえの状態について気になっていることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

聞こえの状態について尋ねたところ、「特にない」（43.2%）が最も多く、次いで「会話をしているときに聞き返す」（37.8%）、「聞き間違いが多い」（17.2%）となっている。

問5-7 聞こえ【65歳以上】（複数回答）

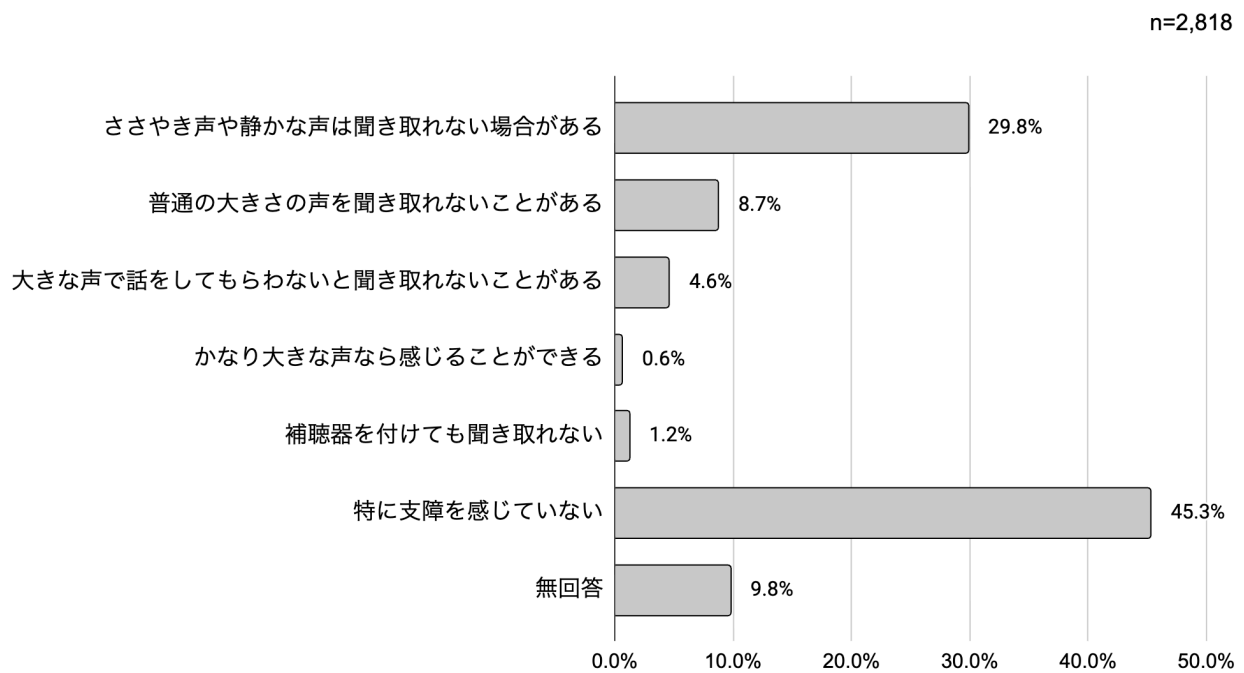


問5-8 聞こえ【65歳以上】

聞こえる音量について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

聞こえる音量について尋ねたところ、「特に支障を感じていない」（45.3%）が最も多く、次いで「ささやき声や静かな声は聞き取れない場合がある」（29.8%）、無回答を除き「普通の大きさの声を聞き取れないことがある」（8.7%）となっている。

問5-8 聞こえ【65歳以上】

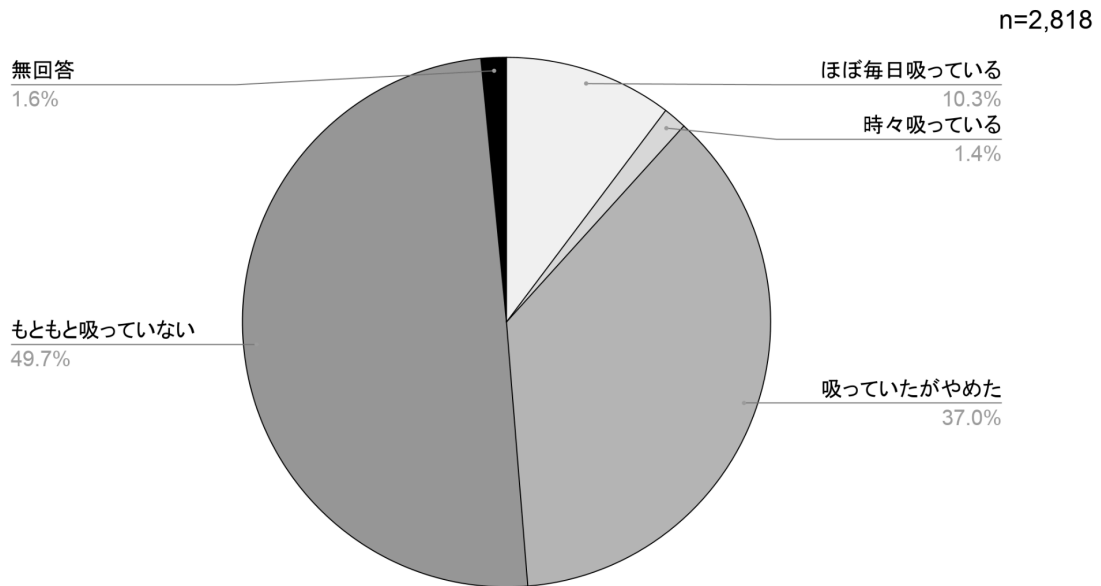


問5-9 喫煙【65歳以上】

タバコは吸っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

喫煙について尋ねたところ、「もともと吸っていない」（49.7%）が最も多く、次いで「吸っていたがやめた」（37.0%）、「ほぼ毎日吸っている」（10.3%）となっている。

問5-9 喫煙【65歳以上】



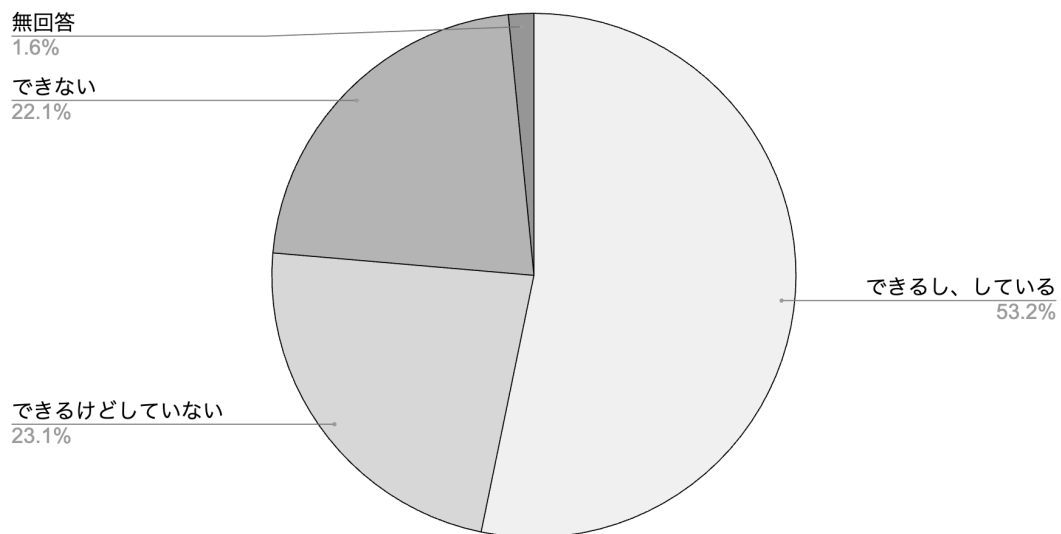
問5-10 階段昇降【65歳以上】

階段を手すりや壁をつたわずに上がっていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

階段昇降が手すりや壁をつたわずにできるかを尋ねたところ、「できるし、している」（53.2%）が最も多く、次いで「できるけどしていない」（23.1%）、「できない」（22.1%）となっている。

問5-10 階段昇降【65歳以上】

n=2,818



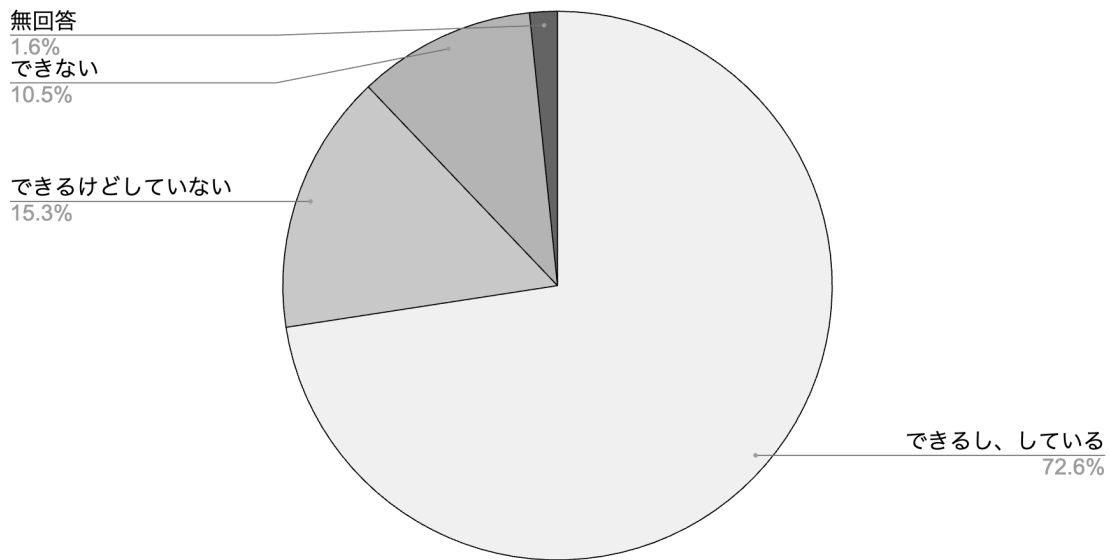
問5-11 歩行【65歳以上】

15分位続けて歩いていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

15分位続けて歩いているかを尋ねたところ、「できるし、している」（72.6%）が最も多く、次いで「できるけどしていない」（15.3%）、「できない」（10.5%）となっている。

問5-11 歩行【65歳以上】

n=2,818



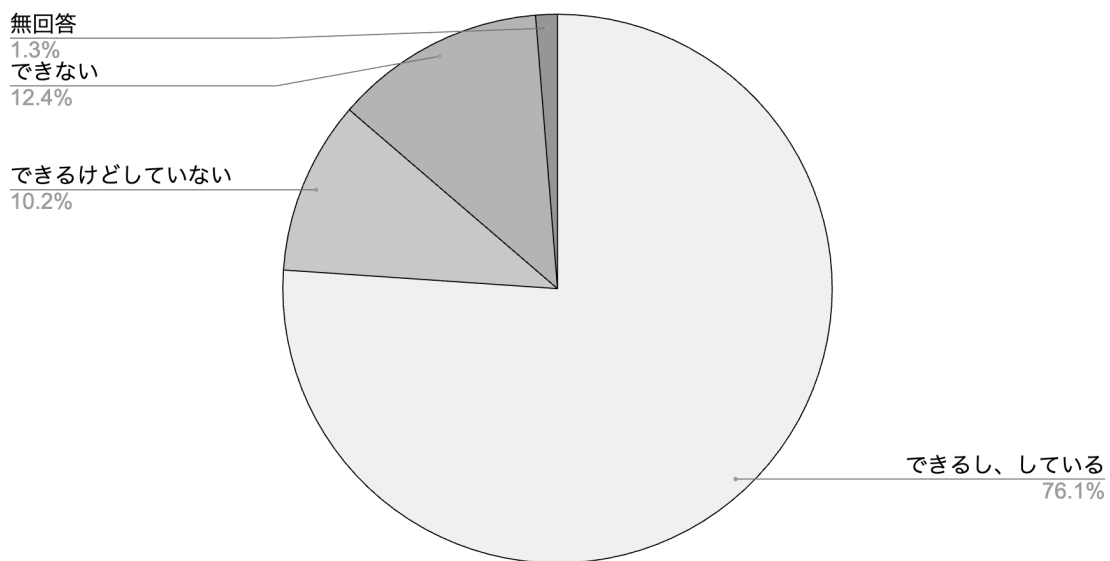
問5-12 立ち上がり【65歳以上】

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかを尋ねたところ、「できるし、している」（76.1%）が最も多く、次いで「できない」（12.4%）、「できるけどしていない」（10.2%）となっている。

問5-12 立ち上がり【65歳以上】

n=2,818

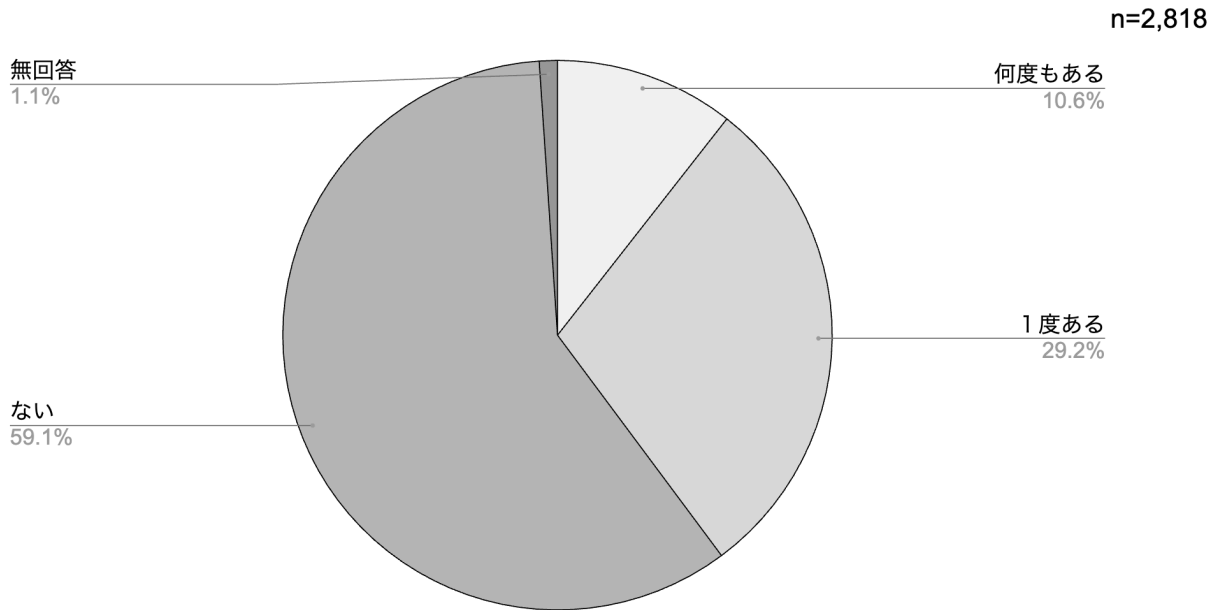


問5-13 過去1年間の転倒【65歳以上】

過去1年間に転んだ経験がありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

過去1年間に転んだことがあるかを尋ねたところ、「ない」（59.1%）が最も多く、次いで「1度ある」（29.2%）、「何度もある」（10.6%）となっている。

問5-13 過去1年間の転倒【65歳以上】

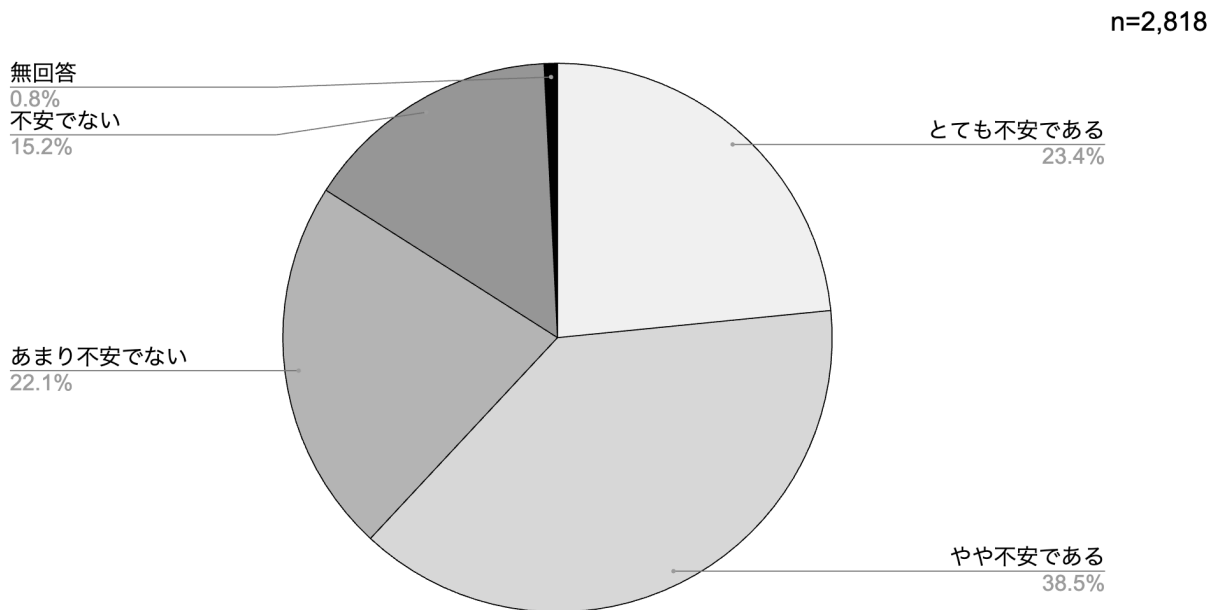


問5-14 転倒に対する不安【65歳以上】

転倒に対する不安は大きいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

転倒に対する不安は大きいかを尋ねたところ、「とても不安である」と「やや不安である」が合わせて61.9%、「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせて37.3%となっている。

問5-14 転倒に対する不安【65歳以上】



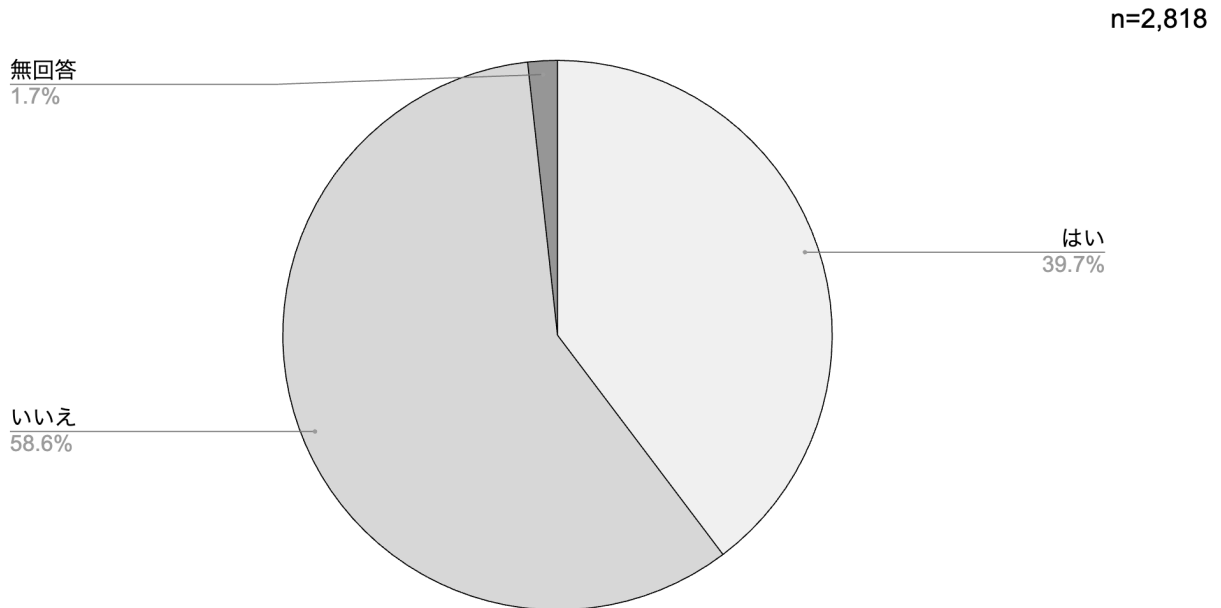
2 調査結果（心身の状況について）

問5-15 物忘れ【65歳以上】

物忘れが多いと感じますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

物忘れが多いと感じるかを尋ねたところ、「いいえ」が58.6%、「はい」が39.7%となっている。

問5-15 物忘れ【65歳以上】

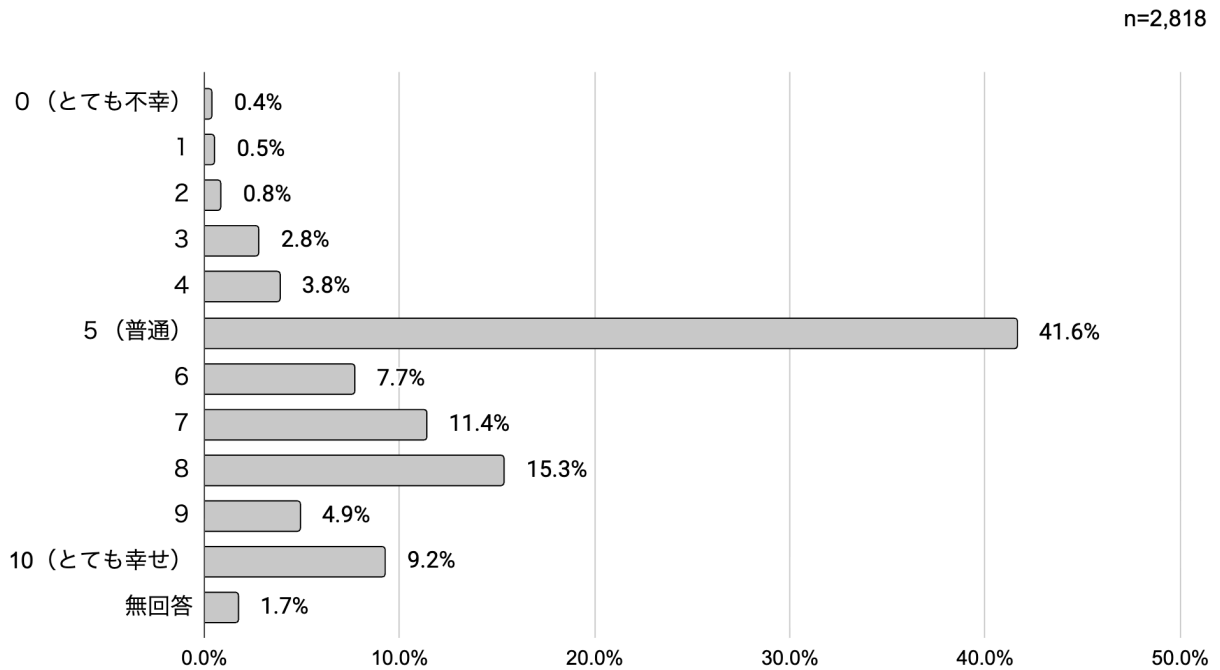


問5-16 幸福度【65歳以上】

あなたは、現在どの程度幸せですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

現在の幸福度について尋ねたところ、「5（普通）」（41.6%）が最も多く、次いで「8」（15.3%）、「7」（11.4%）となっている。

問5-16 幸福度【65歳以上】

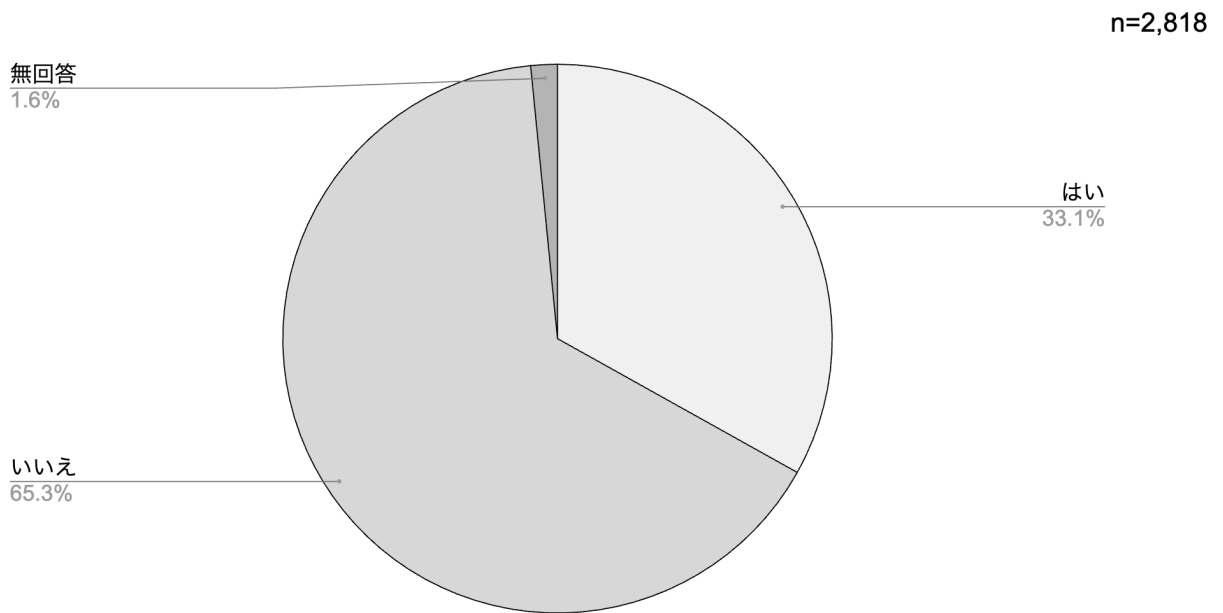


問5-17 抑うつ（気分・気持ち）【65歳以上】

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかを尋ねたところ、「いいえ」が65.3%、「はい」が33.1%となっている。

問5-17 抑うつ（気分・気持ち）【65歳以上】

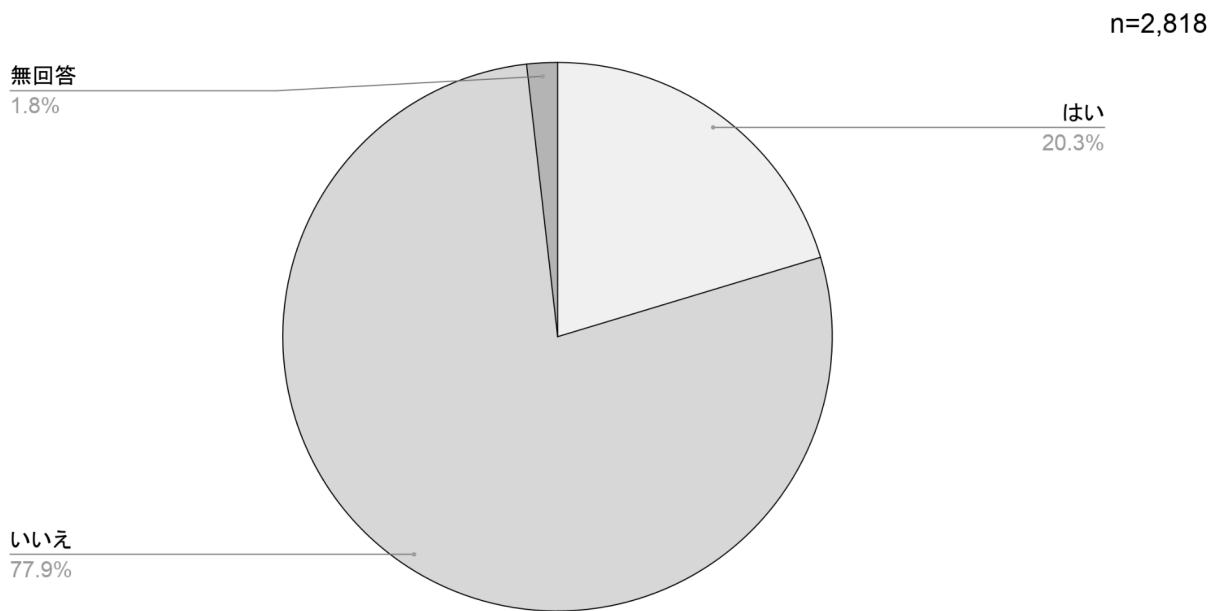


問5-18 抑うつ（興味・関心）【65歳以上】

この1か月間、どうしても物事に興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

この1か月間、どうしても物事に興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかを尋ねたところ、「いいえ」が77.9%、「はい」が20.3%となっている。

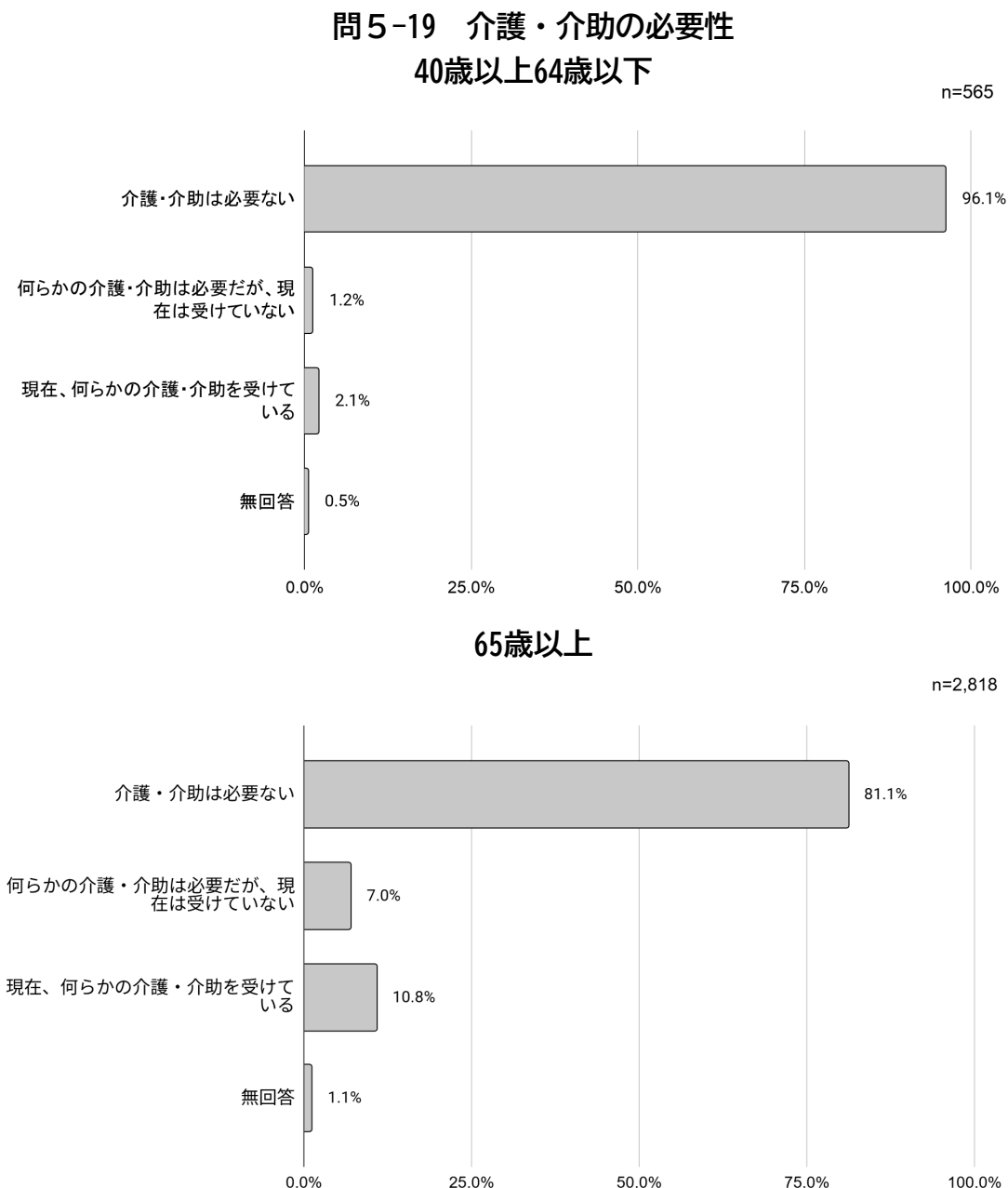
問5-18 抑うつ（興味・関心）【65歳以上】



問5-19 介護・介助の必要性

あなたは普段の生活でどなたかの介護※・介助が必要ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

現在、介護・介助が必要かを尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「介護・介助は必要ない」が大半を占めており、64歳以下は96.1%、65歳以上が81.1%となっている。次いで多いのは「現在、何らかの介護・介助を受けている」で、64歳以下で2.1%、65歳以上で10.8%となっている。

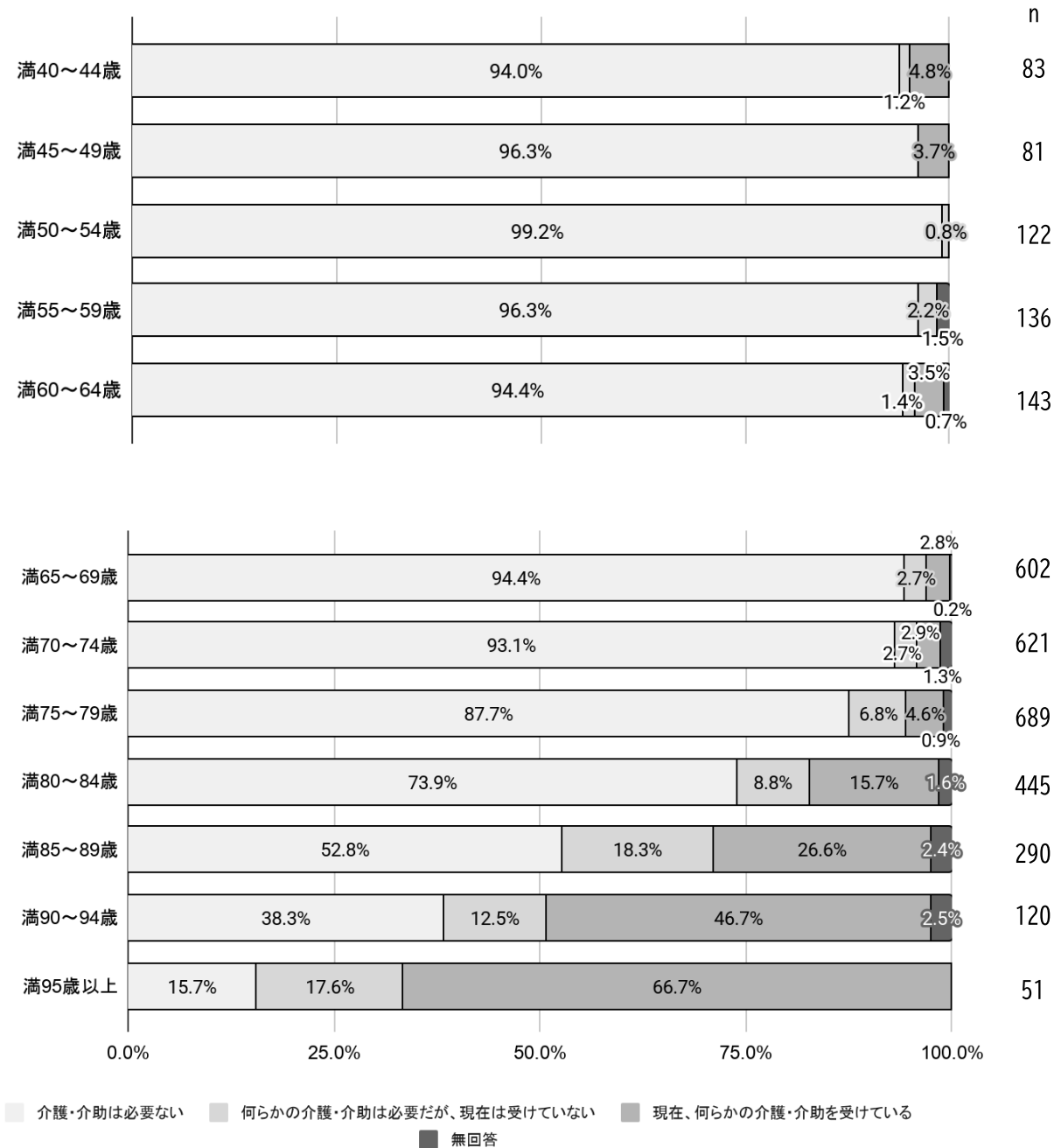


※ここでの「介護」とは、介護保険のサービスを受けている場合のほか、介護保険の要介護（支援）認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態を含む。

年齢別にみると、64歳以下ではすべての年齢層で「介護・介助は必要ない」の割合が多くなっており、90.0%を超えている。

65歳以上では年齢が高くなるにつれて「現在、何らかの介護・介助を受けている」の割合が多くなる傾向が見られ、「満95歳以上」（66.7%）が最も多くなっている。

問5-19 介護・介助の必要性 × 問1-4 年齢

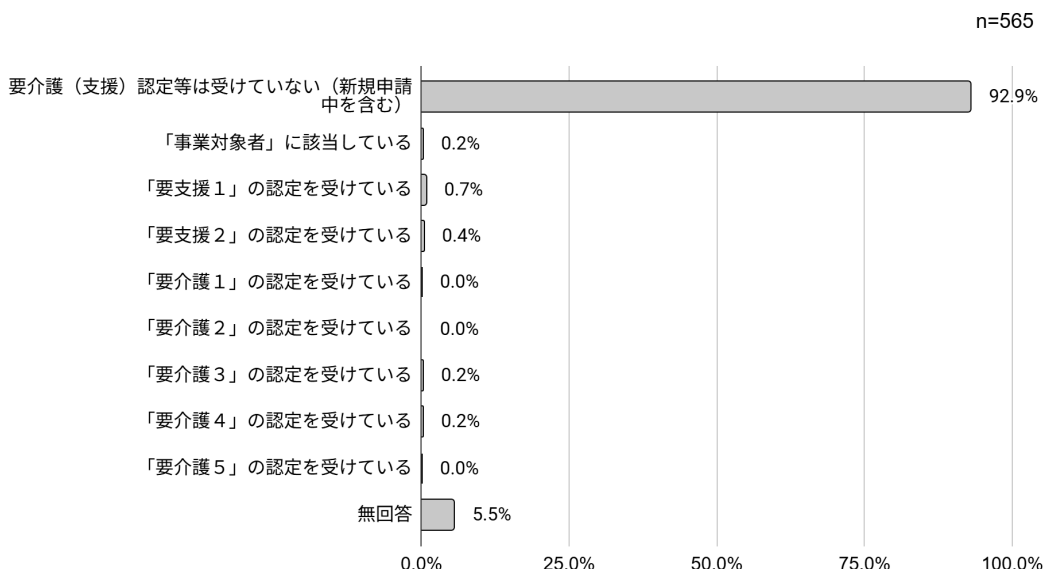


問5-20 要介護等認定状況

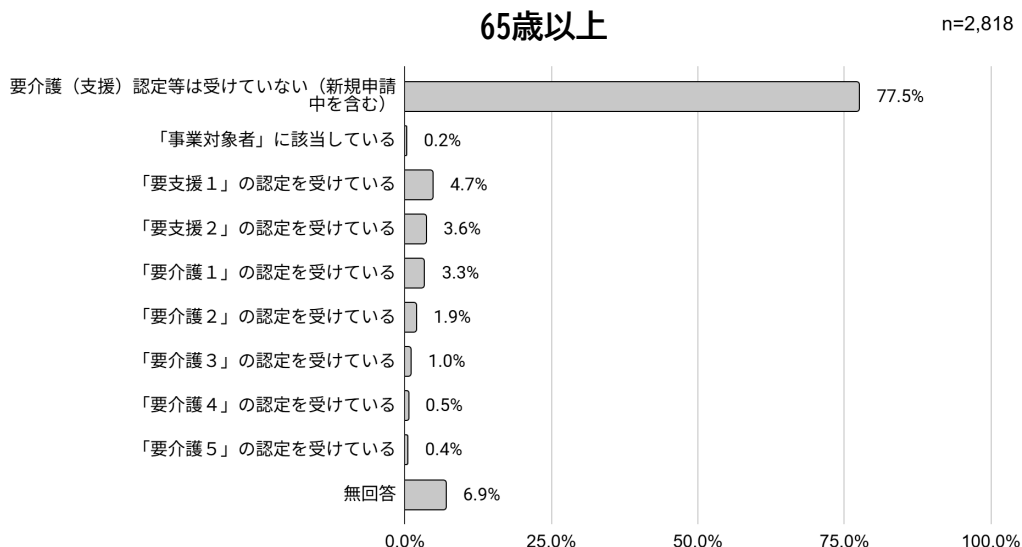
介護保険の要介護（支援）認定等※は受けていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

介護保険の要介護（支援）認定等を受けているか尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「要介護（支援）認定等を受けていない（新規申請中を含む）」が最も多く、64歳以下で92.9%、65歳以上は77.5%と、ともに50.0%を大きく超えている。

問5-20 要介護等認定状況
40歳以上64歳以下



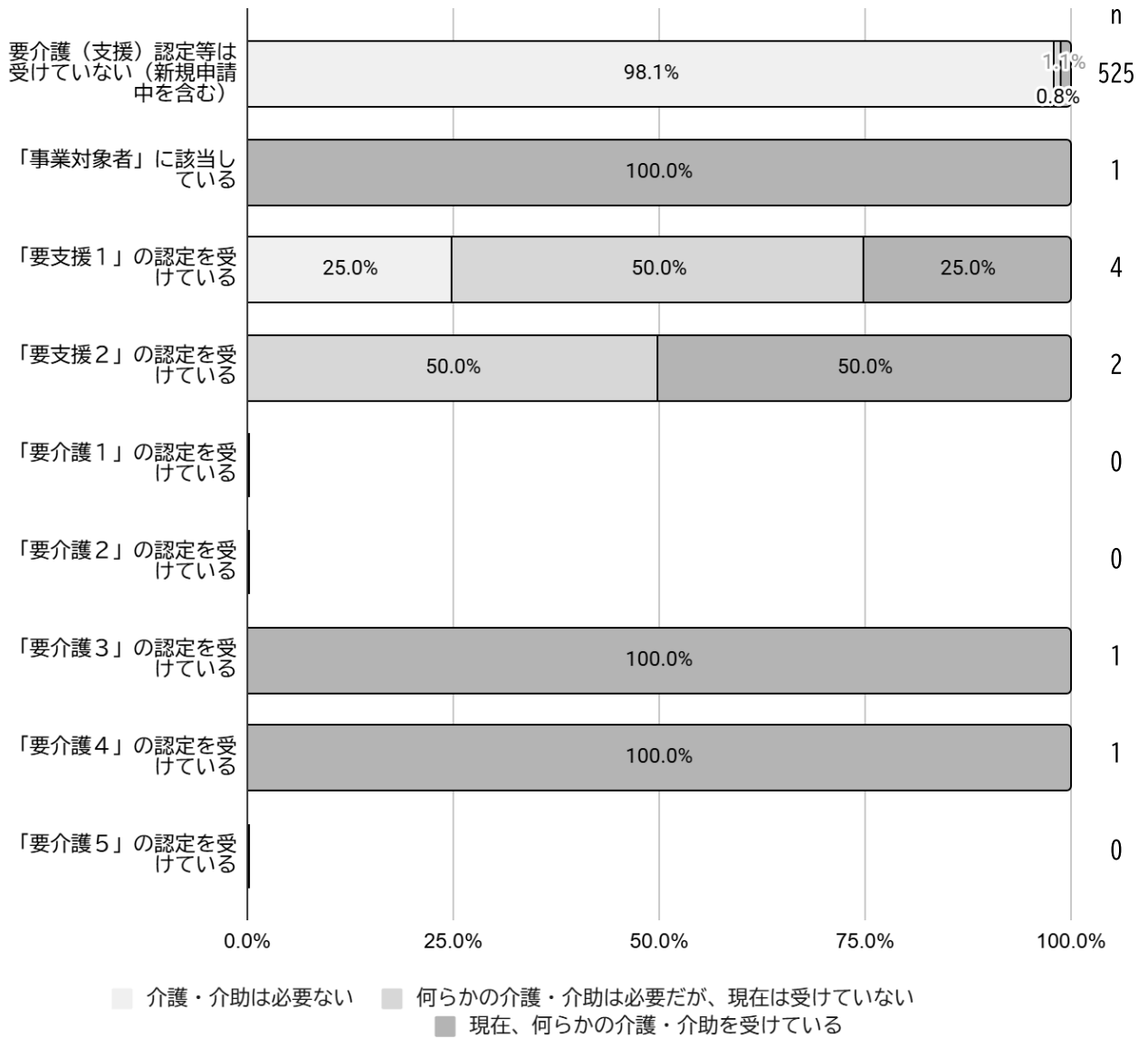
65歳以上



※要介護（支援）認定等の結果は、被保険者の皆様に交付している、「介護保険被保険者証」の2ページの「要介護状態区分等」欄に記載されている。

要介護等認定状況別の介護・介助の必要性をみると、64歳以下で「要介護（支援）認定等は受けていない（新規申請中を含む）」と答えた方のほとんどが「介護・介助は必要ない」（98.1%）となっている。

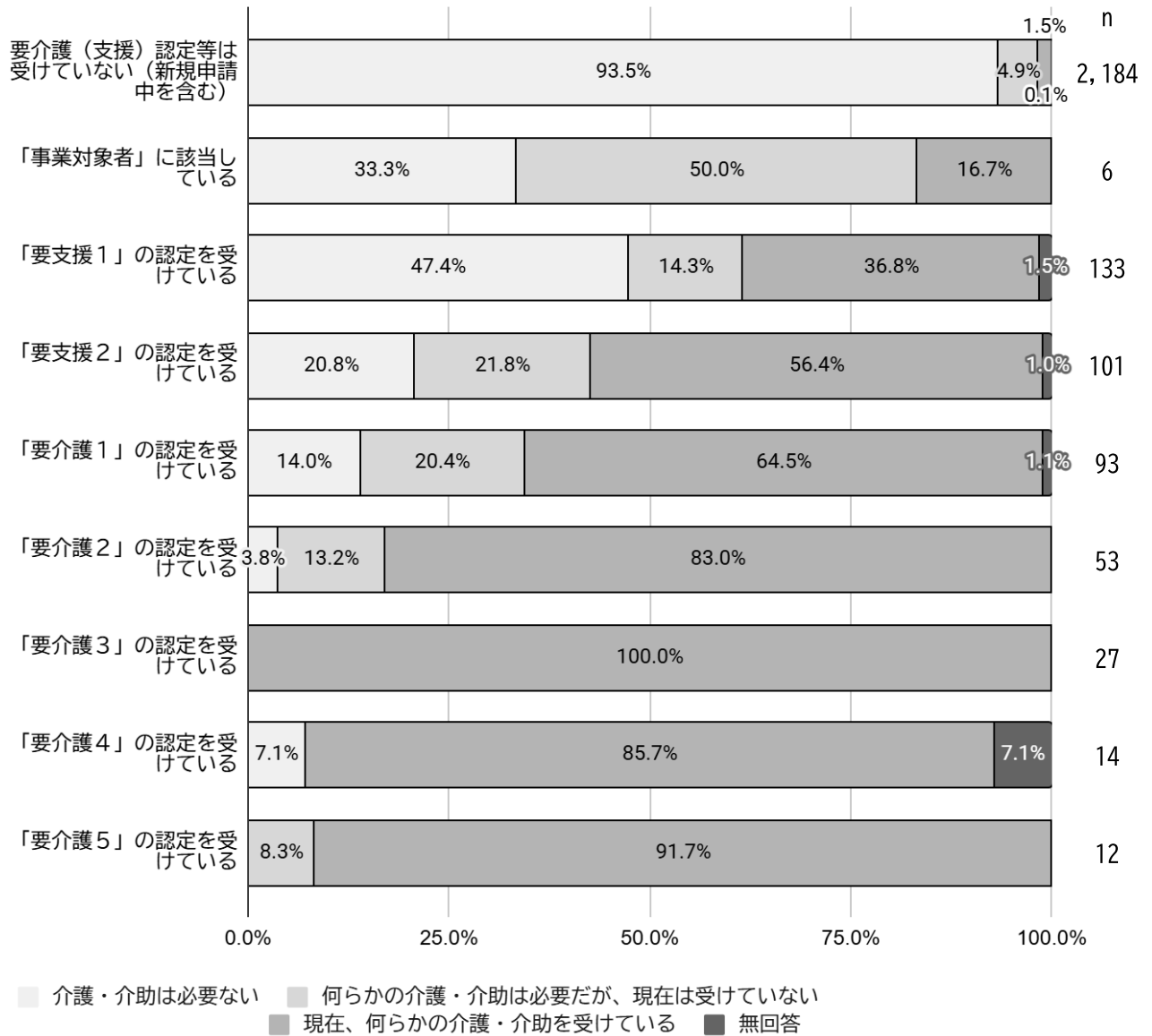
問5-19 介護・介助の必要性 × 問5-20 要介護等認定状況
40歳以上64歳以下



2 調査結果（心身の状況について）

65歳以上では、要介護（支援）度が高くなるにつれて、「現在、何らかの介護・介助を受けている」の割合が多くなる傾向にある。

問5-19 介護・介助の必要性 × 問5-20 要介護等認定状況
65歳以上



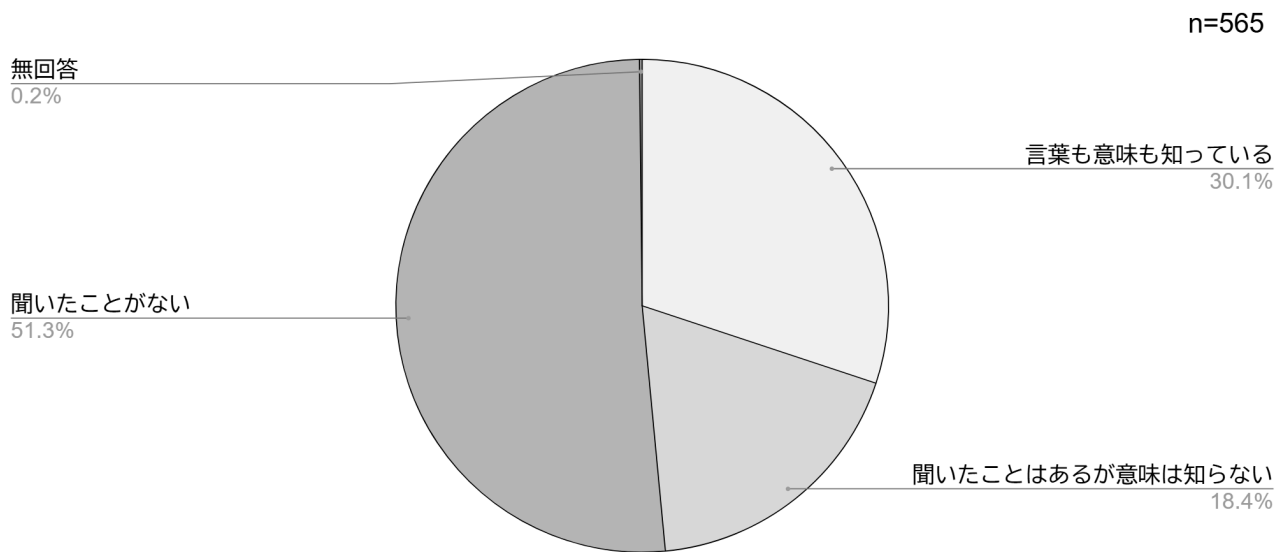
2. 6 介護予防活動について

問6-1 フレイルの認知度

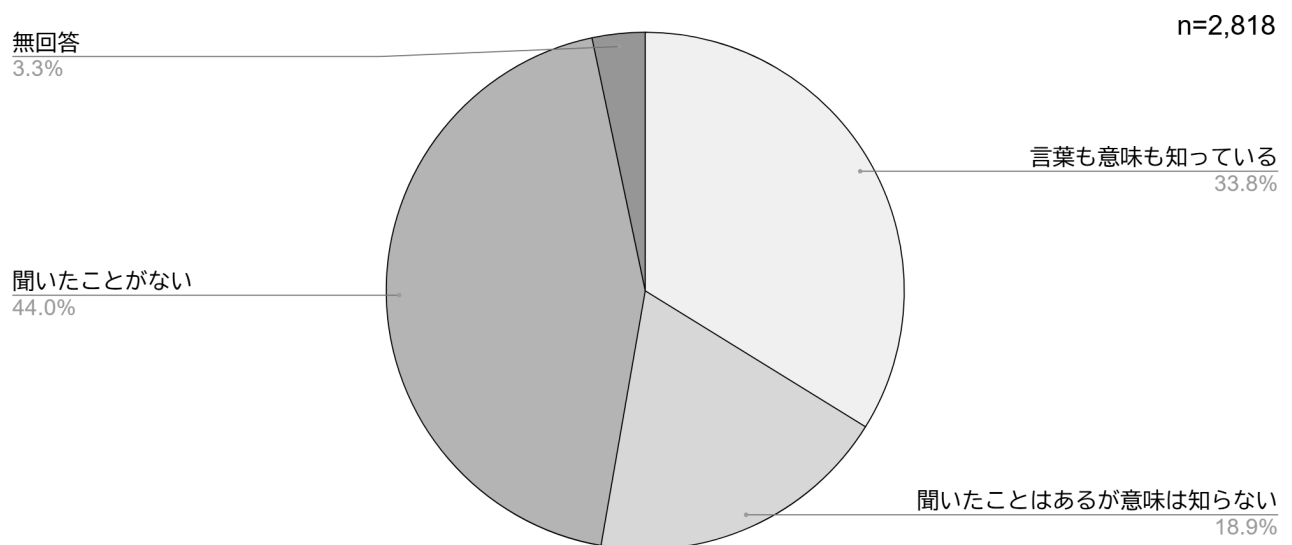
あなたはフレイルを知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

フレイルについて知っているか尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「聞いたことがない」が最も多く、64歳以下は51.3%、65歳以上では44.0%となっている。

問6-1 フレイルの認知度 40歳以上64歳以下



65歳以上



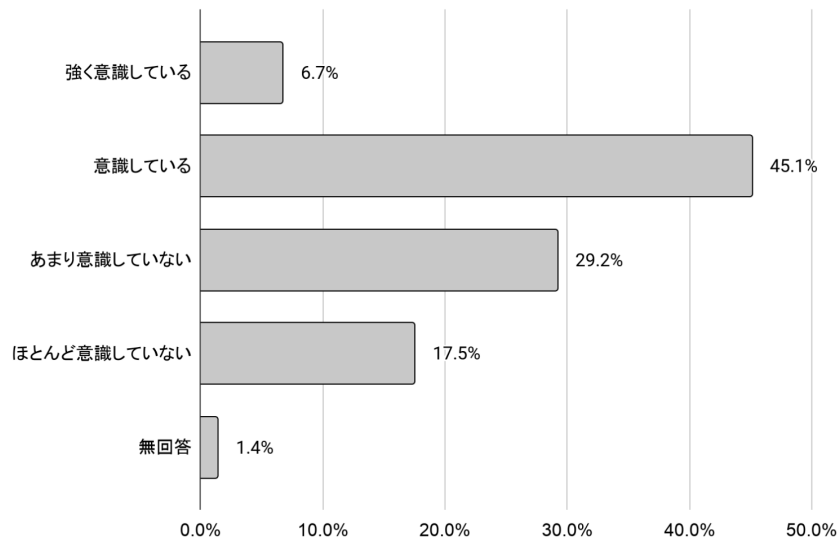
問6-2 健康維持・増進の意識

「介護予防」とは、要介護状態にならないように取り組むこと、または、要介護状態であってもその悪化を防ぐよう取り組むことをいいます。
あなたは、普段から介護予防のためにご自身の健康維持・増進を意識していますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

介護予防のために健康維持・増進を意識しているか尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「意識している」の割合が最も多く、64歳以下で45.1%、65歳以上で49.3%となっている。次いで多いのは「あまり意識していない」で、64歳以下が29.2%、65歳以上が20.2%となっている。

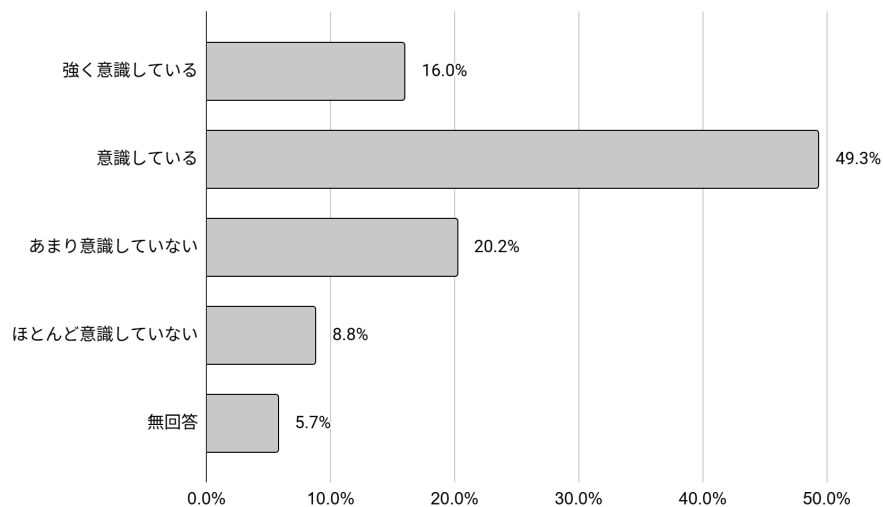
問6-2 健康維持・増進の意識 40歳以上64歳以下

n=565



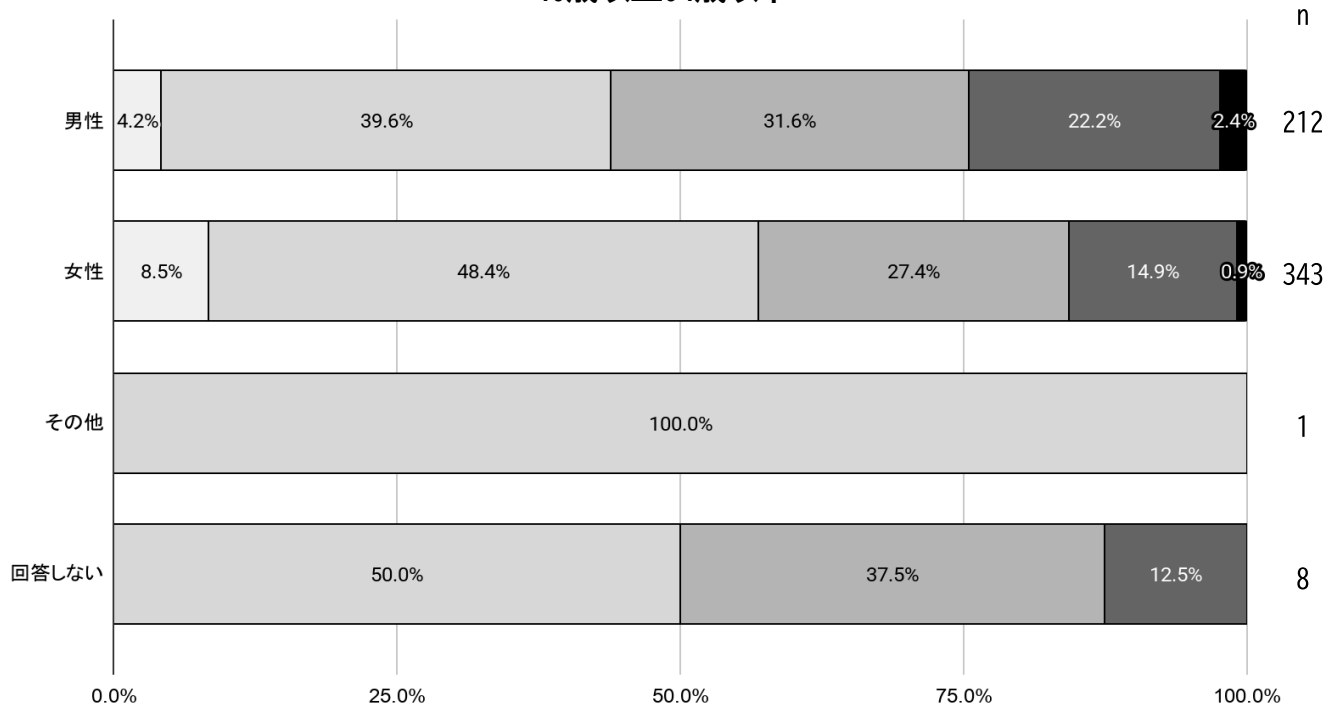
65歳以上

n=2,818

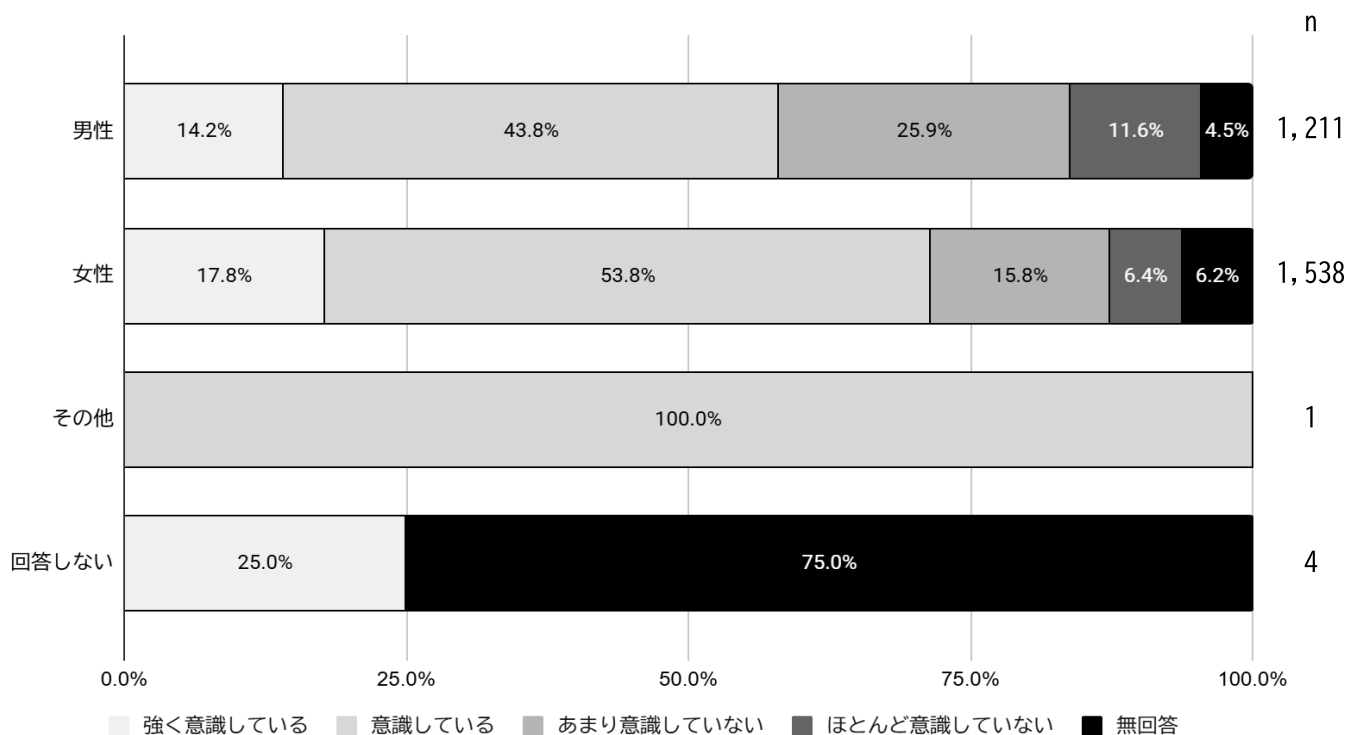


性別ごとにみると、「強く意識している」「意識している」を合わせた割合が、64歳以下では「男性」が43.8%、「女性」が56.9%となっている。65歳以上では「男性」が58.0%、「女性」が71.6%となっている。

問6-2 健康維持・増進の意識 × 問1-3 性別
40歳以上64歳以下



65歳以上



強く意識している
 意識している
 あまり意識していない
 ほとんど意識していない
 無回答

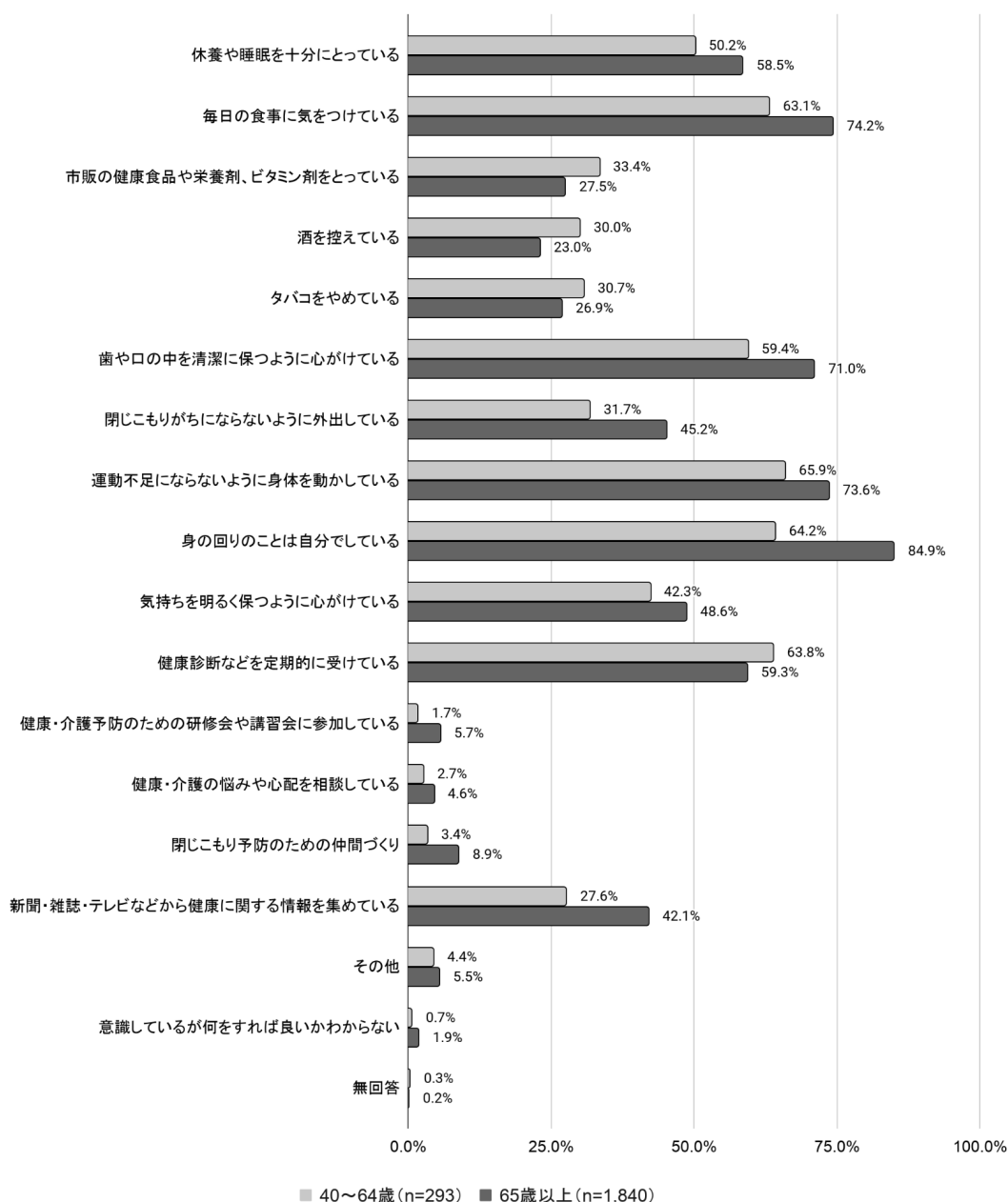
問6-3 健康維持・介護予防の取組（複数回答）

【問6-2で「強く意識している」「意識している」のいずれかを回答した方にお聞きします】

あなたが、健康維持・介護予防のために行っていることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

現在行っている健康維持・介護予防の取組について尋ねたところ、64歳以下では「運動不足にならないように身体を動かしている」（65.9%）、65歳以上では「身の回りのことは自分でしている」（84.9%）が最も多くなっている。

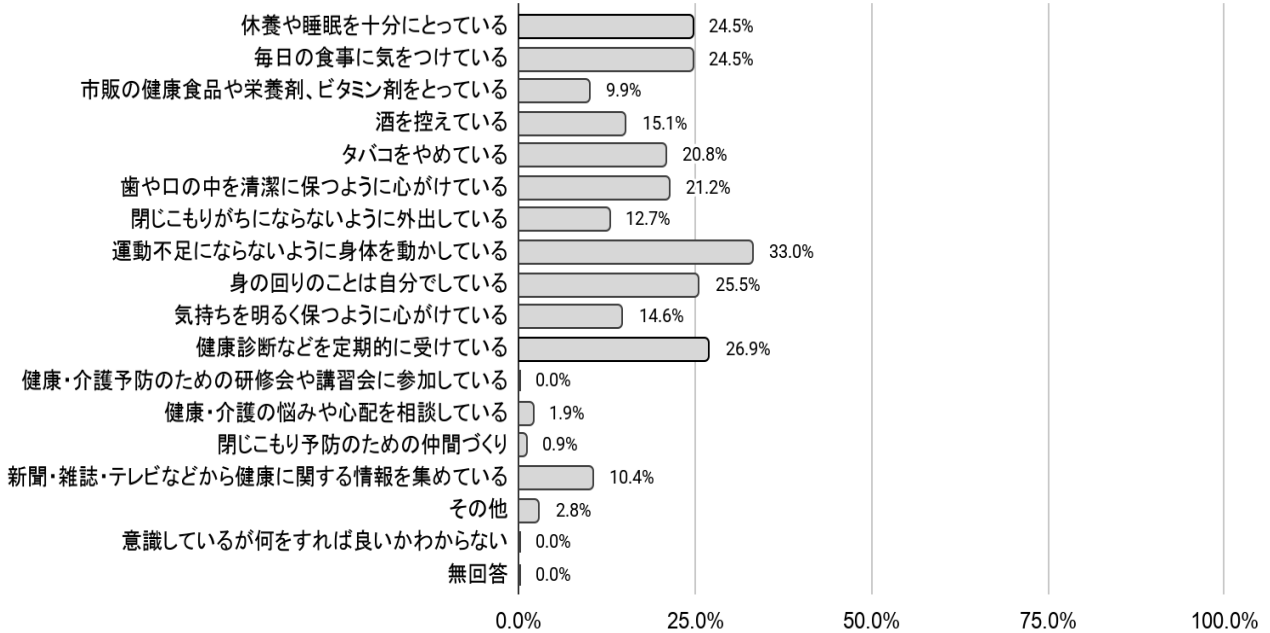
問6-3 健康維持・介護予防の取組（複数回答）



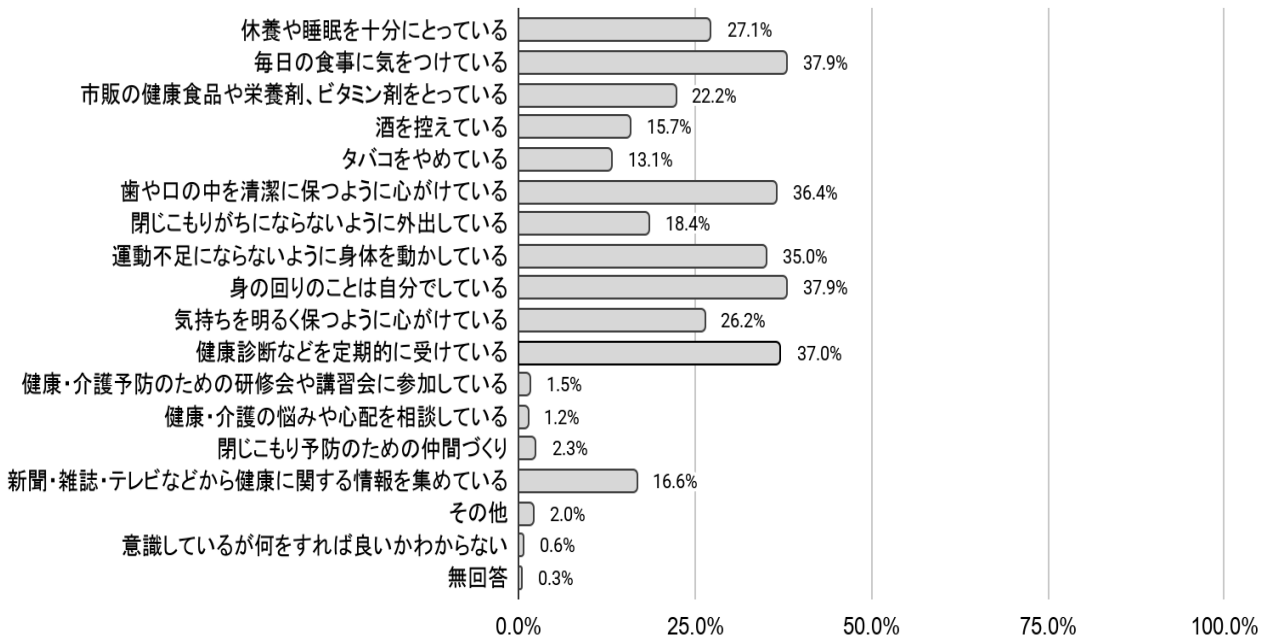
性別ごとにみると、64歳以下は、男性が「運動不足にならないように身体を動かしている」（33.0%）が最も多く、女性は「毎日の食事に気をつけている」「身の回りのことは自分でしている」（37.9%）が最も多くなっている。65歳以上は男性、女性ともに「身の回りのことは自分でしている」（男性が77.1%、女性が90.0%）が最も多くなっている。

問6-3 健康維持・介護予防の取組（複数回答）× 問1-3 性別
40歳以上64歳以下

男性（n=212）



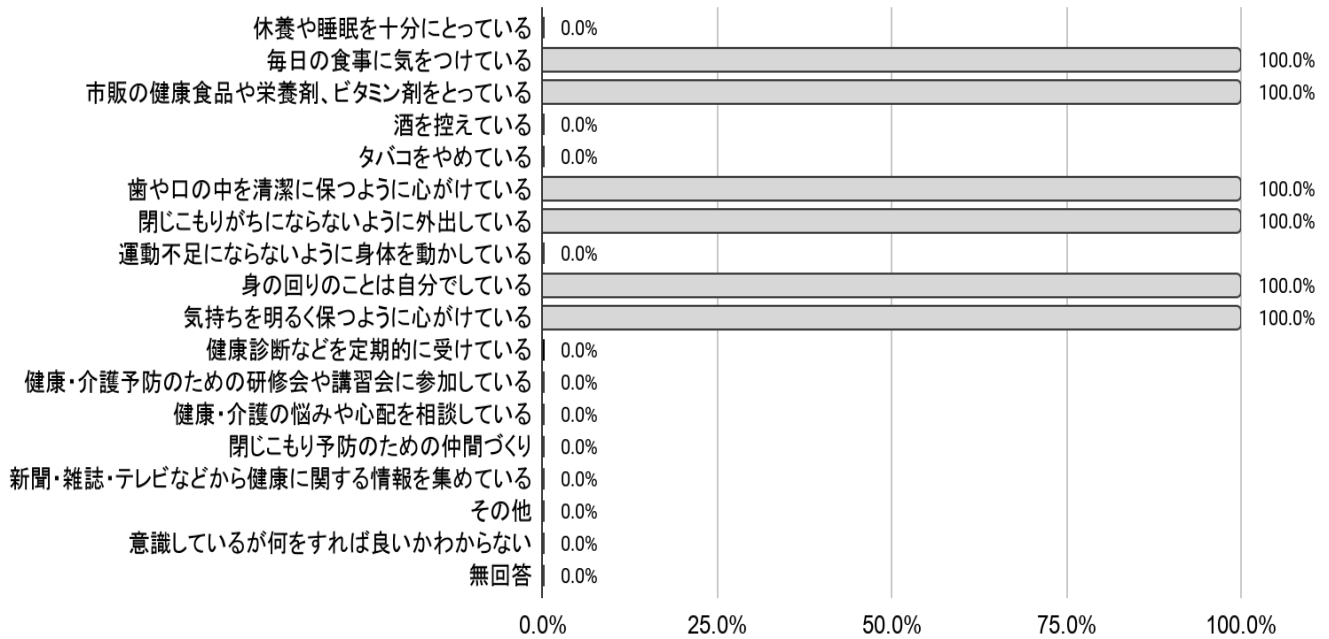
女性（n=343）



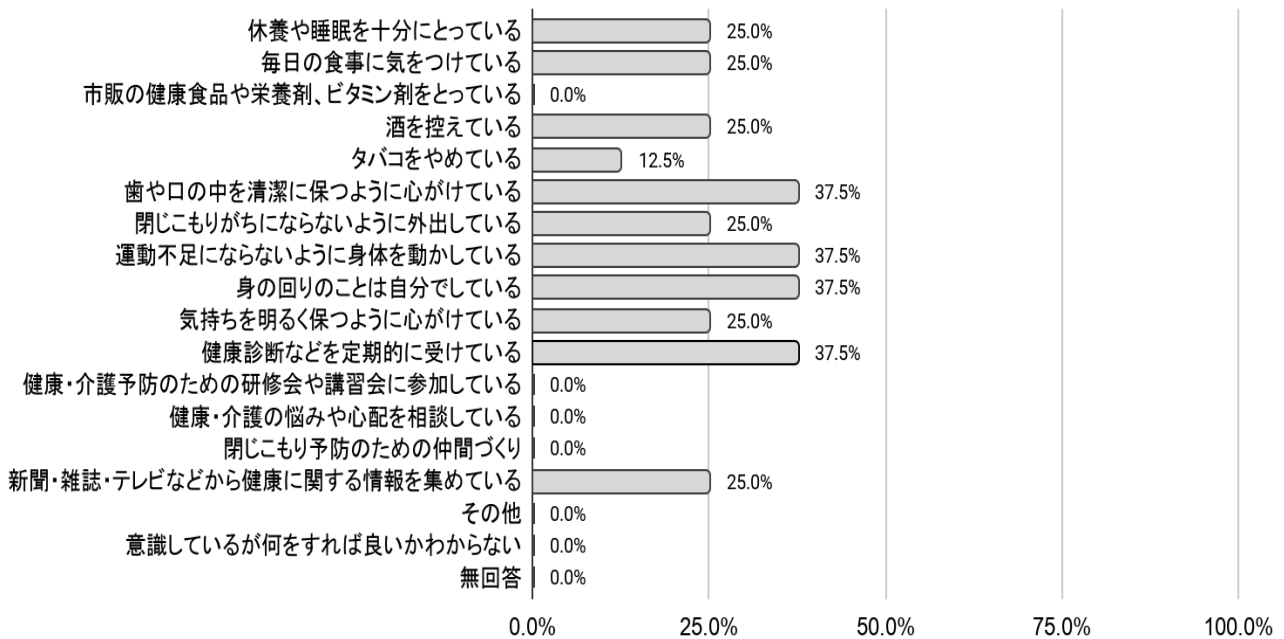
2 調査結果（介護予防活動について）

問6-3 健康維持・介護予防の取組（複数回答）× 問1-3 性別
40歳以上64歳以下

その他（n=1）

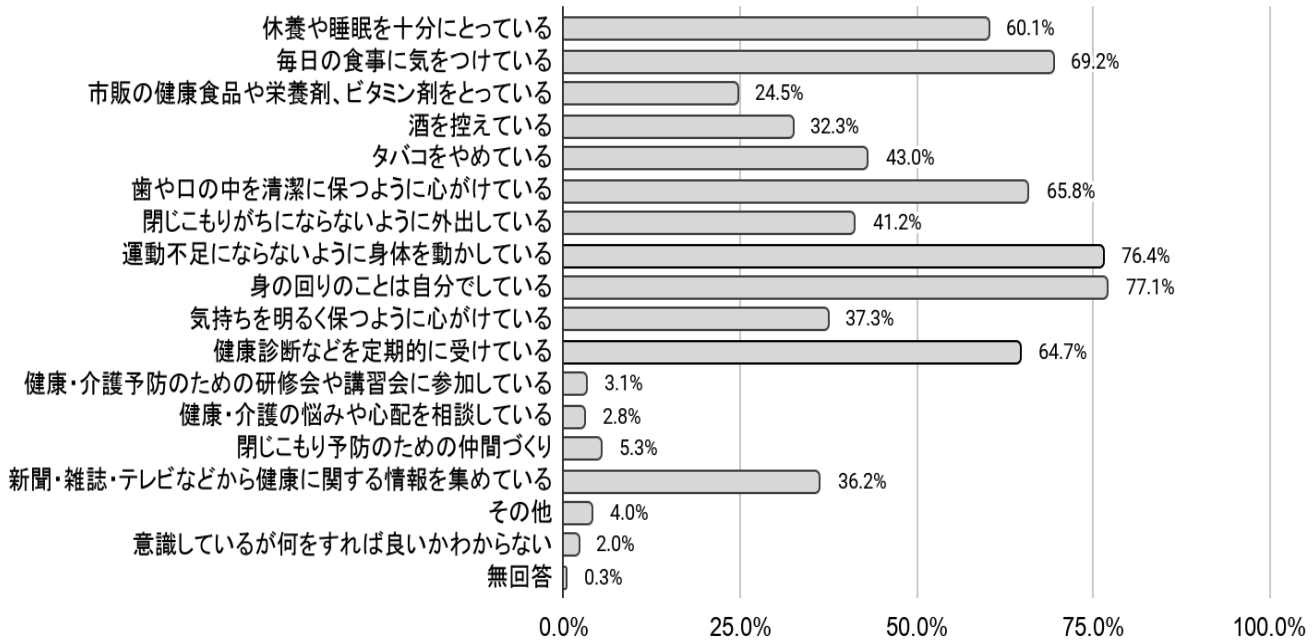


回答しない（n=8）

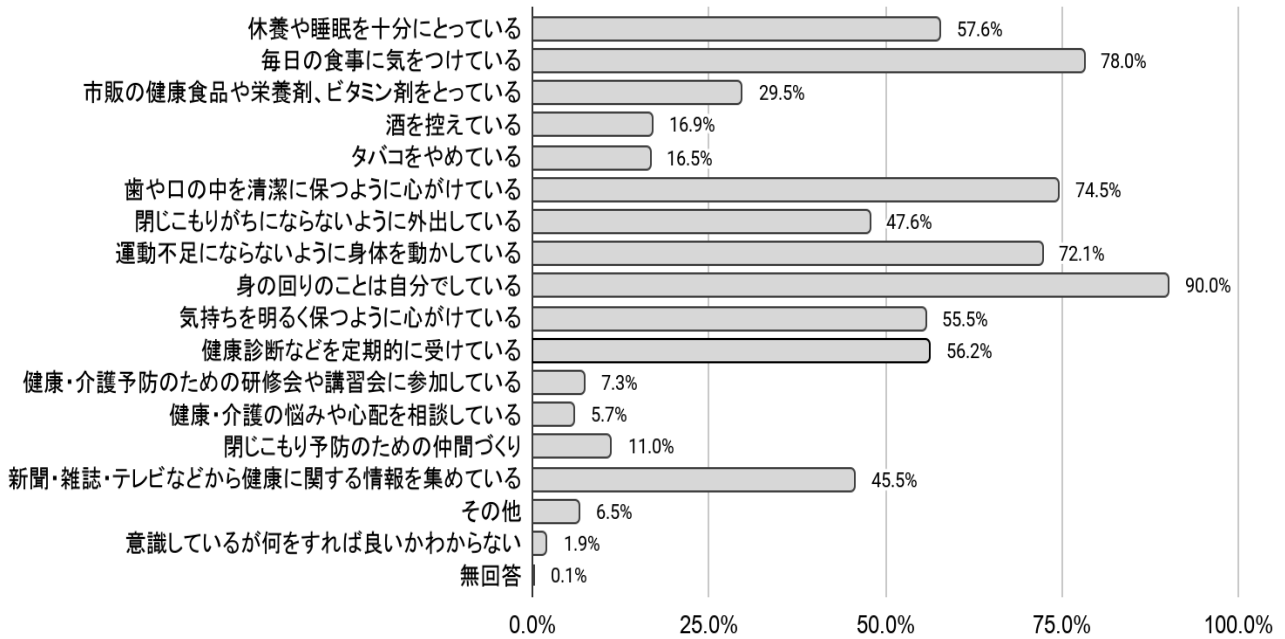


問6-3 健康維持・介護予防の取組（複数回答）× 問1-3 性別
65歳以上

男性（n=702）



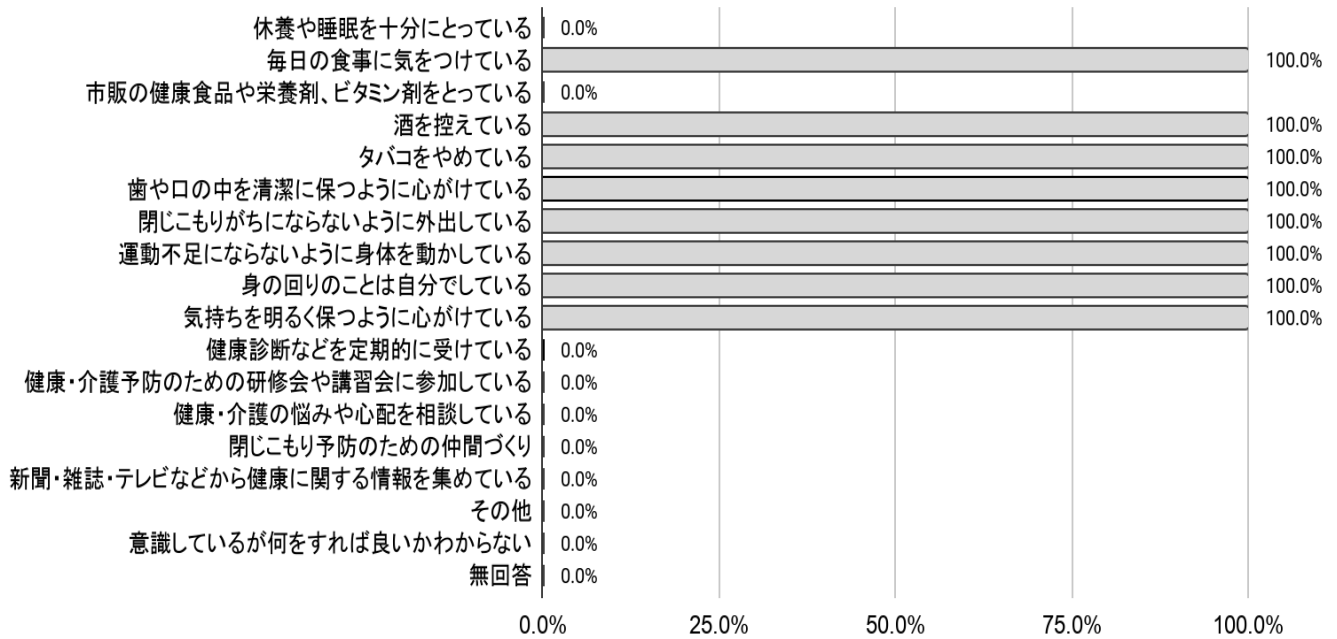
女性（n=1,100）



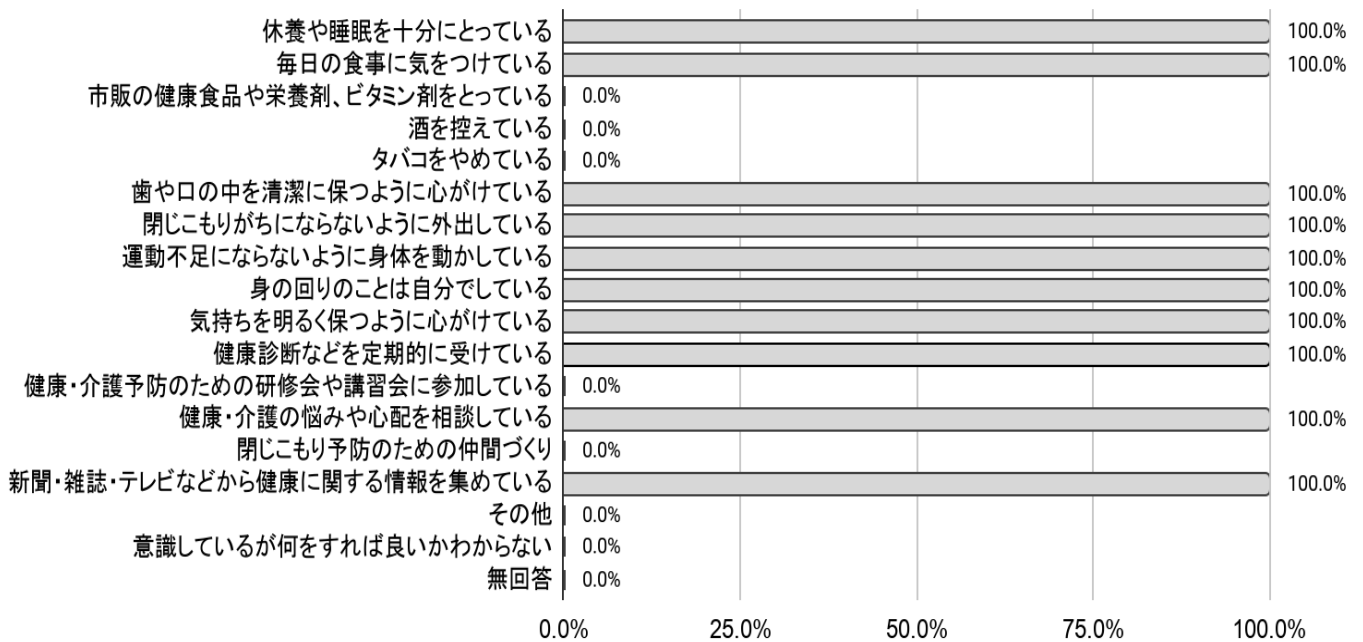
2 調査結果（介護予防活動について）

問6-3 健康維持・介護予防の取組（複数回答）× 問1-3 性別
65歳以上

その他(n=1)



回答しない(n=1)

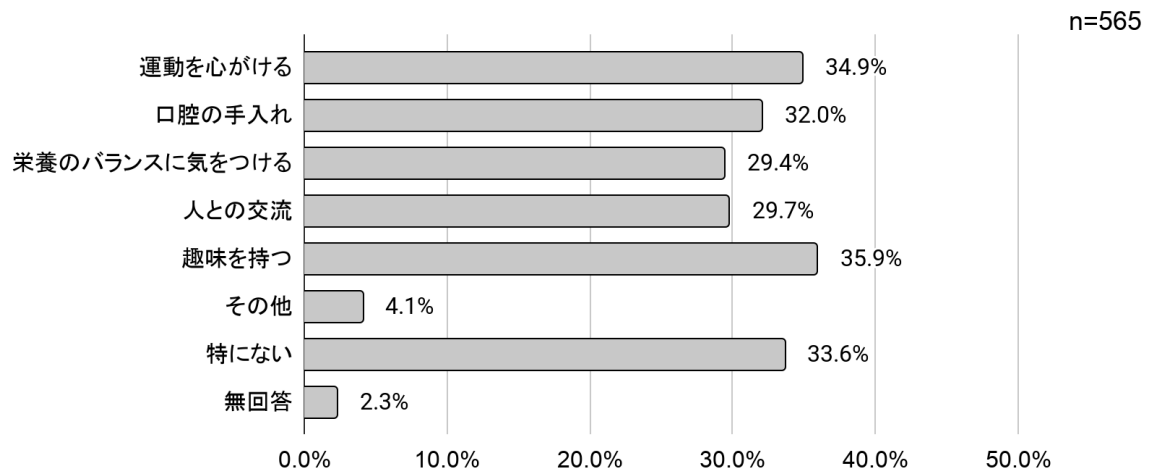


問6-4 認知症予防の取組（複数回答）

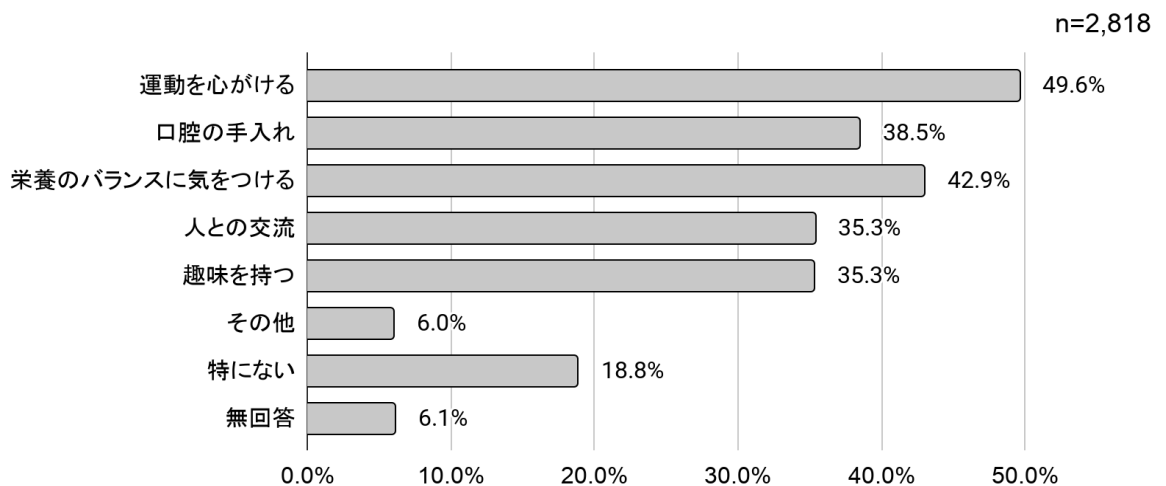
あなたが、認知症予防のために取り組んでいることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

認知症予防のために取り組んでいることについて尋ねたところ、64歳以下は「趣味を持つ」（35.9%）が最も多く、次いで、「運動を心がける」（34.9%）、「特にない」（33.6%）となっており、65歳以上では「運動を心がける」（49.6%）が最も多く、次いで「栄養のバランスに気をつける」（42.9%）、「口腔の手入れ」（38.5%）となっている。

問6-4 認知症予防の取組（複数回答）
40歳以上64歳以下



65歳以上



問6-5 元気で暮らし続けるための取組

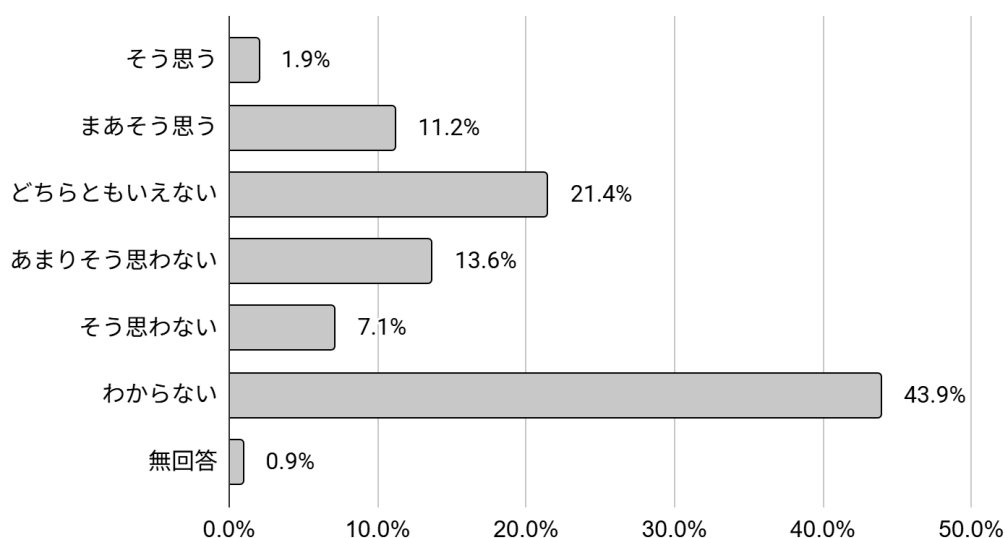
札幌市では、高齢者が介護を必要とせずに元気で健康に暮らし続けるための取組が十分になされていると思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

札幌市では、高齢者が介護を必要とせずに元気で健康に暮らし続けるための取組が十分になされていると思うか尋ねたところ、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が、64歳以下は13.1%、65歳以上は21.3%となっている。

一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は、64歳以下は20.7%、65歳以上は16.4%となっている。

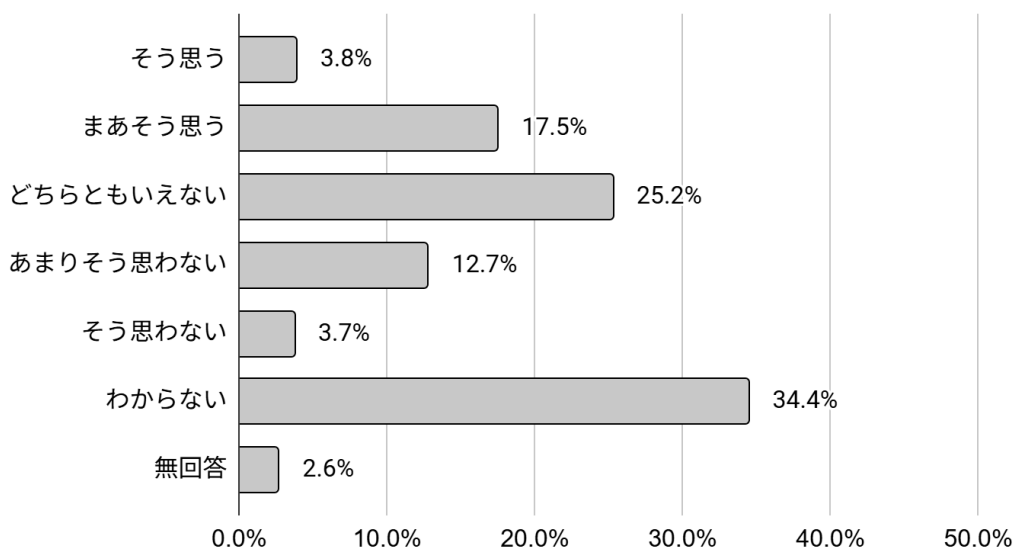
問6-5 元気で暮らし続けるための取組
40歳以上64歳以下

n=565



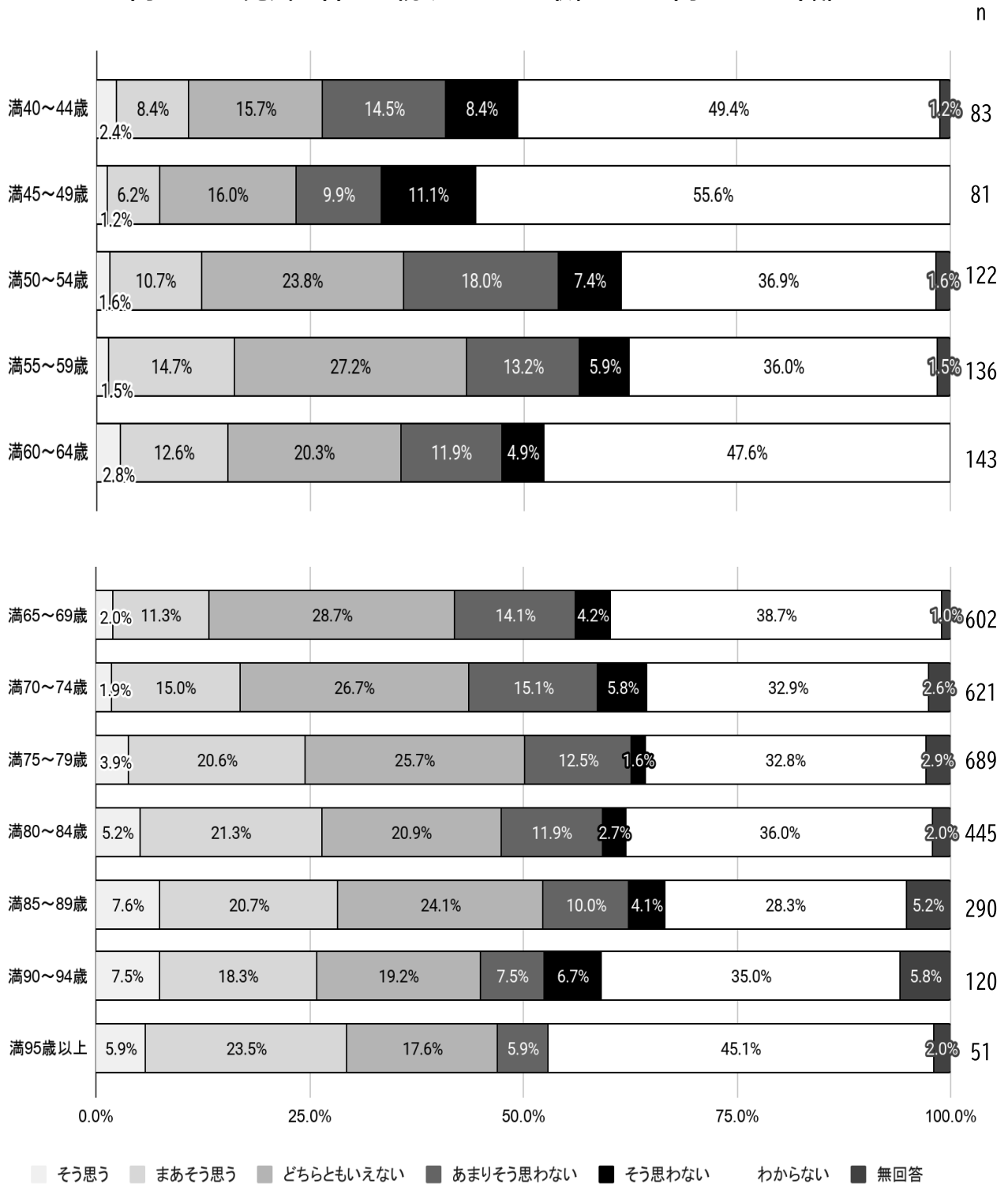
65歳以上

n=2,818



年齢別にみると、64歳以下に比べ、65歳以上の方が「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が多い傾向にある。

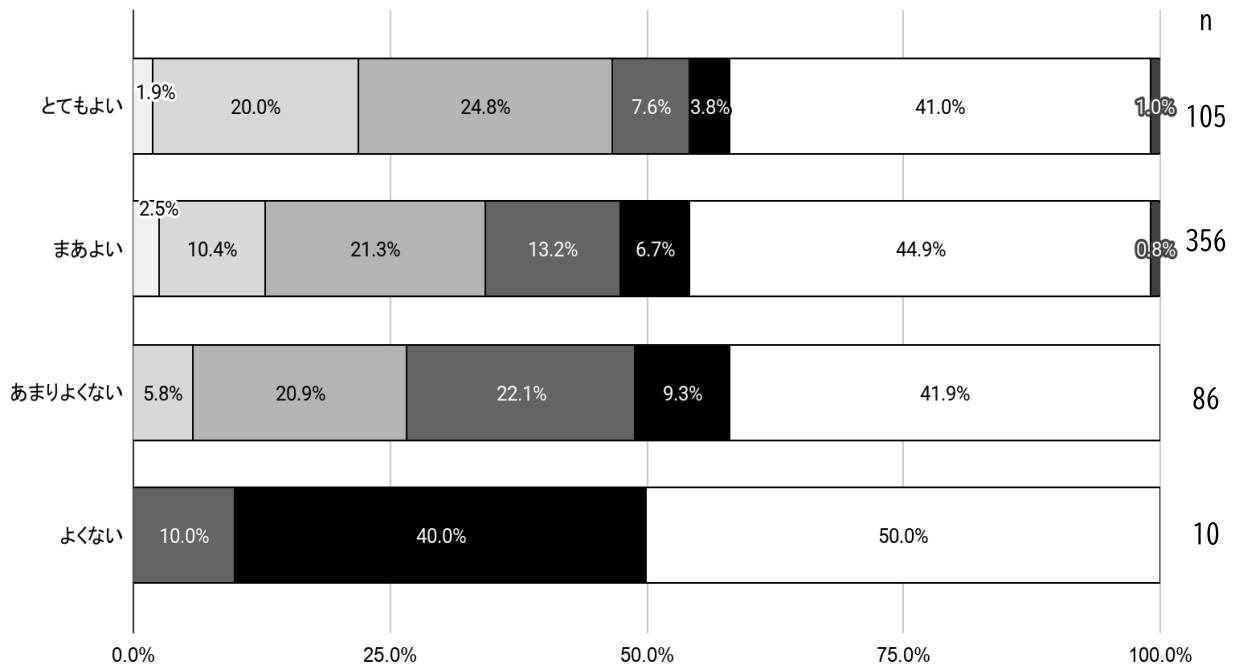
問6-5 元気で暮らし続けるための取組 × 問1-4 年齢



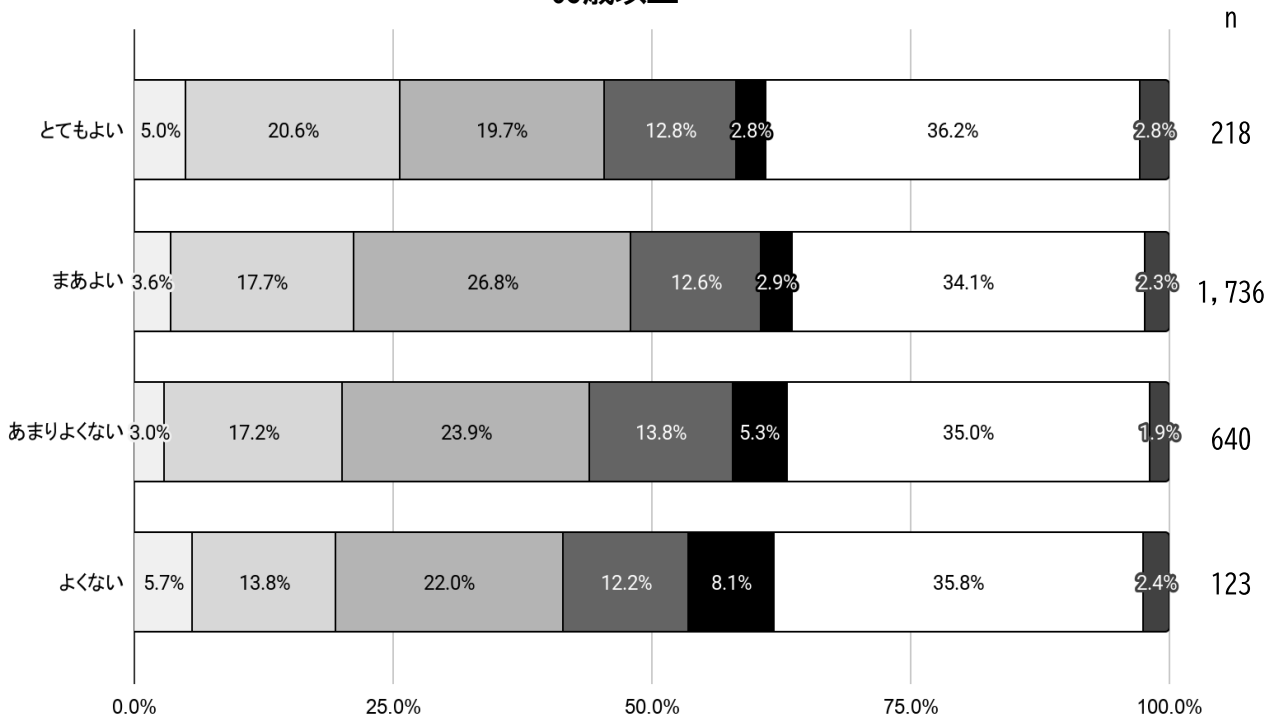
2 調査結果（介護予防活動について）

主観的健康観別にみると、64歳以下、65歳以上ともに「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合は、自分が健康だと感じている方ほど多くなっている。

問6-5 元気で暮らし続けるための取組 × 問5-2 主観的健康感
40歳以上64歳以下



65歳以上



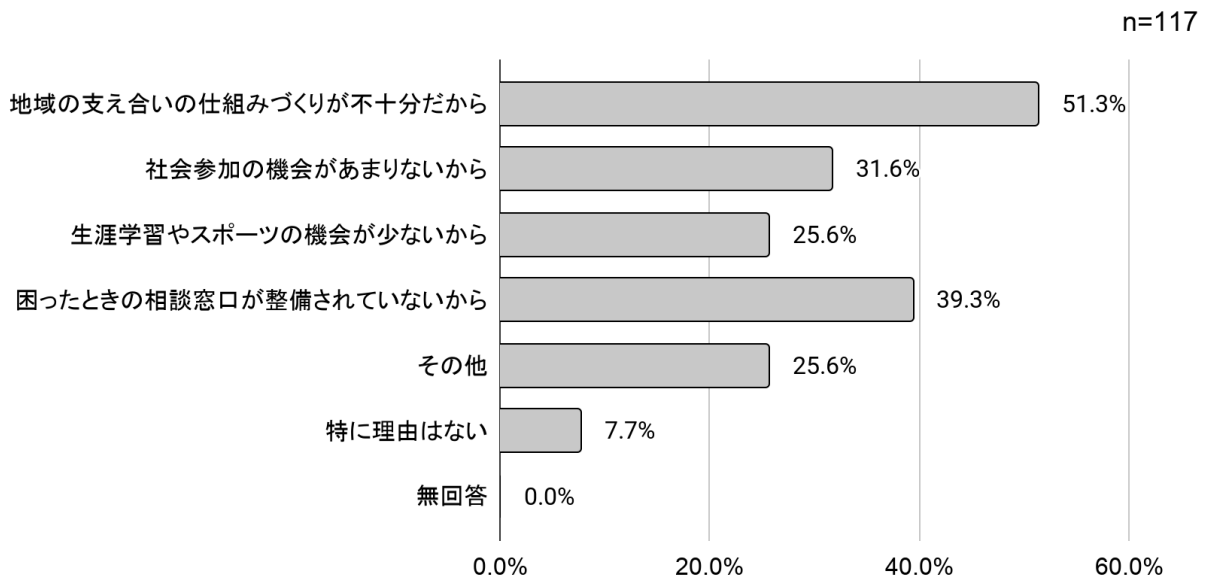
■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答

問6-6 取組が十分ではないと思う理由（複数回答）

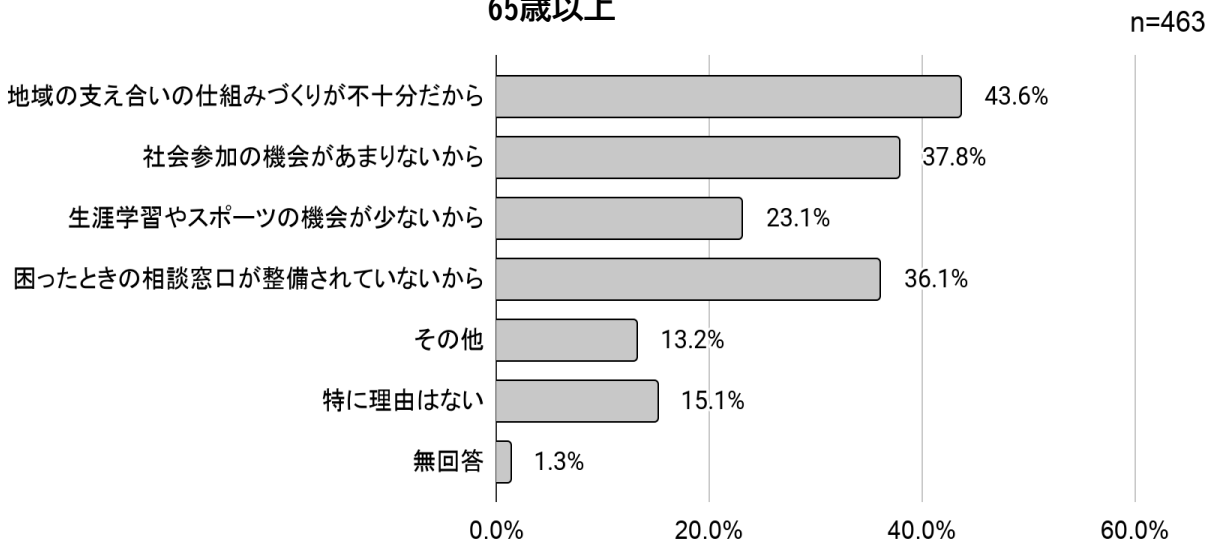
【問6-5で「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した方にお聞きします。】
取組が十分になされていないと思う理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

問6-5で「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した方に、取組が十分になされていないと思う理由を尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「地域の支え合いの仕組みづくりが不十分だから」が最も多く、64歳以下は51.3%、65歳以上では43.6%となっている。

問6-6 取組が十分ではないと思う理由（複数回答）
40歳以上64歳以下



65歳以上



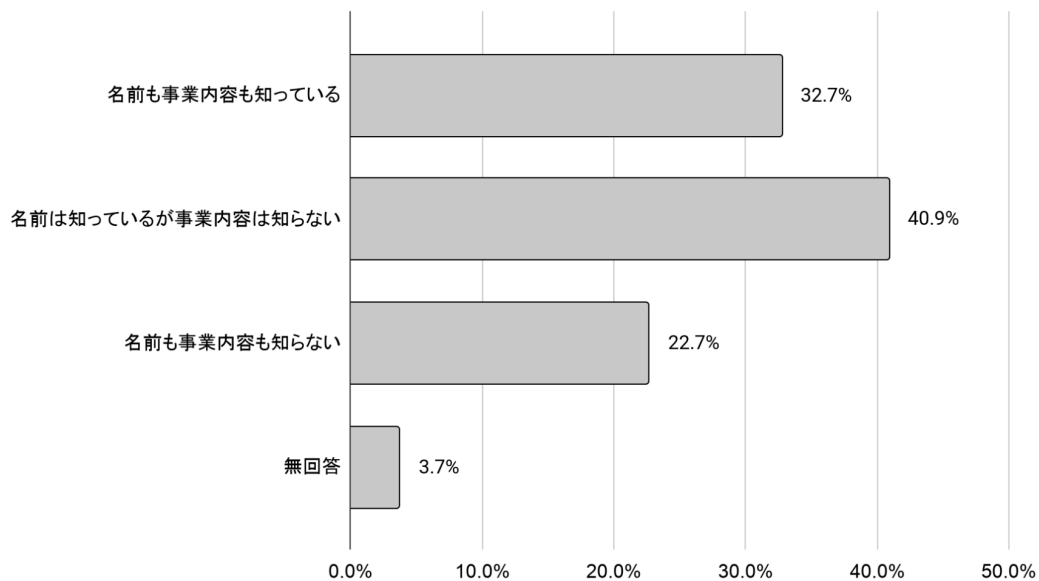
問6-7 地域包括支援センターの認知度

あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

地域包括支援センターの認知度について尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「名前は知っているが事業内容は知らない」の割合が最も多く、64歳以下で40.9%、65歳以上で40.0%となっている。次いで、「名前も事業内容も知っている」が64歳以下で32.7%、65歳以上で32.9%となっている。

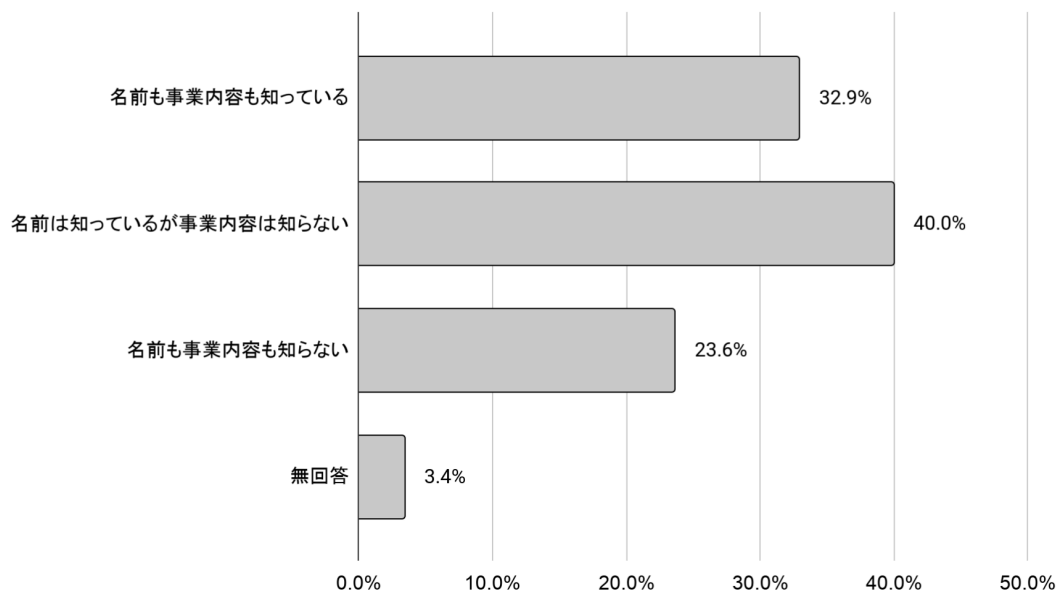
問6-7 地域包括支援センターの認知度 40歳以上64歳以下

n=565



65歳以上

n=2,818



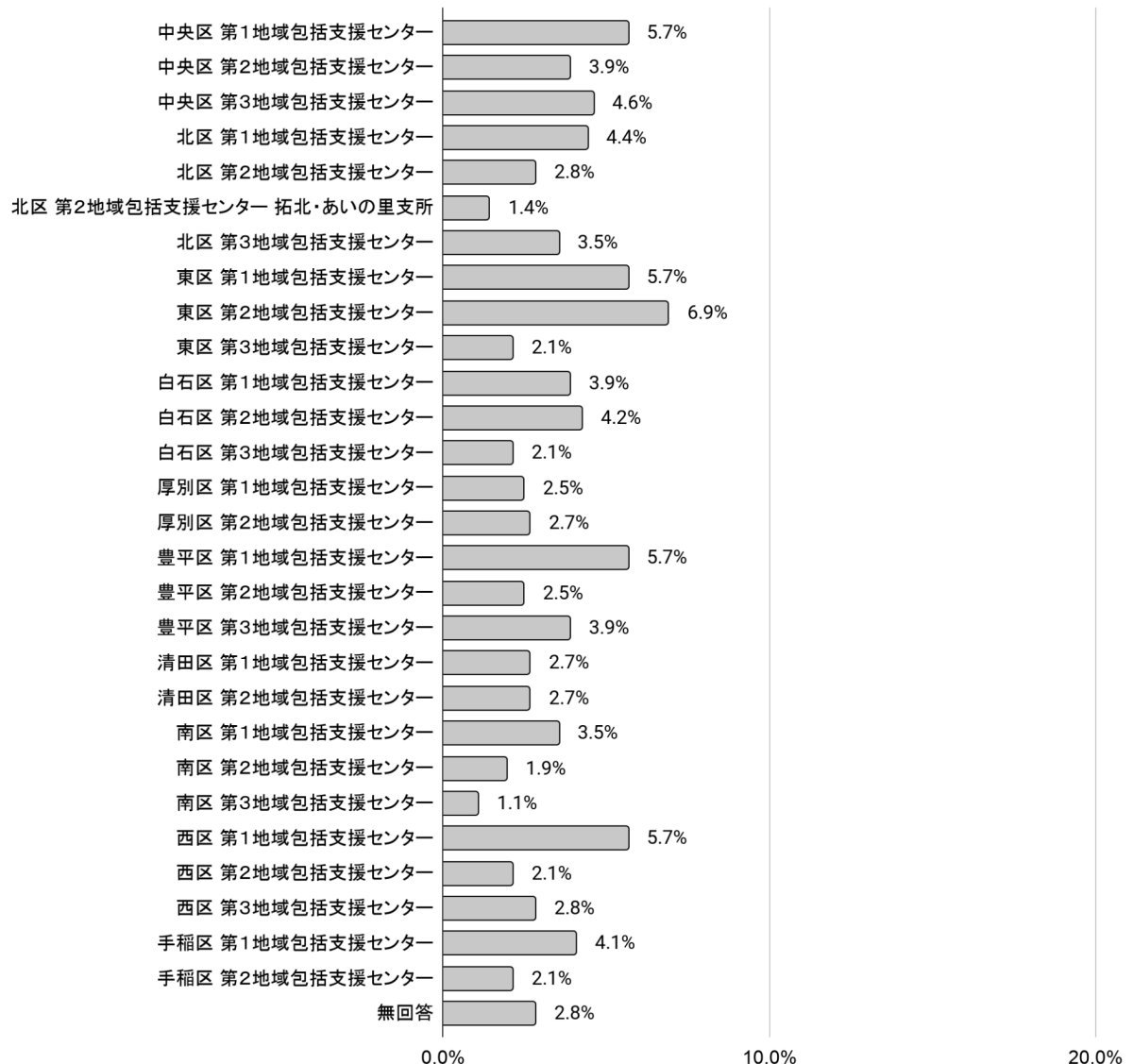
問6-8 生活圏域

札幌市では、高齢者とその家族への総合的な支援などを行う地域包括支援センターを28か所設置しています。あなたがお住まいの地区を担当する地域包括支援センターはどこですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

現在の居住区での地域包括支援センターは、64歳以下は「東区第2地域包括支援センター」が最も多く6.9%、次いで「中央区第1地域包括支援センター」、「東区第1地域包括支援センター」、「豊平区第1地域包括支援センター」、「西区第1地域包括支援センター」が5.7%となっている。65歳以上では、「無回答」を除き「北区第1地域包括支援センター」、「東区第2地域包括支援センター」が最も多く4.6%、次いで「西区第1地域包括支援センター」が4.4%となっている。

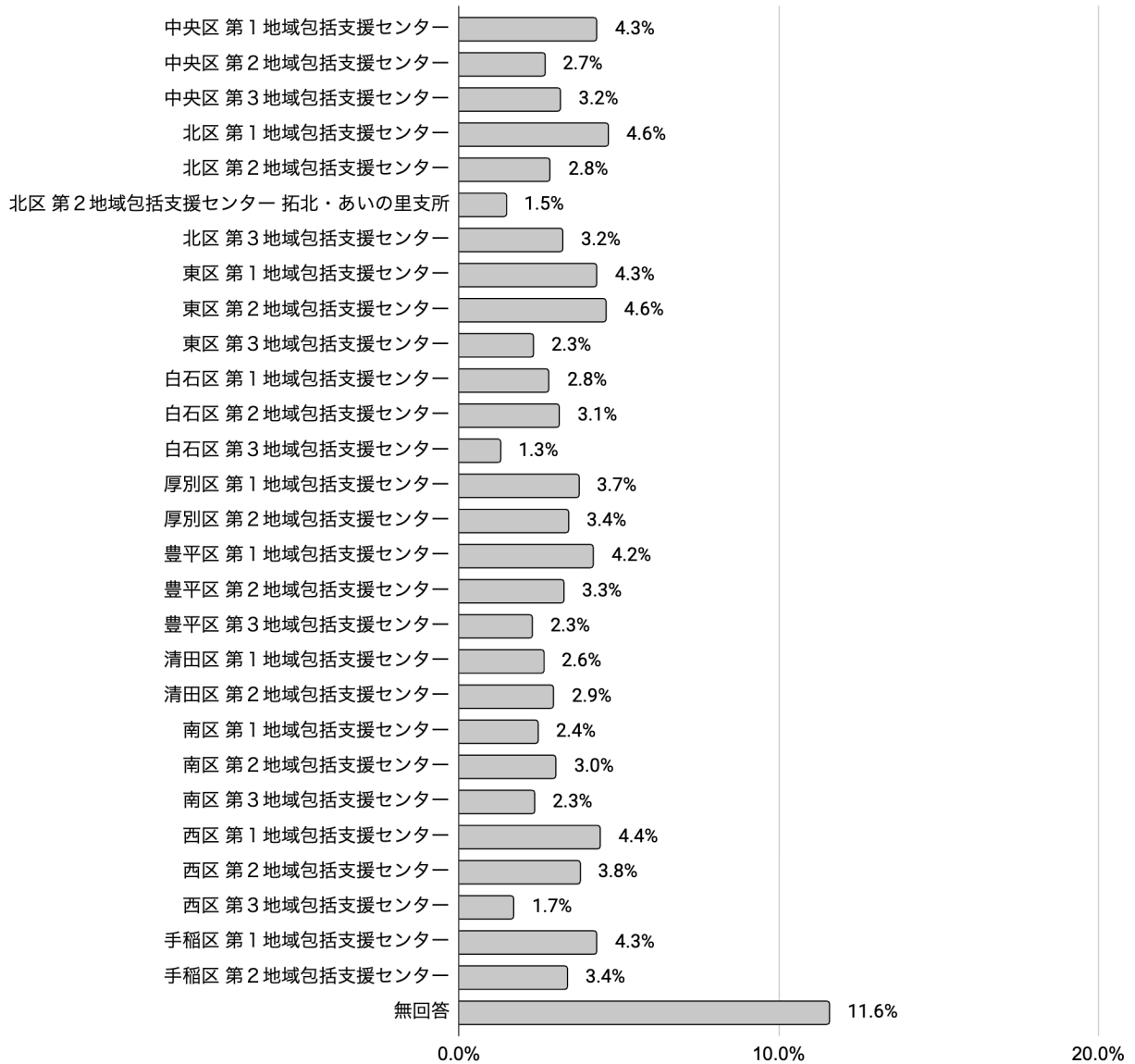
問6-8 生活圏域
40歳以上64歳以下

n=565



問6-8 生活圏域
65歳以上

n=2,818



問6-9 介護予防センターの認知度【65歳以上】

あなたは、介護予防センターを知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

介護予防センターの認知度について尋ねたところ、「名前も事業内容も知らない」（50.0%）が最も多く、次いで「名前は知っているが事業内容は知らない」（34.3%）となっている。

問6-9 介護予防センターの認知度【65歳以上】

